

2026年度第2学期

面接授業シラバス 九州・沖縄ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしていましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさを守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトをご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つかりやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】

<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/>



【システム WAKABA シラバス検索】

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1. 受取方法

(1) 窓口

所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。

(2) 郵送

面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。

印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2. 期限

2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いいたします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合

各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下 7 つに分かれています。

- ・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
- ・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
- ・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
- ・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
- ・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
- ・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
- ・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【九州・沖縄ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第2学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。

科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「2026年度第2学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、九州・沖縄ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト

全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。

<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/>



●WAKABAシラバス検索

科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



目 次

●シラバス

・福岡学習センター	2
・北九州サテライトスペース	18
・佐賀学習センター	22
・長崎学習センター	33
・熊本学習センター	47
・大分学習センター	59
・宮崎学習センター	73
・鹿児島学習センター	85
・沖縄学習センター	100

●各学習センター案内図	117
-------------------	-----

【巻末資料】

●追加登録申請書

科目コード	2697793	授業概要 【授業内容】 この授業では、中国語入門段階の必修事項を身に付けることを目標とします。まずは発音に重点を置きながら、語彙、文法、会話へと発展させていきます。一言でも中国語で話しかけると、中国の方は本当に嬉しそうな笑顔を見せます。福岡・北九州は特に中国からの旅行者や留学生も多いですので、積極的に話しかけて、世界を拡げましょう。 授業の中では、学習する言語とその言語が使用される実際の空気を感じて頂くために、映画鑑賞等の時間も設ける予定です。 そして、現代中国（ひいては台湾等華人社会全体）に対する理解をも深めていければと思っています。 【到達目標】 中国語学習において最も重要な「発音」を正確に身に付け、相手とのコミュニケーションが取れるようになる。 入門段階の必修文法事項が理解できるようになる。 現代中国や台湾等華人社会に対する理解を深めることができる。 【授業テーマ】 第1回 中国語（圏）、世界における中国、そして日本 第2回 発音練習（1、声調・母音） 第3回 発音練習（2、鼻音・子音） 第4回 実際の中国語に触れる（映画視聴等） 第5回 挨拶など基本的な会話練習 第6回 基本的な文型（1、私は日本人です。） 第7回 基本的な文型（2、これは何ですか？） 第8回 中国語での自己紹介にチャレンジ！ 【学生へのメッセージ】 21世紀はアジアの時代と言われる現在、日本にも外国から訪れる人が飛躍的に増えています。その中でもやはりお隣の中国から来られる方は大きな割合を占めています。今日学習した中国語はもう今日から実際に使えることでしょう。歴史的、文化的にも日本と深い関係にある中国と、言葉を通して実際に触れ合う喜びを感じて下さい。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 テキストは、プリントで講師が準備しますので、教科書購入の必要はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	基礎からの中国語	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	35名	
担当講師	アキヨシ シュウ 秋吉 収 九州大学大学院言語文化研究院教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697807		【授業内容】 大宰府は、かつて「遠の朝廷」とも呼ばれ、西海道（九州）を統括し、大陸との外交、軍事の役割を担っていました。その全容解明のため、昭和43（1968）年から福岡県教育委員会及び九州歴史資料館による本格的な発掘調査が始められ、これまでに様々なことがわかってきています。講義では、大宰府政庁のほか、水城跡や大野城跡、観世音寺等も含めた大宰府史跡について紹介し、それらから歴史をひもときます。2日目は大宰府史跡を巡り、古代の人々の営みを実際に体感していただきます。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	大宰府史跡から歴史をひもとく		
科目区分	導入科目：人間と文化	授業概要	【到達目標】 大宰府史跡の重要性を理解し、文化財の意義を考えることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 大宰府史跡について（宮地） 第2回 古代山城と大野城（坂元） 第3回 対外交渉と大宰府（吉田） 第4回 大宰府と西海道（松川） 第5回 視察研修①大宰府跡（下原・坂元） 第6回 視察研修②大宰府天満宮（下原・坂元） 第7回 視察研修③水城跡（下原・坂元） 第8回 視察研修④大野城跡（下原・坂元） 【学生へのメッセージ】 これまで大宰府史跡の調査研究で解明されてきたことを、わかりやすくご紹介します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 第2日目は現地研修を行うため、運動に適した服装・靴を着用してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・大宰府史跡発掘50年記念特別展「大宰府への道」展示図録（九州歴史資料館／九州歴史資料館／¥1,000） 2018年発行。九州歴史資料館で販売。通販可。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・授業料とは別に2日目の現地研修で利用するバス代（2,000円程度）が必要です。バス代の支払い方法等、受講生には別途、詳細をお知らせします。 ・集合・解散場所は、1日目は九州歴史資料館、2日目は西鉄二日市駅東口となります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象者としてしていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ミヤジ ソウイチロウ 宮地 聡一郎 九州歴史資料館文化財調査班長 サカモト ユウキ 坂元 雄紀 九州歴史資料館技術主査 ヨシダ トウメイ 吉田 東明 九州歴史資料館埋蔵文化財調査室長 マツカワ ヒロカズ 松川 博一 九州歴史資料館学芸研究班長 シモハラ ユキヒロ 下原 幸裕 九州歴史資料館大宰府研究班長		
日程実施時間	11月5日(木) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月6日(金) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	この授業は、【★九州歴史資料館、太宰府市内現地研修（福岡県小郡市三沢5208-3、太宰府市内）】で行います。		

科目コード	2697815	授業概要	【授業内容】 カナダでは、2018年から「処方箋に博物館と書く」という取り組みが始まりました。博物館は、「知的刺激、学び、楽しみ」の場ですが、欧米では「健康の場」「ウェルビーイングの場」「メンタルヘルスの場」としての利用も進んでいます。今回は、日本でも2020年から研究が始まった「博物館浴」の紹介とともに、受講生が実証実験に参加することで、博物館の新たな価値創造を考える機会とします。 【到達目標】 博物館の新たな価値創造の方向性を学ぶために、「博物館浴」の理念と実践について理解し、科学的データから、そのレジリエンス（回復）効果を適切に説明できるようにする。 【授業テーマ】 第1回「博物館浴」実証実験1ー九州産業大学美術館を事例にして 第2回 日本の博物館の現状から、博物館の新たな価値創造を考える 第3回「博物館浴」研究の動向1ー「博物館浴」とは？、「森林浴」研究から学ぶこと 第4回「博物館浴」研究の動向2ーイギリスのCreative Healthなどの研究を読み解く 第5回「博物館浴」研究を進めるためにー科学的なデータからレジリエンス効果を検証する 第6回「博物館浴」実証実験2ー九州産業大学美術館を事例にして 第7回 博物館の新たな価値創造を考える（グループワーク） 第8回 グループ発表「博物館の新たな価値創造」 【学生へのメッセージ】 皆さんは、博物館が好きですか？博物館は皆さんを歓迎する場ですか？我が国には、5,700館以上あります。しかし、若者の51.7%は「博物館にまったく関心がない」というデータがあります。今回は、九州産業大学美術館を事例に、「敷居が高い学ぶ場」だけでなく、「自分の健康を支える場」という博物館の新たな価値を、皆さんの実証実験体験を通じて検討します。 【受講前の準備学習等】 「博物館浴」による新たな博物館の価値創造について、グループで話す材料をあらかじめ予習しておいてください。「博物館浴」で検索すると、関係記事が閲覧できます。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、学生証を持参してください。受講生には別途詳細をお知らせします。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ◎「博物館浴」は2025年2月25日付けで、特許庁から商標の登録を受けました。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としておりますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	博物館浴入門		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	オガタ イズミ 緒方 泉 九州産業大学地域共創学部特任教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	この授業は、【★九州産業大学15号館教室および大学美術館（福岡市東区松香台2-3-1）】で行います。		

科目コード	2697823	【授業内容】 カメラ等で撮影した実世界の状況を解析してその様子を出力する技術であるコンピュータビジョンの基礎について学びます。具体的には、まず、カメラから入力された画像の基本的な処理の枠組みについて学びます。その上で、2次元の画像からどうやって実世界の3次元的な情報を獲得するのかや写っている対象の動きを解析する手法について学びます。最後に、パターン認識や最近の人工知能の発展との関係を概観します。これらの学びを通して、さらに深い技術や新しい技術を学ぶための基礎知識を習得します。 【到達目標】 コンピュータビジョンにおける基礎的な技術、特に画像からの特徴抽出、3次元的な情報の抽出法、対象の動きの解析法についてその基本的な手法の概略を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 コンピュータビジョンとは何か：コンピュータビジョンの基本的な考え方 第2回 画像の表現：画像を処理するために画像のデータはコンピュータの中でどう表現されるか 第3回 画像からの特徴抽出：もっとも基本的な画素値の2階調化と2値画像処理について 第4回 画像からの特徴抽出：様々な場面で利用される画像の空間フィルタリングについて 第5回 2次元情報である画像から、3次元情報をどう抽出するか 第6回 動きの情報は画像からどう抽出されるのか 第7回 最近のAI技術の発展とコンピュータビジョン技術の関係 第8回 最近のAI技術の発展にともない、コンピュータビジョン技術はどのように進化したか 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。コンピュータビジョンについてはWeb上に様々な資料が上がっていますし、良い参考書もありますので、まずは自分が読みやすいものを手に取ることをすすめます。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・デジタル画像処理[改訂第二版]（ディジタル画像処理編集委員会／公益財団法人画像情報教育振興協会／¥4,290／ISBN=9784903474649） ・コンピュータ画像処理（改訂2版）（田村 秀行、斎藤 英雄編／オーム社／¥4,290／ISBN=9784274228193） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	コンピュータビジョン入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	35名	
担当講師	タニグチ リンイチロウ 谷口 倫一郎 九州大学名誉教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697831	【授業内容】 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を健康寿命といいまます。わが国は平均寿命が延び、世界有数の長寿国となりましたが、平均寿命に比べて健康寿命は、男性で9年、女性では12年も短いと報告されています。つまりこの期間は何らかの介護を受けて生活していることを意味しますので、この差を短くすることが、生活の質低下を防ぐことになると期待されます。脳血管疾患や心臓病といった循環器病は死亡原因でも上位ですが、介護原因でも上位に挙げられます。循環器病は生活習慣の改善から予防できることが期待される疾患です。循環器病の原因となる生活習慣病をコントロールすることが重要であることをこの面接授業で学んでいただければと思います。 【到達目標】 健康寿命を延伸させる一つとして、循環器病の予防が挙げられるが、そのためには生活習慣病を予防し、必要時には生活習慣病の治療を受けることが重要であることを理解し、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 健康寿命と生活習慣病 第2回 生活習慣病とNCDs 第3回 高血圧の診断と治療について 第4回 脂質異常症の診断と治療について 第5回 糖尿病の診断と治療について 第6回 生活習慣病から循環器病へ：虚血性心疾患について 第7回 生活習慣病から循環器病へ：脳卒中について 第8回 健康診断と健康増進 【学生へのメッセージ】 受講生の健康管理に役立つ話をしたいと思います。最近受けたご自身の健康診断結果と見比べながら学ぶことで理解が深まるでしょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容を確認し、自己学習をしてください。ご自身の健康診断結果があれば、結果を見直してみましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等をご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	生活習慣病予防から健康寿命延伸	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	トクノウ トモタケ 得能 智武 福岡歯科大学総合医学講座内科学分野教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697840	授 業 概 要	【授業内容】 超高齢社会が進行する我が国において、認知症患者は増加しています。一方、口腔の慢性炎症性疾患である歯周病は、全身疾患のリスク因子として広く認識されており、近年では認知症の発症・進行に関与する可能性が注目されています。本授業では、「口腔ブレインサイエンス」という新たな概念を取り上げ、口腔と脳の関連について理解を深めるとともに、口から脳を守るための科学的知見および具体的な口腔ケアについて学びます。 【到達目標】 口腔と脳の構造と機能を説明できる。歯周病と認知症の関連を説明できる。口から脳を守るアプローチを説明し、実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 口腔および歯の構造と機能 第2回 脳の構造と機能 第3回 口腔・歯の疾患（齲蝕と歯周病） 第4回 脳の疾患（認知症） 第5回 口腔疾患と全身疾患の関連 第6回 口腔疾患と認知症の関連 第7回 口から脳を守るアプローチ 第8回 「口腔ブレインサイエンス」最前線研究の紹介 【学生へのメッセージ】 「口腔ブレインサイエンス」という新しい視点から、口と脳の関連を学びます。歯学と医学をつなぐ基礎知識を身につけ、口から脳を守る可能性について一緒に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容の中から興味のあるテーマについて事前に調べてみましょう。疑問に思ったことは、授業で一緒に考え、解決していきましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 情報検索のため、スマートフォンやタブレット等の持ち込み・使用を認めます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 各回、授業内容に関する資料を配布します。教科書および参考書の指定はありません。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	口腔ブレインサイエンス		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タケ ヒロ 武 洲 九州大学大学院歯学研究院准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2697858	授 業 概 要	【授業内容】 食生活を含む生活習慣が原因で発症する疾病が増大する現在、健全な食生活について考えることは人生においても重要課題です。とくに三大栄養素である糖質、脂質、タンパク質の化学と供給源、それらの体内代謝および、過剰摂取と欠乏による生体応答についての理解は、食事および栄養問題解決に必要な知識です。また、栄養学の一般的な結論と、疾病という個人的な問題の解決についてどの様に結びつけるかも、大きな課題の一つでもあります。栄養学の知識を得るということはどういうことかを、この機会に是非知って頂きたいと思います。 【到達目標】 ヒトには食べなくてはならない食品成分（栄養素）があることを理解する。中でも三大栄養素（糖質、脂質、タンパク質）量および質について摂取の化学的な理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 栄養素の化学と供給源 第2回 栄養素の摂取と消化 第3回 糖質（分類、摂取の意義、摂取基準） 第4回 糖質（代謝的運命）糖尿病 第5回 タンパク質・アミノ酸（分類、摂取の意義、摂取基準） 第6回 アミノ酸（代謝的運命）身体活動・運動 第7回 脂質Ⅰ（分類、摂取の意義、摂取基準） 第8回 脂質Ⅱ（代謝的運命） 【学生へのメッセージ】 日常の食生活を見直してみませんか？ 【受講前の準備学習等】 日常の自分自身の食事内容を1週間分把握して下さい。レポート用紙に書き出して下さい。必ずお願いします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・日本食品標準成分表（八訂）増補2023年（女子栄養大学出版会／女子栄養大学出版会／） 購入しなくても文部科学省が公表しています https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_00001.html 【その他（特記事項）】 学習状況の評点は簡単なテストを時間ごとに行います。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	栄養化学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	サトウ マサオ 佐藤 匡央 九州大学大学院農学研究院教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2689146	授業概要 【授業内容】 心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：パーソナルスペース 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：印象形成（中心特性の働き） 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 電卓 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	サイトウ フユキ 斎藤 富由起 福岡女学院大学人間関係学部教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697866	授業概要	【授業内容】 組織心理学とは、組織（企業や医療など）で働く人々の心理や行動を対象とする学問であり、心理学のなかでも特に現実社会を意識した「応用」的な領域とも言えます。本講義では、組織心理学の中でも職場をいきいきと活性化するための代表的なトピックを扱っていきます。具体的には、ワーク・モチベーション、感謝感情、ウェルビーイング、そしてこれからの時代で求められるリーダーシップについても概説していきます。 【到達目標】 職場を活性化するための組織心理学の主要理論（モチベーション、感謝、ウェルビーイング、リーダーシップ）について理解し、具体的な職場事例をもとに、人と組織の活力向上に向けた課題を分析し、心理学的観点から適切に説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 時代の変遷から紐解く組織で求められる心理学的特性 第2回 組織への適応と社会化 第3回 ワーク・モチベーションの源泉 第4回 ワーク・モチベーションのマネジメント 第5回 心を疲弊させる感情労働と仕事への意義 第6回 組織力を高める「感謝」の力 第7回 現代の組織に求められるリーダーシップ 第8回 テレワーク時代に求められるセキュアベース・リーダーシップ 【学生へのメッセージ】 昨今、ウェルビーイングや人的資本経営が注目を集めているように、組織で働く人々を「資源」と考えて統制・管理するアプローチから、働く人々を「資本」と考えて、それにいかに投資していくかに関心が寄せられています。本講義では、それらに関わる新しいテーマを取り上げ、皆さんと考えていきます。また、講義では、資料や映像などを用いて、受講者の皆さんとの討議を積極的に取り入れていきます。 【受講前の準備学習等】 教科書に事前に目を通しておいってください。 また、現在働いている方は、職場の皆さんが活き活きと働くために何が必要か、ご自身の考えをまとめてみてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 教科書 【教科書】 ・モチベーションに火をつける 働き方の心理学（池田浩／日本法令／¥1,760／ISBN=9784539728116） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	職場活性化の組織心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	イケダ ヒロシ 池田 浩 九州大学大学院人間環境学研究院准教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2689189	授業概要	【授業内容】 医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。 原則として8回の授業すべてに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（倫理、意義、種類）／実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査①（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査②（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査①（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査②（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査①（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査②（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、インフォームドコンセント、倫理） 【学生へのメッセージ】 課題の中には、心理検査を実際に受検し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。 【受講前の準備学習等】 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、のり 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学人間科学部教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。 取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「概念学習」です。 単位の修得には原則としてすべての回に出席し、その3つのすべてのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学における研究手法 第2回 ミュラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミュラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 概念学習：実験・解説 第8回 概念学習：データ整理・レポートのまとめ方 【学生へのメッセージ】 心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（無線LANに接続可能なもの。 【受講前の準備学習等】 要確認）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・講義室内にプリンターはありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで（板口典弘、山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 九州大学大学院人間環境学研究院准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
授業概要		
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2689162	【授業内容】 心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加したうえで、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3つの実験すべてについてのレポートの作成が必要となります。 【到達目標】 心理学の実験を、実験者および参加者（協力者）の観点から体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触二点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？ 本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 触二点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業ではノートパソコンは使用しませんが、レポート作成用としてご自身でノートパソコン等（Word、Excelがインストールされたもの）を持参・使用していただいても構いません（手書き作成の場合は持参不要です）。インターネットへの接続は不要です。また、講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	ワケベ トシヒロ 分部 利紘 西南学院大学人間科学部准教授	授業概要
日程 実施時間	11月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697874	授 業 概 要	【授業内容】 発達心理学は、年齢に関連した経験と行動にみられる変化の科学的理解に関する学問です（Butterworth, 1994）。本講義では乳児期・幼児期のコミュニケーション発達を中心に特徴的なテーマを取り上げ、人間の発達に関する心理学的理解を深めることを目的とします。また、発達における障害について、その基本的な理解や支援について学びます。 【到達目標】 人間の成長や発達、障害や支援に関して発達心理学の基礎的な知識を身につけることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 胎児期・乳児期の赤ちゃんの発達【知覚】 第2回 乳児期の赤ちゃんの認知と言語の発達【認知、言語】 第3回 乳児期の人との関係のはじまりについて【発達早期のコミュニケーション】 第4回 愛着の形成【愛着、内的作業モデル】 第5回 愛着の形成【成人の愛着、愛着の世代間伝達】 第6回 乳幼児期のコミュニケーション発達【共同注意】 第7回 他者とのコミュニケーション、心を推測する力【表象、心の理論】 第8回 発達障害の基本的理解 【学生へのメッセージ】 乳幼児健診での心理士としての経験などを踏まえ、紹介をしていきます。乳幼児期のコミュニケーション発達について学びたい方におすすめします。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	発達心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	サイタ ヤスアキ 税田 慶昭 北九州市立大学文学部・准教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2697882	授 業 概 要	【授業内容】 裁判員制度、刑法の基本原則、犯罪とは何か、刑事司法の仕組み、刑事手続の流れの概要について解説します。あわせて著名冤罪事件も通じて、刑事司法制度の課題についても学びたいと思います。 【到達目標】 刑法の基本原則、犯罪の成立要件、刑事司法の仕組み、刑事手続の流れに関する基本について理解し、また現在の刑事司法の課題について自分の意見を持てるようになること。 【授業テーマ】 第1回 裁判員裁判とは何か 第2回 刑法の基本原則 第3回 犯罪とは何か（1） 第4回 犯罪とは何か（2） 第5回 刑事司法の仕組み 第6回 刑事手続の流れ 第7回 冤罪事件から学ぶ（1） 第8回 冤罪から学ぶ（2） 【学生へのメッセージ】 ニュースやドラマを通じて犯罪や裁判に関心のある方は少なくないと思いますが、実際の法律の世界はイメージどおりとは限りません。誰もが犯罪の加害者や被害者になる可能性はありますし、刑事裁判にかけられる可能性はあります。その時に慌てないよう、少しだけ刑事法を学んでおきませんか。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	犯罪と刑事司法		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タブチ コウジ 田淵 浩二 九州大学大学院法学研究院教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2697890	【授業内容】 明治期～高度経済成長期（おおよそ、1870～1970年頃）の日本経済について、全体の流れを概観した後、重要トピックを6つ（幕末開港のインパクト、日本の産業革命、昭和恐慌期の財政金融政策、戦後復興期のインフレーション、日本の経営、日本の公害）取り上げ、詳しく論じていきます。人口、経済成長、産業構造、貿易構造などの主要経済指標の変遷をおさえたうえで、個別のトピックについて講義を進めていきますが、その際、歴史的な事実は1つであるものの、その解釈・見方については、多様であることを示していきたいと考えています。 【到達目標】 近現代期における日本経済史の概要について、説明できるようになる。 経済史に関する重要トピックについて、それをどのように評価するかについては、複数の解釈・見方があることを理解する。また、これに関して、自分の意見を持つことができるようになる。 日本経済の歴史をふまえて、現代日本経済の諸問題を考えることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 明治期～高度経済成長期における日本経済の概観 第2回 幕末開港の経済的インパクト 第3回 日本の産業革命：「産業革命」は本当に「革命」か？ 第4回 昭和恐慌期の財政・金融政策：井上財政と高橋財政 第5回 戦後復興期（1940年代後半）のインフレーションと政策的対応 第6回 「日本の経営」の功罪 第7回 日本の公害 第8回 質疑応答・ディスカッション・全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 現在の日本経済や、今後の日本経済の行く末については、多くの人が関心があるでしょう。しかし、現在とその周辺だけをみても、「なぜ、日本経済は現在のようなすがたになったのか」ということは理解できません。現在の課題について関心を持ちつつ、過去と対話することの重要性を感じてもらえれば、と思います。 【受講前の準備学習等】 取り上げているトピックについて、記載している参考書などを中心に、事前に調べておいて下さい（参考書は、すべてを事前に読まなければならないわけではありません）。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	歴史から学ぶ日本経済	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	キタザワ ミツル 北澤 満 九州大学大学院経済学研究院准教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697904	【授業内容】 この授業では、絵本やアニメなどを通して広く親しまれている西洋の伝統的なおとぎ話に潜むジェンダーについて、『シンデレラ』などの代表的なおとぎ話を例に考察します。加えて、おとぎ話の歴史的・社会的背景や、おとぎ話に含まれるジェンダーが子どもたちに与える影響とその解消の試みなどについても考察します。 【到達目標】 伝統的なおとぎ話に含まれるジェンダーのステレオタイプや性別役割について具体的・理論的に理解し、おとぎ話をはじめとする文化に潜むジェンダーへの気づきやジェンダー解消についての理解ができる。 【授業テーマ】 第1回 ジェンダーとは何か 第2回 おとぎ話の女性像 第3回 おとぎ話の女性像・男性像 第4回 おとぎ話の歴史的・社会的背景とジェンダー構造 第5回 おとぎ話のジェンダーの再生産と子ども 第6回 おとぎ話のジェンダー解消の試みとフェミニズム 第7回 おとぎ話の語り直し1 第8回 おとぎ話の語り直し2 【受講前の準備学習等】 受講前の準備として、『シンデレラ』、『白雪姫』、『眠り姫』、『ジャックと豆の木』を読んでおいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 授業では、必要に応じてディスカッションやグループワークを行うことがあります。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	おとぎ話とジェンダー	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	タニグチ ヒデコ 谷口 秀子 九州大学名誉教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター	

科目コード	2697912	授業概要	【授業内容】 大学博物館は、膨大な量の学術標本・資料の収集・保存・展示に加え、それらに基づく先端的な教育・研究を展開し、その成果を国内外の研究者や一般市民に公開する「知の殿堂」です。本科目では、各分野で活躍中の九州大学総合研究博物館の教員・研究員が、博物館の役割や歴史、様々な資料の研究法と最新成果を論じ、博物館の見方、楽しみ方を伝授し、大学博物館の最前線を知っていただくことを目的とします。そのため、資料観察や収蔵庫のバックヤード見学などにも時間を取ります。 【到達目標】 大学博物館の多様な役割と意義を深く理解する。最新の研究動向から歴史、博物館資料の新たな公開手法など、実践的な内容を学ぶ。博物館を単なる展示施設としてではなく、学術研究や社会との連携を深める場として捉え直す。受講生は、博物館の諸機能や社会的意義を多角的に分析し、自身の活動や研究等に活かした博物館の活用方法を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 九大博収蔵考古資料を“発掘”する（福永） 第2回 総合研究博物館の古人骨資料（米元） 第3回 九州の鉱物と鉱物標本（上原） 第4回 歴史的什器のデザインと技術（新井） 第5回 棘皮動物の古生態を探索（加藤） 第6回 歴史的音源を知る・聴く・学ぶ（大久保） 第7回 化石化のメカニズムを探索（前田） 第8回 標本資料のデジタルアーカイブ（伊藤） 【学生へのメッセージ】 普段は入れない九州大学総合研究博物館のバックヤードに潜入し、様々な学術標本の実物を見たり触ったりしながら、整理や調査の方法、最新の研究成果を学び、体験してください。 【受講前の準備学習等】 バーチャル万能のご時世ですが、興味ある対象への理解を深めるには、本物をアクチュアルに観察することが何より大切です。数多くの博物館に足を運んでおいください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、資料に触ったり、収蔵庫に入ったりしますので、動きやすい服装が望ましいです。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 2025年度第1学期開講の「大学博物館への招待9」の内容と一部重複します。本授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日まで最寄りの学習センターにて加入してください（開設科目一覧P.5参照）。※会場変更の可能性があります。受講者には別途詳細をお知らせします。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	大学博物館への招待10		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	イトウ ヤスヒロ 伊藤 泰弘 九州大学総合研究博物館教授 フクナガ マサヒロ 福永 将大 九州大学総合研究博物館助教 ヨネモト シオリ 米元 史織 九州大学総合研究博物館准教授 ウエハラ セイイチロウ 上原 誠一郎 九州大学総合研究博物館専門研究員 アライ リュウジ 新井 竜治 九州大学総合研究博物館専門研究員 カトウ モエ 加藤 萌 九州大学総合研究博物館助教 オオクボ マリコ 大久保 真利子 九州大学総合研究博物館専門研究員 マエダ ハルヨシ 前田 晴良 九州大学総合研究博物館名誉教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	この授業は、【★九州大学箱崎サテライト九州大学総合研究博物館（福岡市東区箱崎6-10-1）】で行います。		

科目コード	2697920
学習センター	福岡学習センター
学習センターコード	40A
クラスコード	K
科目名	博物館を学ぶ
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シライ カツヤ 白井 克也 九州国立博物館学芸部長 ワタナベ ヒロキ 渡辺 祐基 九州国立博物館学芸部博物館科学課研究員 イトウ シンジ 伊藤 信二 九州国立博物館企画課長 コイケ ネネ 小池 寧々 九州国立博物館企画課アソシエイトフェロー クワバラ ユズコ 桑原 有寿子 九州国立博物館企画課主任研究員 オザワ ヨシノリ 小澤 佳憲 九州国立博物館展示課主任研究員 サカイダ チアキ 酒井田 千明 九州国立博物館企画課主任研究員 ノナカ マリ 野中 まり 九州国立博物館展示課主任研究員
日程 実施時間	12月3日(木) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月4日(金) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	この授業は、【★九州国立博物館（太宰府市石坂4-7-2）】で行います。

授業概要

【授業内容】 博物館には「文化財の公開展示」「文化財の保存修復」「文化財の調査研究」「教育普及」の機能があります。これらの機能について、九州国立博物館を例に研究員が授業を行います。授業や展示室の見学等を通じて、国立博物館の役割と活動状況について学び、博物館の将来像について考察します。 【到達目標】 学生が博物館の基本的な機能と役割を理解し、国立博物館をはじめとする博物館が置かれている状況、社会から求められていることをふまえて、博物館が今後取り組むべきことについて考察することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 国立博物館の歴史（白井） 第2回 博物館の環境管理（渡辺） 第3回 文化財の収集と管理（伊藤） 第4回 文化財の展示－文化交流展示－（小池） 第5回 文化財の展示－特別展・特集展示－（桑原） 第6回 博物館のバリアフリー化の取組み①（小澤） 第7回 文化交流展示室見学（酒井田） 第8回 博物館のバリアフリー化の取組み②（野中） 【学生へのメッセージ】 社会の変化に伴い、博物館が社会に対して果たすべき役割も変化します。現在の博物館の状況を理解し、今後どのように変化すべきなのか、ともに考えましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容をふまえ、事前に九州国立博物館ホームページ等での情報収集と自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、学生証を持参してください。また、施設観覧料が発生する場合（数百円程度）は自己負担となります。受講者には別途詳細をお知らせします。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697939	授業概要	【授業内容】 住まいは私たちが長時間を過ごす場であり、室内環境は健康・快適性を左右する一方、冷暖房や給湯などを通じてエネルギー消費やCO₂排出にも大きく関わる。本講義では、熱・湿気・空気質・気流・光・音を対象に、快適性や環境負荷に関わる物理現象のメカニズム（なぜ起きるか）を学ぶ。さらに、住環境の健康・快適性・環境負荷を評価する指標を理解し、よりよい住まいを実現するための設計・運用上の工夫や対策へと結び付ける。加えて、住まいの脱炭素化（ZEH〈ゼロ・エネルギー・ハウス〉等）や、気候変動下における住まいの将来展望について概観する。 【到達目標】 学生は、住まいの熱・湿気・空気質・気流・光・音に関わる物理現象のメカニズムを理解し、健康・快適性・環境負荷の評価指標を適切に読み取って、設計・運用上の対策を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 導入：住まいの環境を科学する（快適・健康×省エネ） 第2回 熱環境：建物内外の熱輸送と室温 第3回 湿気：水蒸気・潜熱・結露 第4回 人体の温熱快適性 第5回 室内空気質 第6回 換気通風と住宅の暖冷房負荷 第7回 光と音（騒音・遮音） 第8回 総括：脱炭素と気候変動下の住まいの展望 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・環境シミュレーション建築デザイン実践ガイドブック：自然とつながる建築をめざして（川島範久／彰国社／¥3,850／ISBN=9784395321445） ・最新建築環境工学[改訂4版]（田中俊六ほか／井上書院／¥3,300／ISBN=9784753017577）
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	住まいの環境を科学する		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ハギシマ アヤ 萩島 理 九州大学大学院総合理工学研究院教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2697947	授業概要	【授業内容】 私たちが住んでいる日本は、地震、火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、地理的、地形的、気象的諸条件から、台風、豪雨、豪雪等の自然災害が発生しやすい国土となっています。自然災害を未然に防ぎ、災害による被害を最小限に抑えるための法・組織体系、国や県による防災計画、災害・防災情報の収集・伝達システム、住民および企業ができる防災活動など私たちが安心・安全な暮らしをするのに不可欠な防災・減災に関する総合的な社会システムについて学習します。 【到達目標】 防災活動を全体の社会システムとしてとらえ、我が国の防災システムについて理解できる。すなわち、防災活動が、どのような法律、行政組織、通信・情報システム、住民活動、企業活動等々に基づいて行われているか、幅広い視点から総合的に理解できる。その上で、個別の災害に対する具体的防災活動をシステムとして理解するとともに、災害時にとるべき専門的応用力を身につける。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス＋災害の意味・定義（笠間） 第2回 地震防災と個人でできる地震対策（梶田） 第3回 防災情報と避難行動について（田井） 第4回 河川と洪水災害（林） 第5回 防災と情報（三谷） 第6回 災害被害の予測・予見技術の現状（浅井） 第7回 災害廃棄物の処理（中山） 第8回 令和7年九州北部豪雨による久留米市田主丸土石流について（笠間） 【学生へのメッセージ】 日本各地で自然災害が頻発し、私たちの生活は常に災害の脅威にさらされています。私たち、友人や家族が、安心して安全に生活していくために、災害や防災に関することを勉強しませんか！ 【受講前の準備学習等】 皆さんが考える災害の意味・定義とその理由についてお考えください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 講義2日目の最後に書いていただくレポートの提出方法については、原稿用紙に執筆して提出する方法と、パソコン等で作成して提出する方法を選択することができます。パソコン等で作成する場合は、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンなどをご持参ください。学習センターでの無線LANを利用方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。ただし、講義室に電源はありませんので、あらかじめ十分な充電等を行ってきてください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 2022年度第2学期、2023年度第2学期に開講した面接授業「自然災害と防災」と一部内容が重なる部分があります。
学習センター	福岡学習センター		
学習センターコード	40A		
クラスコード	K		
科目名	自然災害に備える		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カサマ キヨノブ 笠間 清伸 九州大学大学院工学研究院教授 カシタ ユキヒデ 梶田 幸秀 九州大学大学院工学研究院教授 タイ アキラ 田井 明 福岡工業大学社会環境学部教授 ハヤシ ヒロノリ 林 博徳 九州大学大学院工学研究院准教授 ミタニ ヤスヒロ 三谷 泰浩 九州大学大学院工学研究院教授 アサイ ミツテル 浅井 光輝 九州大学大学院工学研究院教授 ナカヤマ ヒロフミ 中山 裕文 九州大学大学院工学研究院教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター		

科目コード	2697955	【授業内容】 この授業では、よく知られているけれども一人ではなかなか読む機会のない本物の英語を、受講生の皆さんと一緒に読んで聞いて理解していきます。レイコフ&ジョンソン著の「メタファー（比喩表現）」を読んで日本語とは異なる英語の比喩表現を理解し、ヒラリー・クリントンの第4回世界女性会議での演説を実際の映像を観て聴いて理解し、ジョゼフ・ナイ著の「ソフトパワー」を読むことで世界政治におけるパワーについての理解を深めていきます。 【到達目標】 ・「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」への転換を行うことで、英語の自律的学習能力を強化することができるようになる。 ・書物、インターネット、ニュース、スピーチ等における本物の英語を自発的に読んで聞く習慣をつけることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 言語と思考 思考を形成するメタファー 第2回 英語のメタファー 第3回 女性の権利と人権 第4回 平等な権利 第5回 ハードパワーとソフトパワー 第6回 政治におけるパワー 第7回 経済学における幸福の追求 第8回 効用（消費を通して得ることのできる満足度）の最大化 【学生へのメッセージ】 ここでのテーマは一見難しそうですが、実際は分かりやすく有用なものです。例えば、ヒラリー・クリントンの力強く分かりやすいスピーチを聞くと、人権とは何か、演説での聴衆の興味のひき方がよく分かります。 【受講前の準備学習等】 受講者に事前に配布予定の資料の導入部や参考書を読んで、授業で取り扱うテーマがどのようなものかを大まかに理解しておいてください。また、これらのテーマについて配布資料中の参考文献、インターネットや書籍を調べてみてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英和辞典（電子辞書でも可） 事前に配布する資料＊受講生には別途連絡します。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・Authentic Reader オーセンティック・リーダー（九州大学大学院言語文化研究院 学術英語テキスト編集委員会／研究社／¥2,200／ISBN=9784327421960） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	福岡学習センター（北九州）	
学習センターコード	40S	
クラスコード	Q	
科目名	オーセンティックな英語を読む	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	130	
定員	35名	
担当講師	マツムラ ヨシコ 松村 瑞子 九州大学名誉教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 読後レポート等 16:05～16:50	
実施会場	北九州サテライトスペース	

科目コード	2697963	授 業 概 要	【授業内容】 政治学を学び、現実の政治を理解する為に必要な基礎的事項を取り上げます。政治現象を一般的に理解するうえで不可欠と思われる概念の検討から始め、自由民主主義社会の政治的伝統の中核にあると思われる諸原理を検討します。基本的には日本における政治を理解対象の前提にしますが、具体的に最新の事実等を取り上げることはせず、事象を理解するために必要な歴史的・思想的知識の批判的な説明を、西洋政治思想史の伝統を利用して行います。 【到達目標】 種々の「政治」を理解し、説明するうえで必要な、政治学の基礎的な用語や知識を適切に使用することができる。 【授業テーマ】 第1回 政治と政治学：対象と方法 第2回 政治の目的：共通善と公共善 第3回 政治の手段：権力と正統性 第4回 政治の空間：国家と市民社会 第5回 政治の伝統：法の支配と立憲主義 第6回 制度と政治：統治の諸構想 第7回 党派と政治：徒党から政党へ 第8回 政治の規範：民主主義と正義 【学生へのメッセージ】 講義を中心にした授業です。大学における政治学はどのようなものであるべきか、ということを再考する機会になるでしょう。メディアやSNSでは学べない知識を提供する予定です。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福岡学習センター（北九州）		
学習センターコード	40S		
クラスコード	Q		
科目名	政治学入門		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	230		
定員	40名		
担当講師	ヤマオカ リュウイチ 山岡 龍一 放送大学		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	北九州サテライトスペース		【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・政治学（川出良枝、谷口将紀／東京大学出版会／¥2,420／ISBN=9784130322195） ・政治学入門 歴史と思想から学ぶ（犬塚元、河野有理、森川輝一／有斐閣／¥2,530／ISBN=9784641151086） ・政治学へのいざない（御厨貴、山岡龍一／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595316241） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 内容の一部が、放送授業「政治学へのいざない（'16）」および講師がかつて担当した放送授業「政治学入門」（複数バージョンあり）と重複します。

科目コード	2697971	授 業 概 要	【授業内容】 ヒューマニスティック心理学は、臨床心理学を構成する一つの理論的立場であり、クライアント中心療法、ゲシュタルト療法、フォーカシング等から構成されるものとして捉えることができます。一方、それは人間の生き方や人生に対する態度についての学問であり、哲学や宗教学、社会学とも接近する総合的かつ実践的な人間学であると考えられることもできます。この授業ではその歴史を学び、一対一で行われる各種の心理療法の理論から、より広いグループやコミュニティへのアプローチの実践まで、段階的に理解していくことを目指します。 【到達目標】 ヒューマニスティック心理学の成立とその発展、特にカウンセリングとグループアプローチについて理解し、現代的意義を考察することができる。 【授業テーマ】 第1回 ヒューマニスティック心理学の歴史 第2回 臨床心理学の諸理論とヒューマニスティック心理学 第3回 クライアント中心療法1 第4回 クライアント中心療法2 第5回 ゲシュタルト療法 第6回 フォーカシング指向心理療法 第7回 人間性回復運動とグループアプローチ 第8回 コミュニティと社会におけるヒューマニスティック心理学 【学生へのメッセージ】 授業は基本的には講義形式ですが、時には小グループで個人的な感覚や体験について表現したり、それに対するフィードバックを得る体験学習を行います。 【受講前の準備学習等】 心理学と臨床心理学の両方について、テキストレベルの自己学習に取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福岡学習センター（北九州）		
学習センターコード	40S		
クラスコード	Q		
科目名	ヒューマニスティック心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カネコ シュウヘイ 金子 周平 九州大学大学院人間環境学研究院准教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	北九州サテライトスペース		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この講座は「北九州市民カレッジ」と共同企画です。同機関の受講生も参加します。

科目コード	2697980	授業概要 【授業内容】 人間の行動は、その人間の心が突き動かしていると考えられがちですが、そのとき、その人間を取り巻く環境も、実はその行動に大きな影響を与えています。環境心理学は、そのような人間の「心理」とその人間を取り巻く「環境」との相互関係を扱う学問です。本授業では、環境心理学のキーワードを、体験的なワークを通して学んでいきます。 【到達目標】 環境心理学のキーワードを用いて、日常の身近な出来事を題材に、人間と環境の関係性について説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 「人間と環境の関係性」に目を向ける 第2回 「物的痕跡」から人の行動を推測する 第3回 「パーソナルスペース」の実測を通して対人距離を理解する 第4回 身近な環境に潜む「アフォーダンス」を発見する 第5回 コミュニケーションワークを通して「学習環境」を整える 第6回 みなさんの「原風景」を紐解く 第7回 「居場所」とは何かを考える 第8回 「環境心理学」のこれから 【学生へのメッセージ】 ペアワークやグループワーク、デモンストレーションなどのアクティブラーニングを取り入れながら、体験的な理解を進めていきます。主体的な参加を期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容について、日常生活を振り返り、復習を行なってください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	福岡学習センター（北九州）	
学習センターコード	40S	
クラスコード	Q	
科目名	環境心理学への招待	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヤマシタ トモナリ 山下 智也 北九州市立大学文学部教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月13日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	北九州サテライトスペース	

科目コード	2697998	授業概要 【授業内容】 ビジュアルコンピューティングとは、視覚情報をコンピュータで「計算・生成・処理」するための学問領域です。一般に「コンピュータグラフィックス（CG）」が映像制作や表現方法を指すのに対し、本分野はその背景にある「数理工学的な仕組み」そのものに焦点を当てます。 本授業では、光の挙動、物体の形状、動きの法則をどう数理モデル化し、計算機上で再現するかという「理論と技術」を体系的に解説します。クリエイティブな制作手法の習得ではなく、映像生成の背後に潜む科学的メカニズムを解き明かすことを目的としています。 【到達目標】 学生は、ビジュアルコンピューティングの基礎理論を体系的に修得し、デジタル画像が生成される背後の数理的・物理的な仕組みを説明できるようになる。具体的には、三次元空間や形状の表現手法、透視投影や隠面処理の原理、光の反射モデル、時間の関数としての運動表現といった基本概念を正しく理解し、映像生成技術の根幹を論理的に記述することができる。 【授業テーマ】 第1回 全ては「点」と「線」から始まったデジタルモデルの基礎理論 第2回 「形」とは何か「物」とは何かー三次元形状表現とモデリング 第3回 遠くにあるとなぜ小さい、後に隠れるとなぜ見えないー投影と隠面処理 第4回 光が当たるとなぜ見えるー光の反射モデルとレンダリングの原理 第5回 色とは何か、模様とは何かーRGBと質感の科学 第6回 動きとは時間の関数ーアニメーションの原理と運動力学 第7回 シミュレーションで本物っぽくなるー物理学計算とリアリティ 第8回 これからのビジュアルコンピューティングーさまざまな理論と技術の発展 【学生へのメッセージ】 私たちの身の回りにある映像技術の背後には、美しい数理の世界があります。数式や物理法則も登場しますが、専門的な予備知識がなくても「仕組み」を論理的に理解できるよう解説します。知的好奇心を持ってご参加ください。 【受講前の準備学習等】 【事前学習】 「レンダリング」「ポリゴン」「光の反射」などの用語や概念について、インターネット等で概要を調べておいてください。また、日常の中で「遠近感」や「影の出方」を観察しておくことを推奨します。 【事後学習】 配布資料を復習し、講義で扱った数理モデルが、実際の映画やゲーム等の映像表現でどう活用されているか考察を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・コンピュータグラフィックス [改訂新版] (コンピュータグラフィックス [改訂新版] 編集委員会/CGARTS協会/¥3,960/ISBN=9784903474496) ※CGエンジニア検定エキスパート対応
学習センター	福岡学習センター（北九州）	
学習センターコード	40S	
クラスコード	Q	
科目名	ビジュアルコンピューティング	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ツルノ レイジ 鶴野 玲治 九州大学大学院芸術工学研究院教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	北九州サテライトスペース	

科目コード	2698005	授業概要 【授業内容】 地球は約46億年前に誕生し、様々な変化を繰り返しながら現在の姿になりました。本講義では、太陽系の惑星における地球の特殊性について理解し、46億年におよぶ地球の歴史、地球環境変動や地球の構造等について学ぶとともに、大規模変動の最適な記録媒体となる変成岩に着目して、地球史における大陸の形成と進化や日本列島の形成過程について学習します。また、全体のまとめとして地球科学研究の最先端研究例にも触れたいと思います。 【到達目標】 ・地球科学の基礎を学び、身の回りの地学現象について説明できるようになる。 ・大陸や日本列島の成立過程を新たな視点で学び、地球表層部の大規模変動現象を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 水惑星地球の歴史：地球史46億年 第2回 地球の内部構造と地球構成物質（岩石・鉱物の基礎） 第3回 地球の大規模変動（プレートテクトニクスの基礎） 第4回 変成岩と変成作用（変成相区分、変成作用の温度圧力条件、変成岩の部分熔融） 第5回 変成岩の解析による大陸成長・進化プロセス 第6回 アジア大陸の成長と日本列島の基盤形成 第7回 日本列島の地球科学 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 高等学校までに履修が少ない地球科学について最新の知識を習得し、身の回りの地球科学的現象や日本列島の多様な地質を考える基礎を身につけて欲しいと思います。 【受講前の準備学習等】 本講義を受講する中で日常的に発生する地球科学的現象や身の回りの地学について、興味を持って接して欲しいと思います。地球の歴史や岩石の基礎など、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この講座は「北九州市民カレッジ」と共同企画です。同機関の受講生も参加します。
学習センター	福岡学習センター（北九州）	
学習センターコード	40S	
クラスコード	Q	
科目名	大陸形成・進化と日本列島の誕生	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	オサナイ ヤスヒト 小山内 康人 九州大学名誉教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 読解・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	北九州サテライトスペース	

科目コード	2698021	授業概要 【授業内容】 本授業は、「健康」と「運動技術」の2つの柱から構成されます。健康の維持増進のためにはどのような運動がなぜ必要なのかについて、実際に簡単な運動をおこないながら説明します。またスポーツにおけるパフォーマンスを高めるための「よい動き」「効率的な動き」とはどのようなものか、さまざまなスポーツの動きを映像で紹介しながら、筋の特性や力学的な側面からスポーツ技術について取り扱います。 【到達目標】 健康の維持増進のために適度な運動を継続的に実践することの必要性を理解し、運動の種類により身体に及ぼす効果が異なることを実際に簡単な運動をおこなうことにより、その効果の違いを説明できるようになる。またヒトの動きのメカニズムを知り、スポーツにおける効率的な動きとはなにかについて説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ヒトが活動するためのエネルギー産出過程 第2回 健康のための運動の種類とトレーニング効果 第3回 ストレッチ、筋力トレーニングの意義と実践 第4回 加齢にともなう歩行動作の変化とエクササイズウォーキングの実践 第5回 ヒトの動きのメカニズム 第6回 筋の特性からみたよい動き 第7回 力学的法則からみたよい動き 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 事前の知識や経験は必要ありません。健康やスポーツに興味があれば、受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して自己学習に努めて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、体育館シューズ、マット（ヨガマット等）と飲み物を持参し、運動できる服装でお越しください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	健康・スポーツ科学概論	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	220	
定員	24名	
担当講師	イノウエ シンイチ 井上 伸一 佐賀大学教育学部教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2698030	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが毎日の生活を過ごすうえで「お金」（金融）は欠かせません。本講義では、金融リテラシー（金融に関する知識・判断力）を高め、大人としてより豊かな生活を送っていくために必要な力（実学）を身につけることを狙いとしています。そのため、社会における金融・経済の構造や金融・生活に関する制度・仕組みなど、将来に向けて最低限必要な金融リテラシーについて学習します。 【到達目標】 本講義で取り扱うお金に関する各分野を理解し、社会の中で経済的に自立し、より良い生活を送っていくために欠かすことのできないお金に関する知識や判断力＝「金融リテラシー」を身につける。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション 第2回 日銀の役割と金融の基礎知識（日本銀行佐賀事務所） 第3回 ライフプランと保険（生命保険協会佐賀県協会） 第4回 ライフプランシミュレーション（生命保険協会佐賀県協会） 第5回 証券業界・証券市場って何だろう（日本証券業協会九州地区協会） 第6回 知っておきたい年金のはなし（日本年金機構佐賀年金事務所） 第7回 金融トラブル（福岡財務支局佐賀財務事務所） 第8回 講義のまとめとワークショップ 【学生へのメッセージ】 本講義は皆さんが自らの将来についてより深く考える機会となることを目標としています。座学で習得した知識を活用しライフプランの作成やグループワーク等のアクティブラーニングを通じて学びを深めていきます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用ください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	金融リテラシーを身につける	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	24名	
担当講師	チャン ハンモ 張 韓模 佐賀大学名誉教授	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 議論・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	授業概要 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット端末、スマートフォンは不可） ※パソコンを使用するのは11月21日（土）第4時限のみです 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です 4. その他受講生が当日用意するもの 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 第2回から第7回までは、各授業テーマに精通した実務家をゲストとして講話等をしていただく予定です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698048	授業概要	【授業内容】 日本史の教科書などにおける幕末維新史は、薩摩藩・長州藩の動向に焦点を当てて記述されることがほとんどです。いわゆる幕末の雄藩「薩長土肥」のうち、肥前佐賀藩に関しては、あまり取り上げられません。しかし、幕末維新期の佐賀の歴史を紐解くと、その存在感の大きさに驚かされます。この授業では、幕末維新期の佐賀藩、特に10代藩主鍋島直正や彼のもとで育まれ明治新政府において比類なき活躍をした佐賀人たちに焦点を当てることで、従来描かれてきた幕末維新史を捉え直してみたいと思います。 【到達目標】 幕末維新史を考える際に、通説にとらわれない視点をもつことができる。 【授業テーマ】 第1回 はじめに 第2回 鍋島直正と幕末佐賀藩 第3回 幕末佐賀藩の近代化政策 第4回 島義勇がみた蝦夷地、そして日本 第5回 パリ万博と佐賀藩の挑戦 第6回 日本の礎を築いた江藤新平 第7回 鉄道開業にみる大隈重信と明治の政局 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 「薩長土肥」の中でも、あまり語られてこなかった肥前佐賀藩。しかし、幕末維新期の佐賀は相当な存在感を持っていました。佐賀に焦点を当てることで、これまでとは異なる幕末維新像を描く一助になればと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「佐賀の視点から捉え直すことで見えてくる通説とは異なる幕末維新像について述べよ。」です。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀から見直す幕末維新		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	フジイ ユウスケ 藤井 祐介 佐賀県文化課施設・歴史資産担当係長(学芸員)		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2698056	授業概要	【授業内容】 ----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- 今や、一種の家電のようになってしまったコンピュータですが、決して、何らかの仕事を勝手にやってくれる「魔法の道具」ではありません。あらかじめ作り込まれた機構を、適切に制御することで、これらを実現しているのです。ここでは、その一連の流れをイメージできるように、まずはコンピュータの仕組みを概観し、数値をはじめとするデータの表現方法、基本的な情報処理を実現する回路について学びます。コンピュータの世界は「0」と「1」だけなのに、どのようにして四則演算やAIを実現しているのか、その秘密に触れてみましょう！ 【到達目標】 コンピュータの仕組みをイメージできるようになるため、数の表現方法と演算方法、それを実現する回路などについて学び、コンピュータの動作原理を理解したうえで、その概要を説明できる。 【授業テーマ】 第1回 コンピュータは4つの部分からなる：入力装置、記憶装置、演算装置、出力装置 第2回 コンピュータは手順に従って動く：プログラム 第3回 コンピュータは近似計算をする：有効桁数、二分法、桁落ち 第4回 コンピュータにおける数の表現：2進数、10進数、16進数 第5回 コンピュータにおける四則演算：加算・減算・乗算・除算、負の数 第6回 コンピュータを組み立てているもの：論理素子（AND・OR・NOT） 第7回 コンピュータにおける演算の実際：加算回路 第8回 情報通信技術（ICT）に関わる身近な話題 【学生へのメッセージ】 ここでは、コンピュータの仕組みをイメージできるようになることを目指します。もし疑問点などがあれば質問して下さい。なお、自学自習の助けとなるように、敢えて教科書を指定しました。参考にして下さい。 【受講前の準備学習等】 ここでは、指定した教科書の第2章、第3章、第5章（5.5-5.7を除く）を中心に上げます。これらの部分を、事前に読んでおいて下さい。斜め読み程度でも構いませんが、理解が困難なところを明らかにして、授業へ臨んで下さい。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（小テストを含む）の評点により行います。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	コンピュータの秘密を解き明かす		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	210		
定員	40名		
担当講師	ワカヤ ヒロシ 和久屋 寛 佐賀大学教育学部教授		
日程実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【受講者が当日用意するもの】 インターネット検索などを織り交ぜて身近な話題を取り上げます。 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレットPC、スマートフォン等）。 2. OSの指定 種類は問いません（推奨OS：Windows11、macOS、iOS、Android等）。 3. ソフトのインストール インターネット閲覧用のブラウザが必要です。種類は問いません（推奨ブラウザ：Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari等）。 4. その他 授業ではWAKABAにログインします。IDとパスワードを確認しておいてください。 【教科書】 ・新・コンピュータ解体新書【第2版】（清水忠昭、菅田一博／サイエンス社／¥1,815／ISBN=9784781914091） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698064	授業概要 【授業内容】 今ではたくさんのお薬が開発され、多くの病気を治せる世の中になりました。日本国内で使われているお薬の数は約2万5000品目あります。しかしそれでも重い病気に罹り、未だ適切なお薬がなくて困っている患者さんも数多くいます。また昨今のコロナ感染症のように人類がこれまでに経験したことがない病気が突然、新たに出現し、世界的に拡散することもあるでしょう。本講義では最新のお薬に関する進歩をご紹介します。この講義内容を明日、誰かに伝えたいくなるようなワクワクするようなテーマをまとめました。さあ、一緒に新しいお薬の世界の扉を開きましょう！ 【到達目標】 ・講義を通じて得たお薬の薬理作用について自分の「言葉」で論理的かつ系統立てて説明することができるようになる。 ・自分自身の考えや意見をまとめ、発表（プレゼン）することができるようになる。 ・日頃の生活においてお薬のニュースに対して興味を持ち、それらのトピックを深掘りして自分自身で学ぶことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 そもそもクスリって何ですか？（作用・副作用・西洋医薬品） 第2回 ここまで進歩して来たクスリの新しい投与方法（DDS・マイクロニードル） 第3回 血圧がちょっと高めのあなたへ（高血圧症治療薬） 第4回 糖尿病のクスリと痩せるクスリ（GLP-1作動薬・痩せ薬） 第5回 がん治療薬の最前線（化学療法・放射線療法・外科療法） 第6回 抗老化治療薬の未来（アンチエイジング） 第7回 ホルモンに作用するクスリ（毛生え薬） 第8回 将来に向けてあなたが考える今後のクスリの展望について 【学生へのメッセージ】 新しいお薬の研究開発に終わりはありません。有効なお薬がなくて困っている人々のもとへ、少しでも早く、良いお薬を届けたいです。さて、あなたは新薬の開発者です。どのような新薬を開発したいですか？Power Point等で作成した資料、またはPower Pointの使用が難しい場合は、手書き資料で、各自、口頭にてプレゼンをして頂きます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自主学習に努めてください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポート（パワーポイント資料の場合、A4サイズで4-5枚程度）の評点により行います。 なお、レポート課題は「今後、人類の幸せのためにあなたはどのような新薬を創りたいですか？」についてです。 【受講者が当日用意するもの】 プレゼン資料作成用としてご自身でノートパソコン等（Power PointがインストールされたPC）を持参・使用していただいても構いません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・セレンディピティと近代医学ー独創、偶然、発見の100年（モートン・マイヤーズ（著）小林 力（翻訳）／中央公論新社／¥1,210／ISBN=9784122061064） ・「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス（戸田山和久（著）／NHK出版新書／¥946／ISBN=9784140883655） ・冒険の書 AI時代のアンラーニング（孫泰蔵（著）／日経BP／¥1,760／ISBN=9784296000777） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	明日、誰かに伝えたいくなる薬の話	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	テラモト ノリヨシ 寺本 憲功 佐賀大学医学部教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2689189	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医療・教育・福祉などのほぼすべての領域で、クライアントと関わる際には、アセスメントツールの活用が必須となっています。各種の発達検査や心理評価尺度の中身や適用を正しく理解することが支援者にはもとめられます。本講では①パーソナリティーの理解のための描画法である「バウムテスト」、②IQや標準化の意味をしない適応行動全般の把握のための「vineland適応行動尺度Ⅱ」、③メンタルヘルスや精神疾患のアセスメントツールである「STAI」と「BDI」を実施します。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。グループ討議があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理アセスメントとは アセスメントツールの利用実態について 第2回 実習1「バウムテスト」 投影法について 第3回「バウムテスト」 レポートの書き方 第4回 実習2「Vineland適応行動尺度Ⅱ」 検査場面の設定等について 第5回 Vineland適応行動尺度Ⅱの集計 数値化と標準化の意義 第6回 Vineland適応行動尺度Ⅱ・結果のフィードバックについて 第7回 実習3「STAI」「BDI」メンタルヘルス領域で用いられる心理尺度 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から8回の基礎実習によって、実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 心理検査や記録に筆記用具を使います。検査レポートは、最終的にパソコンのWordファイルで作成して提出してもらいますので、ノートパソコンを持参ください。 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・エッセンシャルズ・心理アセスメントレポートの書き方第2版（W.J.シュナイダー、E.O.リヒテンバーガー、N.メイザー、N.L.カウフマン著、染木史緒・上野一彦監訳／日本文化科学社／¥4,400／ISBN=9784821063802） ※一般書店での取扱いはありません。Amazonでの購入が可能です。購入は必須ではありません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカジマ シュンジ 中島 俊思 佐賀大学学校教育学研究科教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

授業概要

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	タナカ サキト 田中 沙来人 九州龍谷短期大学保育学科准教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	授業概要 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の実験とレポートの構成 第2回 心理学の研究手法と論文について 第3回 実験実習1（情報伝達） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 前日の振り返りと統計について 第6回 データ分析のための統計法 第7回 実験実習2（ミューラー・リヤー錯視） 第8回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験を実施するためにパソコンを使用します。ワードやエクセルの操作に慣れているほうが望ましいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 パソコンの操作に慣れていない方に関しては、練習していただけるとありがたいです。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの点数により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 Windows 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。

科目コード	2698072	【授業内容】 佐賀県出身、あるいは佐賀経済とのかかわりが深い企業家（アントレプレナー）の、起業や経営再建といった経営活動に注目する中で、経営に関する理論および方法、そして地域貢献などについて学んでいきます。具体的には、旧佐賀紡績を大和紡績によって経営再建させていく鐘紡の武藤山治（1867-1934）、伊万里出身で森永製菓を創業する森永太郎（1865-1937）、蓮池出身で江崎グリコを創業する江崎利一（1882-1980）、北茂安出身でリコー三愛グループ諸企業を創業する市村清を取り上げていきます。 【到達目標】 起業や経営を行っていくために、経営の理論や方法について理解するとともに、設定した目標を達成するために取るべき戦略、組織の策定や経営資源の配置、マネジメント・サイクルの回し方、評価システムのあり方などについて、経営環境や目標の違いに応じて説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 日本の経営の祖・武藤山治が受けた教育や思想形成 第2回 武藤山治の鐘紡経営施策 第3回 武藤山治への旧佐賀紡績の経営再建依頼 第4回 武藤山治の経営再建対応 第5回 森永太郎の森永製菓の創立と地域貢献 第6回 江崎利一の江崎グリコの創立と森永太郎および彼の事業との関係 第7回 市村清のリコー三愛グループ諸企業創立 第8回 市村清の経営再建や地域貢献 【学生へのメッセージ】 経営の理論や方法について、深く、そして広くみていく授業になりますが、人物に即して理解していきますので、興味深くかつわかりやすいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	企業家の起業や経営再建	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヤマモト チョウジ 山本 長次 佐賀大学経済学部教授	
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2698080	【授業内容】 「文禄・慶長の役」の際の本営として豊臣秀吉が整備した肥前名護屋は、史上最大の軍事基地であり、莫大な兵站物資の集積地として都市的繁栄を遂げ、一時は国政の中枢をも兼ねました。この授業では実際にその現地（唐津市鎮西町）に赴き、歴史の舞台に立って往時の遺構を目の前にしながら朝鮮出兵の実態を探っていきます。 【到達目標】 朝鮮出兵の経過・概要とあわせて、名護屋城・大名陣所・城下町から構成される巨大軍事基地「名護屋」の特徴について理解し説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 真説・朝鮮出兵No.1（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第2回 真説・朝鮮出兵No.2（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第3回 巨大軍事基地「肥前名護屋」の構成ー大名陣所の集合体ー（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第4回 秀吉の巨城・名護屋城の実態（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第5回 城下町の発生とその景観（実施会場：鎮西公民館） 第6回 フィールド・スタディーNo.1 大名陣所の見学 第7回 フィールド・スタディーNo.2 特別史跡「名護屋城跡」見学 第8回 フィールド・スタディーNo.3 佐賀県立名護屋城博物館見学 【学生へのメッセージ】 豊臣秀吉に関する基礎情報を持っていると、授業の理解度が向上します。書籍やインターネット、中学・高校の教科書などで予備知識をつけておいてください。 【受講前の準備学習等】 「学生へのメッセージ」をご覧ください、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具類を持参してください。フィールド・スタディが多いので、歩き易い服装・履物・帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・肥前名護屋城の研究ー中近世移行期の築城技法ー（宮武正登／吉川弘文館／¥13,200／ISBN=9784642029605） 【その他（特記事項）】 ・フィールド・スタディでは、徒歩で長時間の移動や坂道の昇降などがありますので、体力に不安のある方は科目登録時によくご検討ください。 ・フィールド・スタディは、当日の天候の状況に応じて時間割や見学コース等を変更する場合があります。 ・交通費は個人負担となります。 ・詳細は科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日まで最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	軍事都市「肥前名護屋」を探る	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタケ マサト 宮武 正登 佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【10/24（土）は★唐津ビジネスカレッジ、10/25（日）は★鎮西公民館、名護屋城博物館および周辺（佐賀県唐津市松南町2番77号、佐賀県唐津市鎮西町名護屋1530番地、佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3）】で行います。	

科目コード	2698099	授 業 概 要	【授業内容】 さまざまな美術作品（資料）を見ながら、支配・被支配、差別・被差別の問題について考えます。同性愛者、黒人、娼婦、乞食たちは社会の中でどのような位置に置かれてきたのかを、彼ら／彼女らのイメージを通して探ります。宗教や性に対する人々の考えや、「他者化」するということ、差別－被差別の問題について考えるきっかけになることを開講意図とします。 【到達目標】 西洋の古代から近現代までの歴史を社会の周縁に属した者たちの視線から見るようになる。また、西洋美術史の大まかな流れと各時代の様式について理解を深めることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 異性愛と同性愛の図像、宗教と性 第2回 異性愛と同性愛 第3回 黒人、白人、東方の人々① 第4回 黒人、白人、東方の人々② 第5回 物乞いたち① 第6回 物乞いたち② 第7回 娼婦（あるいはユダヤ人）① 第8回 娼婦（あるいはユダヤ人）② 【学生へのメッセージ】 美術史が対象とするものは、博物館のガラスケースや台座の上に置かれている作品だけではなく、私たちのまわりに溢れるさまざまな視覚的イメージ全てが美術史の対象となるといっても過言ではありません。（本授業で取りあげる作品の中には、性暴力を含む性的なイメージが含まれます。） 【受講前の準備学習等】 高校までに学習する日本史と世界史の流れを復習しておいてください。また、教科書や参考書を指定しませんので、キーワードやキー概念となっているものを頼りに各自で文献を検索したり、ネットで情報を収集したりしてみてください。パソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。学習センターの無線LANに接続する場合はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記具、タブレットなど、ノートをとれるもの。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	美術史で辿る差別・被差別		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヨシズミ マコ 吉住 磨子 佐賀大学芸術地域デザイン学部教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2698102	授 業 概 要	【授業内容】 ヨーロッパ精神の古層にあるケルト文化、その名残を今も色濃く留めるアイルランド文化を妖精という切口で読み解いていきます。その際、比較文化の視点から、アイルランドの妖精と日本の妖精・妖怪・幽霊との比較によって、両文化の類似点、相違点などを深く理解することになります。 【到達目標】 異文化理解の中の異界の世界を通し、文化の深層にある宗教観、美意識、死生観などを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 アイルランドの妖精とは何か。妖精と妖怪と精霊の違いを学ぶ。 第2回 宮崎アニメのなかに表れるアイルランドと日本の妖精。 第3回 片足の靴屋、レプラコーンについて。 第4回 シンデレラは妖精である。 第5回 アイルランドの浦島伝説、『アシーンの放浪』の中の妖精。 第6回 アイルランドの妖精の歌姫、バンシーが現代音楽に与えた影響。 第7回 総括1 第8回 総括2 【学生へのメッセージ】 異界の文化に興味のある方、歓迎します。 【受講前の準備学習等】 宮崎駿の映画、『となりのトトロ』『千と千尋の神隠し』『もののけ姫』を観ておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	妖精と アイルランド・ケルト文化		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	キハラ マコト 木原 誠 佐賀大学名誉教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2698110	授業概要	【授業内容】 素粒子の基本理論によると、粒子には必ず反粒子が存在することが知られています。反粒子は最初は宇宙線で見測され、その後、高エネルギー加速器の中で生成されていますが、粒子と出会うと途端に対消滅を起こして消えてしまいます。また、素粒子の基本理論は粒子と反粒子の入れ替えについてほとんど対称的であるため、現在の宇宙で見測される範囲では粒子から成る物質しか存在しないことは非常に不思議です。その理由は今なお不明であり、素粒子論と宇宙論で探究されているテーマです。本講義では、現在の宇宙では粒子の方が圧倒的に反粒子より多いと考えられる観測的事実を紹介し、どのようにして粒子だけが生き残って現在の宇宙ができているのかというストーリーを紹介します。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	宇宙の物質の起源		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	フナクボ コウイチ 船久保 公一 佐賀大学工学部教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【到達目標】 ・素粒子の基本理論が反粒子の存在を示すことを理解すること。 ・現在の宇宙の観測から反物質がほとんど存在しない事実を知ること。 ・ビッグバン宇宙論と観測事実から、物質・反物質の非対称性が定量的に決められることを説明できること。 ・物質と反物質の非対称性が生じるための条件を知っていること。 ・物質と反物質の非対称性を説明しようとする試みを知ること。
			【授業テーマ】 第1回 反粒子の発見とその性質 第2回 素粒子の標準理論の概要 第3回 標準理論の中の物質・反物質の非対称性 第4回 ビッグバン宇宙論の概要 第5回 宇宙の中の元素の起源 第6回 観測から分かる物質・反物質の非対称性 第7回 非対称性の起源の可能性 第8回 標準理論を超えて
			【学生へのメッセージ】 ビッグバン宇宙論や素粒子の標準理論の概説も行いますが、事前に参考書などで自習して授業に臨まれると理解の助けになります。量子力学などの数式を用いた説明はしませんが、高校程度の数学(微積分など)を知っていると役に立ちます。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。時間的に余裕があれば、参考書を読んでおいてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・消えた反物質—素粒子物理が解く宇宙進化の謎(小林 誠/講談社/¥1,012/ISBN=9784062571746) ・宇宙と物質の起源「見えない世界」を理解する(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所(編集)/講談社/¥1,320/ISBN=9784065351918) ・素粒子物理学ハンドブック(山田 作衛(編集)/朝倉書店/¥19,800/ISBN=9784254131000) 専門用語の意味を調べるなど、辞書的に利用できます。

科目コード	2698129	授業概要 【授業内容】 発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。 【到達目標】 発酵食品と微生物の関係性を理解し、伝統的な発酵食品（飲料）である清酒製造の現場を体験することにより、「発酵」という現象の意味を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 微生物とは？（実施会場：アバンセ） 第2回 微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ） 第3回 発酵食品その1（実施会場：アバンセ） 第4回 発酵食品その2（実施会場：アバンセ） 第5回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第6回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第7回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第8回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 【学生へのメッセージ】 「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 身近な発酵食品に関して調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。 見学先：基山商店 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151 https://www.kihotsuru.com/ 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。 学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	微生物による発酵とは？	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	20名	
担当講師	コバヤシ ゲンタ 小林 元太 佐賀大学農学部教授	
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【1/9（土）は佐賀学習センターアバンセ第2研修室・1/10（日）は★基山商店（佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151）】で行います。	

科目コード	2698137	授業概要 【授業内容】 フランス語をはじめて学ぶ方のための授業です。フランスに関心があれば、フランス語を勉強したことがなくても問題ありません。フランスを旅行する時に簡単なコミュニケーションができるようになることを目指します。そのため、授業の後半の3分の1では具体的にガイドブックを見ながらグループで学習します。 本授業はパリだけでなくフランスの地方にも注目します。単に会話を学ぶだけではなく、DVDも使用し、城で有名なロワール地方、ワインで有名なボルドーなどフランスの地方の文化の知識も深めます。 【到達目標】 フランス語で自己紹介ができるようになる。 フランス語でカフェやレストランで注文ができるようになる。 フランス語でパンやお土産の買い物ができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 フランス語で自己紹介して、皆で知り合いになる 第2回 パリやモンサンミッシェルの歴史や文化を知る 第3回 パリの観光地へ行き、レストランで注文する 第4回 ロワール地方へ行く 第5回 世界遺産の城を巡るツアーに参加する 第6回 ボルドーへ行く 第7回 ワインや特産品を買い物する 第8回 まとめ、自由に会話してみよう 【学生へのメッセージ】 会話の練習のために、授業中にグループ学習を行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 興味があるフランスについての身近な新聞記事や本を読んだり、テレビでやインターネットのニュースなどを見てください。無理のない範囲で結構です。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業で習ったフランス語を使ったグループワークでの会話制作（提出物）及び学習状況等を総合的に判断して行います。 【受講者が当日用意するもの】 ノートと筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 2023年第2学期に開講した「初歩のフランス語」と内容が重複する部分があります。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	フランス語会話入門	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	30名	
担当講師	オオハシ エリ 大橋 絵理 長崎大学言語教育研究センター教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2698145	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 拡張現実（AR: Augmented Reality）は現実世界にコンピュータの情報を重ね合わせて表示する技術です。例えば、スマートフォンで撮影する映像にCGや文字情報を重ね合わせるゲームや広告などの事例があり、近頃は目にする機会も増えています。そこで、この授業ではARについて学んだ後に、簡単なARを作って体験することで、ARについての理解を深めます。 【到達目標】 学生がARの歴史、種類と構成、要素技術、活用事例、制作方法について理解し、説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ARとは何か？ 第2回 ARの種類と仕組み 第3回 ARの構成と要素技術 第4回 ARの要素技術 第5回 ARの活用事例 第6回 ARを作ってみよう1 第7回 ARを作ってみよう2 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 この授業では、近年では目にする事が多くなったAR（拡張現実）の歴史や仕組みの説明とともに、ARコンテンツの実演を見てもらいます。また、実際に簡単なARコンテンツ作りを体験してもらいます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 カメラ付きノートパソコン。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 筆記用具が必要です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	AR（拡張現実）入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	24名	
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学総合生産科学域（情報データ科学系）准教授	
日程 実施時間	10月24日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2698153	授業概要 【授業内容】 私たちの周囲と内部および私たちを超えた世界を理解するためには、物理学が極めて重要です。物理学は最も基本的で根本的な科学で、最も大きな銀河から最も小さな素粒子に至るまで、宇宙のすべてを研究対象とします。そして、コンピュータや半導体やレーザーなどの暮らしを変える偉大な発見や発明をもたらします。本授業では、物理学の歴史をたどりながら、極力数式を使わずに、力・波・音・光・熱、電気・磁気、原子・分子・素粒子、宇宙・地球・生命などについて、易しく学習します。 【到達目標】 物理学の用語や歴史を理解し、物理的思考に基づいて物事を評価したり判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 力とエネルギー 第2回 波、音、光 第3回 熱と温度、エントロピー 第4回 流体 第5回 電気と磁気 第6回 量子論、原子・分子、素粒子 第7回 宇宙と相対性理論 第8回 地球と生命 【学生へのメッセージ】 物理学は、化学・生物・海洋・天文などの他の科学全ての基本です。これまでに物理学を学習したことがない人でも物理学の面白さや有用性を理解できますので、予備知識がない人も気軽に参加ください。 【受講前の準備学習等】 授業テーマのキーワードをインターネットや図書館等で事前に調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、関数電卓、スマートフォン（電卓機能を使う場合があります）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	物理学入門	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	60名	
担当講師	マツダ ヨシノブ 松田 良信 元長崎大学准教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2698161	授業概要 わが国は、世界でトップレベルの平均寿命を実現していますが、日常生活に制限のない健康寿命と平均寿命との間で約10年の乖離があります。誰もが人生の最終段階まで健やかに暮らせる社会を実現するためには、健康寿命の延伸が不可欠です。本講義では、長崎大学病院の8つの内科診療科の専門家が、それぞれの立場から高齢者が直面する健康課題や予防策について解説します。また、参加者とともに「高齢者が健康に生きる」とは何かを議論し、高齢社会におけるより良い生活のあり方を探索します。 【到達目標】 人生100年時代において、健康で豊かな人生を送るために、高齢者が直面する健康課題とその予防法、対処法を正しく理解し、医学的知識を基に「高齢者が健康に生きる」とは何かを深く考え、日常の生活習慣の改善に役立てられるようになる。 【授業テーマ】 第1回 あなたの肝臓は大丈夫？～脂肪肝、ウイルス性肝炎、肝臓について～（三馬） 第2回 高齢期の疾患（老年症候群）とアクティブ・エイジング（山梨） 第3回 今からでも肺は変わる－高齢者の禁煙と健康寿命の医学（深堀） 第4回 慢性腎臓病と健康寿命（鳥越） 第5回 脳の健康を意識しよう（辻野） 第6回 糖尿病を正しく理解する（二里） 第7回 気になる皮膚病変、関節痛の原因は？（遠藤） 第8回 心臓病と上手につきあい健康寿命を延ばそう（前村） 【学生へのメッセージ】 シラバスの内容を踏まえ、受講前に自己学習に取り組むとともに、授業で配布される資料を用いて事後学習も行ってください。そして健康寿命の延伸に向けて自分の生活習慣の改善に取り組んでください。 【受講前の準備学習等】 講師との双方向的な議論を促進するため、シラバスの内容を踏まえ、受講前に自己学習に取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『高齢者が健康に生きるとは』です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	健康寿命の延長に向けて 5	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	マエムラ コウジ 前村 浩二 長崎大学生命医科学域（医学系）教授 ミウマ サトシ 三馬 聡 長崎大学生命医科学域（医学系）准教授 ヤマナシ ヒロトモ 山梨 啓友 長崎大学生命医科学域（医学系）准教授 フカホリ ススム 深堀 範 長崎大学病院呼吸器内科講師 トリゴエ ケンタ 鳥越 健太 長崎大学大学病院腎臓内科准教授 ツジノ アキラ 辻野 彰 長崎大学病院脳神経内科教授 ニリ テツロウ 二里 哲朗 長崎大学生命医科学域（医学系）助教 エンドウ ユウシロウ 遠藤 友志郎 長崎大学病院臨床研究センター助教	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2698170	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	食生活学2	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	オイカワ ダイチ 及川 大地 長崎大学人文社会科学域（教育学系）准教授 ウエムラ モモエ 植村 百江 長崎県立大学看護栄養学部講師	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	授業概要 【授業テーマ】 第1回 米の特徴（及川） 第2回 小麦の特徴（及川） 第3回 日本の食の歴史と文化（植村） 第4回 地域の食文化に関する調査（植村） 第5回 運動と食に関する地域での健康調査（基礎）（植村） 第6回 健康にかかわるプログラムの実施について（応用）（植村） 第7回 乳の特徴（及川） 第8回 卵の特徴（及川） 【学生へのメッセージ】 授業は主にパワーポイントスライドを投影しながら説明をします。グループで話し合う場合があります。グループ全員が話し合える環境にご協力ください。 各自で準備いただいたパソコンやスマートフォンで検索する授業回があります。 【受講前の準備学習等】 毎日、どのようなものを食べているのか、日常食べている食品の栄養素を少し意識してみてください。 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 プリントを配付するため、収納するためのファイルまたはノートをご準備ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146	授業概要 【授業内容】 心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者及び参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。また、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究法と心理学実験 第2回 実験の計画立案、データ整理、統計分析とレポート作成方法 第3回 「パーソナルスペース」：実験 第4回 「パーソナルスペース」：データ整理のまとめ 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：実験 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：データ整理とまとめ 第7回 「印象形成（中心特性の働き）」：実験 第8回 「印象形成（中心特性の働き）」：データ整理とまとめ 【学生へのメッセージ】 この授業によって、実験を体験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 全員、授業内容の筆記や実験データ記録のために、ノートと筆記用具をご持参ください。 また、実験結果のグラフ作りやレポート作成などにノートパソコンを使用したい受講生は、ご自分のノートパソコンをご持参ください（ノートパソコンは必携ではありませんので、実験結果のグラフ作りやレポート作成を自筆とする人はノートパソコンを持参する必要はありません）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにはプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヨシタケ クミコ 吉武 久美子 長崎純心大学大学院教授	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学実験の基本的手法を学ぶことは、人の心を科学的に探究する技術を理解し、心理学の学びを深めるためにも重要です。この授業では、2つの心理学実験（ミュラー・リヤー錯視、アイコニックメモリー）を取り上げます。それらの心理学実験を通して、データの分析とレポートの書き方の基礎を習得します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎 第2回 実験：ミュラー・リヤー錯視 第3回 解説：ミュラー・リヤー錯視 第4回 実験：アイコニックメモリー 第5回 解説：アイコニックメモリー 第6回 表計算ソフトの操作方法 第7回 データの分析とレポート執筆指導1 第8回 データの分析とレポート執筆指導2 【学生へのメッセージ】 実験の進行具合によって初日の昼休み時間が前後します。かなり忙しい授業になると思いますので、心して臨んでください。また、表計算ソフトであるExcel（またはGoogle スプレッドシート）を使います。基本的な使い方を知っておくことが望ましいです。できればフィルターとピボットテーブルの機能について調べておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び、後日提出してもらったレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。キーボードを使用するため。 2. OSの指定 Windowsが望ましい。 3. ソフトのインストール 表計算ソフト（ExcelやSpreadsheet。前者が望ましい）が必要です。ブラウザは、Google Chrome（クローム）、Microsoft Edge（エッジ）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・Windows11以上、Excel2016以上を対象とします。ブラウザは最新バージョンにアップデートしておいてください。 ・マウスを持参してください。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフト EZR（Easy R）で誰でも簡単統計解析（改訂第2版）（神田善伸／南江堂／¥4,620／ISBN=9784524218615） 【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院非常勤講師	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	長崎学習センター講義室	

授業概要

科目コード	2698196	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業は、カウンセリングの基本理論を踏まえ、教育・対人援助場面において実践できる面接技法の習得を目的とします。傾聴、アセスメント、支援計画立案、認知行動的アプローチ、解決志向的支援、保護者対応、多職種連携などを扱い、ロールプレイや事例検討を通して体験的に学びます。 【到達目標】 以下を身につけることを目標とする。 ・カウンセリングの基本姿勢（受容・共感・自己一致）を説明できる。 ・基本的傾聴技法を実践できる。 ・事例から課題を整理し支援方針を立案できる。 ・学校現場での具体的対応を構想できる。 ・倫理的配慮を踏まえた支援ができる。 【授業テーマ】 第1回 カウンセリングの基礎理論 第2回 傾聴技法の基礎 第3回 傾聴技法の応用 第4回 アセスメントの方法 第5回 認知行動的アプローチと解決志向 第6回 学校場面での支援実践 第7回 保護者面談と多職種連携 第8回 総合演習と倫理 【学生へのメッセージ】 カウンセリングは「技法」だけでなく、「在り方」を学ぶ営みです。 相手を変えようとする前に、まず自分自身の姿勢や聴き方を見つめ直すことが求められます。本授業では、うまく話すことよりも、「丁寧に聴くこと」「相手を尊重すること」を大切にします。 ロールプレイでは、うまくできなくて構いません。失敗や戸惑いこそが学びの素材になります。安心して挑戦してください。将来、学校や対人援助の現場に立ったとき、目の前の一人に誠実に向き合える力を身につけることを目標に、一緒に学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 本授業は、基礎的な心理学・教育相談・生徒指導等の科目をすでに受講されているか、もしくは同程度の基礎知識を有していることが望ましいです。例えば、基礎的な発達心理学の知識、カウンセリングの基本概念（受容・共感など）、学校における生徒指導の基本的枠組みなどです。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましいです）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 特にありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・カール・ロジャーズ カウンセリングの原点（諸富 祥彦／KADOKAWA／¥2,530／ISBN=9784047036406） ・改訂版 包括的スクールカウンセリングの理論と実践：子どもの課題の見立て方とチーム連携のあり方（本田恵子（編集）、植山起佐子（編集）、鈴木眞理（編集）／金子書房／¥3,850／ISBN=9784760832736） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	カウンセリングの実践	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ウチノ ナルミ 内野 成美 長崎大学人文社会科学域（教育学系）教授	
日程 実施時間	2027年1月9日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2027年1月10日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

授業概要

科目コード	2698200	授業概要 【授業内容】 行動経済学は刑事学と心理学が融合した新しい分野として注目されており、一見、非合理的に見える人間の行動を考える興味深い視座を提供しています。この講義では行動経済学の初学者を対象に行動経済学の全体像を提示することを目的としています。 【到達目標】 1 行動経済学と従来の経済学の違いを理解できる。 2 合理的行動と非合理的行動の異同について理解できる。 【授業テーマ】 第1回 行動経済学への招待 第2回 合理的行動のワナ 第3回 非合理的行動の描写：ヒューリスティックとバイアス（1） 第4回 非合理的行動の描写：ヒューリスティックとバイアス（2） 第5回 非合理的行動のメカニズム（1） 第6回 非合理的行動のメカニズム（2） 第7回 行動経済学の応用 第8回 総括 【受講前の準備学習等】 指定した教科書に一通り目を通しておいください。精読する必要はありませんがどんな話題が取り上げられるのか事前に確認してください。学習効果が高まります。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 ・大学4年間の行動経済学がざっと10時間で学べる（阿部誠／（株）KADOKAWA／¥1,650／ISBN=9784046063212） タイトルは簡単そうですが、ある程度の専門性・水準が維持されている良書です。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	生活の中の行動経済学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	60名	
担当講師	フカウラ アツユキ 深浦 厚之 鎮西学院大学現代社会学部教授	日程実施時間 10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2698218	授業概要 【授業内容】 はじめて長崎の歴史を学ぶ者に対し、まずは、客観的な観点から九州の西にある長崎を眺め、周辺情勢から長崎の位置、存在の意義を知り、そして長崎の街の成り立ちから繁栄への道を訪ねます。フィールドワークではその地形的な位置づけから町の成り立ちを知り、実際に実物を見ながら長崎の存在の理由を理解します。 【到達目標】 ただ単に歴史の年号や言葉を覚えるのではなく、その事象の存在の理由を理解できるようにする。 【授業テーマ】 第1回 長崎の街の成り立ち（ポルトガル時代） 第2回 長崎の街の成り立ち（江戸時代） 第3回 長崎の街の成り立ち（ポルトガル時代）（フィールドワーク） 第4回 長崎の街の成り立ち（江戸時代）（フィールドワーク） 第5回 長崎の民俗文化 第6回 長崎の寺社仏閣 第7回 長崎の民族文化・寺社仏閣（フィールドワーク） 第8回 長崎の寺社仏閣（フィールドワーク） 【学生へのメッセージ】 前半は室内での講義を中心に、後半はフィールドワークとして市街地を巡ります。長崎市街地はアップダウンが多く交通に気を付けて参加してください。 【受講前の準備学習等】 市街地を中心に講義を行い、また、その市街地をフィールドワークするため、事前に地図などで長崎県、長崎市の位置関係や交通機関の把握をしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 なお、レポートは鉛筆書きとし、400字詰め原稿用紙2枚程度でまとめてもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・長崎遊学12「ヒロスケ長崎ぶらぶら歩き」（山口広助／長崎文献社／¥1,100／ISBN=9784888512732） 【その他（特記事項）】 入場料の係る施設に行く場合がありますので1,000円程度を携帯してください。館内の飲食スペースには限りがありますのでご承知おきください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開設科目一覧（P.5参照））。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	はじめての長崎学	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	ヤマグチ ヒロスケ 山口 広助 (有) 青柳 代表取締役	日程実施時間 11月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【★長崎県立長崎図書館郷土資料センター（長崎県長崎市立山1-1-51）】で行います。	

科目コード	2698226	授業概要	【授業内容】 西洋造形を理解したうえでのアカデミックな視座から、人物石膏像をモチーフとした応用的な鉛筆素描による表現を行います。はじめにモチーフ固有のムーブマン、位置に応じた構図、印象の捉え方の内容に端を発し、本講義での学習を促進させます。併せて、絵画空間固有の計画性を持った作品作りを理解し、実制作へと向かいます。途中講評、最終講評を行うことで、制作における到達点と課題についてそれぞれ考察を行います。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席する必要があります。 【到達目標】 西洋造形を用いた応用的な素描表現をするために、制作時の客観的な視点を獲得し、現象を利用した正確な質感表現と、造形思考による空間・量感を表現できるようにする。 【授業テーマ】 第1回 絵画空間を創造するための鉛筆素描についての諸注意 第2回 描きだしの際の、印象の把握とムーブマンの形成について 第3回 最終的なバルールのための契機作りと、空間に応じた側面の表現について 第4回 途中講評と、頭部骨格の再現性について 第5回 途中講評と、頭部骨格の再現性について。 第6回 途中講評を起点とした素描の続き 第7回 差異を用いた空間表現について 第8回 講評と考察：到達点と今後の課題 【学生へのメッセージ】 明度・彩度の関係を理解し再現できることを前提として、本講義では鉛筆素描を行います。「石膏デッサンを描こう」を受講しているか、あるいは、概念上の山折りと谷折りの紙を正確に表現できることが望ましいです。 【受講前の準備学習等】 講義はじめに作品講評を行います。スケッチブック（A4サイズ程度）に、鉛筆（木炭は不可）を用いて描いた「山折りの紙」の素描1点と、「谷折りの紙」の素描1点を、当日持参してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 途中講評と最終的な講評の際、バルール確認のために使用しますので、鉛筆によるグラデーションスケールを各個人の素描用具に応じた明暗に合わせて、作成してください。大きさは任意で構いませんが、目安として4cm×20cm程度の枠内に作成してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 汚れてもよい服装、筆記用具、鉛筆を削るためのカッターナイフ、素描用具一式。手のひらサイズの鏡。事前課題。※その他、普段、鉛筆素描に使用している道具があれば持参ください。
学習センター	長崎学習センター		
学習センターコード	42A		
クラスコード	K		
科目名	石膏デッサン応用		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	330		
定員	20名		
担当講師	マキノ カズホ 牧野 一穂 長崎大学人文社会科学域（教育学系）准教授		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター講義室		

科目コード	2698234	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認して科目登録してください。
学習センター	長崎学習センター		
学習センターコード	42A		
クラスコード	K		
科目名	Pythonによる データ可視化		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名	日程 実施時間	Python の表計算ライブラリPandasおよび、グラフ描画ライブラリMatplotlibを用いて、さまざまなデータの表作成、グラフ作成を学びます。 【到達目標】 ・ Python言語を通じて一般的なプログラミング書法を身につけることができる。 ・ データの可視化方法を理解し、表やグラフの種類とその使い分けができる。 ・ Pythonで外部ライブラリを利用する方法を理解し、表計算ライブラリPandas、グラフ描画ライブラリMatplotlibを利用して可視化できる。 【授業テーマ】 第1回 データから表へ、表からグラフへ。（導入編） 第2回 Python開発環境の構築 第3回 Pythonプログラミング、外部ライブラリの導入 第4回 PandasとMatplotlibを用いたJupyterノートブック 第5回 データ変数の尺度、Python言語の変数型タイプ 第6回 データから表、表からグラフへ（実践編） 第7回 データスクレイピングと図表作成 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 ヒトに対するアンケート調査や、モノに対する計測は、ただのデータですが、そこから主張する傾向や関係性をコトバではなく絵で一発で読者に了解させる手法がグラフです。Python言語で超美麗にグラフを描いてみましょう。 Python言語を使ったことがなくても、授業の中で適宜学べるようにします。 【受講者が当日用意するもの】 に注意してください。 【受講前の準備学習等】 ・ シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・ インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・ OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	ソノダ コウタロウ 藺田 光太郎 長崎大学総合生産科学域（情報データ科学系） 助教		
実施会場	長崎学習センター講義室	授業概要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ・ ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可です） 2. OSの指定 ・ OSはWindowsでもMacでも構いませんが、Chromebook、タブレットPC、iPad等ではプログラミングができませんので注意してください。 3. ソフトのインストール ・ 授業ではPython3系を使用します。授業の中でPython実行環境のダウンロードとインストールを行います。既にインストール済みの場合は改めてアンインストールする必要はありません。 ・ 授業ではプログラムソースコードを編集するエディタが必要で、Visual Studio Code を使用する予定です。こちらも授業の中でダウンロードとインストールを行います。既にインストール済の場合は改めてアンインストールする必要はありません。また、Visual Studio Code 以外のエディタを既に利用している場合は、授業中に不具合があっても対応できかねますのでご了承ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698242	授業概要	【授業内容】 ニンジンなぜオレンジ色なのかという問題を通して、量子力学の基本をマスターすることができます。難しい数式は不要です。授業では実験もまじえ、量子力学の不思議な世界へ誘います。特に、量子力学が作られた歴史的背景に重点を置きます。授業終了時には、みなさん自身の手でニンジンの色を「計算」で導けるようになっているはず。そして、不思議な物理学の世界に一歩足を踏み入れている自分を発見するはず。
学習センター	長崎学習センター		
学習センターコード	42A		
クラスコード	K		
科目名	ニンジンで学ぶ 量子の世界		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	キシネ ジュンイチロウ 岸根 順一郎 放送大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:25 第4時限 15:40～16:25 議論・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター講義室		【到達目標】 学生は、量子力学の基本的特徴について自ら語れるようになる。また、ニンジンの色を計算で導出できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 Powers of ten：物理の発想法 第2回 粒と波：物理現象の眺め方 第3回 光の本性 第4回 電子の本性 第5回 物質の成り立ち 第6回 光と電子の結びつき 第7回 ニンジン色を計算で出す 第8回 量子世界の広がり：シュレーディンガーの猫から量子コンピュータまで 【学生へのメッセージ】 目に見えないミクロな世界を探索する量子力学の世界を味わってみませんか。中学程度の文字式の計算だけで、最先端の物理学へお誘いします。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2698250	【授業内容】 長崎大学の練習船「長崎丸」に乗船して実施する1泊2日の体験型合宿授業です。長崎大学水産学部の教育機関及び船員の養成機関でもある練習船に、長崎大学学生と共に乗船し、船に関する知識と海洋調査により、現在の環境を調べる手段とその重要性を理解して頂きます。 【到達目標】 海洋環境の変化を把握する為に、様々な観測機器を使い、海水や、泥等を採取し含まれる生物等を調べる事により、現状を把握し、生物環境保全への手段を提案する事が出来るようになる。 【授業テーマ】 第1回（船内活動）ガイダンス、練習船の見学（山脇） 第2回（室内講義）安全設備の解説と避難訓練（森井） 第3回（航海実習）操船、機関室見学、船舶運用実務（森井） 第4回（室内講義）船の基礎知識について（森井） 第5回（観測実習）CTD観測、採水、透明度（山脇） 第6回（観測実習）採泥、プランクトン採集（山脇） 第7回（室内講義）海の生物と環境（山脇） 第8回（室内講義）海洋観測について、2日間のまとめ（森井） 【学生へのメッセージ】 全世界の環境が大きく変化してきている現在において、日本人にとって大きく関係している食糧資源となる魚類の生息域の変化も顕著になってきています。海洋の生産の基礎となる海洋プランクトンおよびその環境について学び、さらに産業としての漁業について理解を深めて頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 授業で説明する資料を事前に配布します。 長崎丸に搭載されている航海計器・観測機器の名称、使用目的等を事前に理解して下さい。 現在の環境変化による災害等に関する情報収集に努めて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 野外活動ができる服装と靴でお越しください。レポートがありますので、筆記用具を準備ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 船内の宿泊は2～4名の相部屋です。船内は急傾斜の階段が多いため、階段の昇降に支障のない方に限ります。 船上での実習を実施するため、天候等状況に応じて授業時間割を変更して実施することがあります。 参加費・交通費として授業料とは別に、15,000円程度（※施設維持管理費（10,000円）、食費・クリーニング代（2,500円程度）、交通費（2,500円程度））が必要です。参加費・交通費は当日徴収します。受講できなくなった場合は、必ず事前に長崎学習センターに連絡して下さい。乗船14日前（11月14日）以降にキャンセルの場合は、食費分をいただきます。 ※長崎丸の乗船には、2020年度から「長崎丸共同利用における施設維持管理費」10,000円が必要になりました。（上記15,000円程度に含んでいます。） 授業1日目は、午前8時30分までに学習センターに集合後、係留場所（長崎市多良町）までバスで移動します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険（100円）および「学生教育研究賠償責任保険（340円）」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	五島灘洋上実習	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	モリイ ヤスヒロ 森井 康宏 長崎大学水産学部教授 ヤマウキ ノブヒロ 山脇 信博 長崎大学水産学部准教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	この授業は、【★長崎大学水産学部附属練習船長崎丸】で行います。	

科目コード	2698269	授業概要 【授業内容】 生体試料は一般に複雑な成分から成り立っています。例えば、血液は大きく分けると細胞成分と血清・血漿から成り立っていますが、これらの中には機能をもった様々なタンパク質、糖質、脂質、核酸、ビタミン、電解質などが含まれています。これらの成分のそれぞれには存在する意義があり、その濃度や種類を調べることで、ヒトの健康状態などに関する有用な情報が得られます。 この授業では臨床検査などで測られている成分をはじめとして、色々な生体成分の測定意義やそれらがどのような原理で測られているのかを解説します。 【到達目標】 ・各種生体成分の機能や存在意義を理解し、その変動が意味することを簡潔に説明することができる。 ・各種生体成分の変動と病態との関連性を説明できる。 ・各種測定法の原理を理解し、それらの概要を簡潔に説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 生体試料分析とは 第2回 血液の成分について 第3回 血液試料分析の意義と方法1 第4回 血液試料分析の意義と方法2 第5回 血液試料分析の意義と方法3 第6回 尿の成分について 第7回 尿試料分析の意義と方法 第8回 その他の生体試料分析 【学生へのメッセージ】 分析化学、臨床検査等に関わる専門用語を少し用いますが、わかりやすい解説を心がけます。授業の中でわからない点や自分なりの考えがあれば積極的に質問や発言をして、双方向のおもしろい授業にしていきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 授業の理解を深めるためには化学や生化学の基礎的な知識が少し必要になります。シラバスの内容から判断して、高校の教科書レベルの基礎的な化学（有機化学）と生化学（タンパク質、糖質、脂質、核酸等）を事前に復習するなど、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	生体試料分析の意義と方法	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	クロダ ナオタカ 黒田 直敬 長崎大学名誉教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	

科目コード	2689014	【授業内容】 ----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようにする。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践（体験版を受講） 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続きを面接授業の実施前までに行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。授業実施前日までは、無線LAN利用申請（研修を含め所要時間約1時間）をしておくことを強く推奨します。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 「学生生活の菜」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA(教務情報システム)や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラパスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配付する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 シラパスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 ----- 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ（重要:授業中は、ずっとパソコンを使用します）を持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配布資料をPDF形式ファイルで提供しますので、(Acrobat Readerをインストールするなど)PDFファイルが閲覧できるようにしておいてください。 4. その他 Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft365のWordを対象とします。 授業当日は、学生証を必ず持参してください（授業内でログイン操作を伴う実習があります）。 また、USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）とイヤホンを持参してください。 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します。 【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF）（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） ダウンロード方法は授業で説明します。 ----- 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	クボタ シンイチロウ 久保田 真一郎 熊本大学半導体・デジタル研究教育機構准教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター	

授業概要

科目コード	2698277	授 業 概 要	【授業内容】 本授業は、文章作成の基本となる「何を」「どう書くか」という2つの観点から進めていきます。文章が論理的であるとはどういうことかということから説き起こし、「序論・本論・まとめ」からなる文章の基本構成、テーマ設定から執筆に至るまでの手順、情報の要約や言い換えの仕方、文章のマナー等を随所に盛り込みながら、論理的な文章の作成に取り組みます。なお、授業は4～5人編成のグループ学習の形を取ります。
学習センター	熊本学習センター		【到達目標】 伝えたいことを明確にし、論理的な構成の文章で伝えることができるようになる。
学習センターコード	43A		【授業テーマ】 第1回 レポートの基本構造・レポート「課題」の説明 第2回 わかりやすい文を書く 第3回 文献の読み込み 第4回 考える（問いと答え）・要約と言い換え 第5回 パラグラフで考える / 主張を考える（目標規定文をつくる） 第6回 レポート作成のマナー 第7回 序論とまとめを書く 第8回 まとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 「書く」行為は「考える」行為に他なりません。講義を通じて論理的に考える習慣を身につけましょう。授業では、レポートを完成するために学生自らが関連資料を探し、読みこんだ後に、グループディスカッションに臨むことになります。
科目名	レポート作成の基本		【受講前の準備学習等】 指定した教科書は、100ページ程度の分量ですから、事前に目を通しておいください。
科目区分	基盤科目		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	120		【受講者が当日用意するもの】 最終レポートは、原稿用紙を配りますので、手書きで構いません。パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。
定員	20名		【教科書】 ・〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方（渡邊淳子／研究社／¥1,430／ISBN=9784327384883） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
担当講師	ワタナベ ジュンコ 渡邊 淳子 熊本保健科学大学アカデミックスキル 支援センター教授		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「レポート作成の基本2021」「レポート作成の基本2022」「レポート作成の基本2023」の単位を修得済みの方は登録できません。
日程 実施時間	12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		

科目コード	2698285	授業概要 【授業内容】 <この授業は英語で行います。英語で初級～中級レベルの日常会話ができる方を対象としています。> 異なる文化的背景をもつ人々とコミュニケーションを行ううえで、言語理解は重要な要素ですが、それだけでは十分ではありません。本授業では、文法・語彙・発音といった言語面の学習を超え、文化的気づきを高める実践的なアプローチを通して、異文化間コミュニケーションを円滑に行うための考え方や方略を学びます。 【到達目標】 本授業を通して、効果的な異文化コミュニケーションを支える主要な理論・概念・戦略について、実践的かつ応用的に理解できるようになる。さらに、抽象的な枠組みの理解にとどまらず、これらの知見を学術的場面、職業的場面、日常的な場面など、文化的背景の異なる人々との実際のやり取りの中で活用できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 始めよう！異文化交流シミュレーション 第2回 異文化コミュニケーション能力の基礎 第3回 文化的知性（Cultural Intelligence）：知識基盤の構築（その1） 第4回 文化的知性（Cultural Intelligence）：知識基盤の構築（その2） 第5回 コミュニケーション意欲（Willingness to Communicate）の理解 第6回 異文化コミュニケーションの実践戦略 第7回 スモールトーク：小さな会話が大きな意味を持つ 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業は実践的な応用を重視しており、さまざまなアクティブラーニング活動を取り入れています。これらの活動への積極的な参加は、学びを深め、本授業で扱う力を身につけるうえで重要な要素となります。 【受講前の準備学習等】 異文化体験についての振り返りを促し、授業活動への準備となる短いライティング課題に取り組みます。なお、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英和辞書（紙、電子は問わない）を持参してください。最終レポートは、原稿用紙を配りますので、手書きで構いません。パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	実践的異文化コミュニケーション	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	40名	
担当講師	シムズ ランダー プライアント シムズ ランダー プライアント 熊本大学大学院人文社会科学部研究部講師	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター	

科目コード	2698293	授業概要 【授業内容】 フレイルは、健康と健康悪化（要介護状態）の境界に位置しており、適切な予防や対策によって改善が可能であることが特徴的です。高齢者の健康悪化は「年だからしょうがない」と諦めてしまうことがありませんか。本当に「しょうがない」のでしょうか。老年期に起こりやすい健康障害をテーマに選定し、諦める前にできることについて授業で具体的に学んでいきます。老年期の健康は個別性が高く、老年期までの生活習慣や健康状態、そして環境が関係します。すなわち、高齢者の人生に直接的にかかわります。老年期の健康支援では、専門職は“高齢者がこれまでどのような生活を送ってきたのか、いまどのような思いで生活されているのか、そしてこれからどのような人生を過ごしたいのか、傾聴し、支援の方向性を高齢者や家族とともに考えます。 【到達目標】 フレイルサイクルを理解できる。 高齢者に特徴的なフレイルとフレイル予防のための必要な支援について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 高齢者の健康と生活の多様性 第2回 高齢者のヘルスプロモーション①予防、フレイルサイクル 第3回 高齢者のヘルスプロモーション②社会参加、コミュニケーション（ヒアリングフレイル） 第4回 高齢者のヘルスプロモーション③食生活・活動支援（サルコペニア、オーラルフレイル、ロコモティブシンドローム） 第5回 高齢者のヘルスプロモーション④活動・休息支援（特に、睡眠パターン、睡眠障害） 第6回 高齢者のヘルスプロモーション⑤排泄支援（排尿障害、排便障害、腸内環境） 第7回 高齢者のヘルスプロモーション⑥認知症（認知症予防、認知症になっても安心して暮らせる社会） 第8回 高齢者のヘルスプロモーション⑦認知症と地域共生社会、まとめ 【学生へのメッセージ】 担当教員は、これまで老年看護学の教育・研究に携わってきました。この授業では、授業テーマに沿って実践経験をふまえたお話しをしてまいります。老年期は私も経験したことがないステージですので、高齢者から生活史を聴かせていただく機会を意識的につくりながら対象理解を深めています。高齢者が歩んできた道は、私たちが歩む道でもあります。高齢者が健康で、尊厳を保ちながら生活することを支援するために、私たちにできることは何か、一緒に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの採点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 パソコンでレポートを作成したい方はパソコンおよびUSBメモリを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	高齢者のヘルスプロモーション	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカムラ サツキ 中村 五月 熊本大学生命科学研究部准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター	

科目コード	2698307	【授業内容】 この授業では、下記に示す8つのテーマに沿って、救急車で受診すべき胸痛、心肺蘇生法の体験、脳梗塞防止のための不整脈の自己確認の実践、歯周病の危険性、健康診断の内容、心不全予防に向けたレジスタンス運動の実践、家庭血圧測定の意義と実践、腎機能についての講義を行なっていきます。体験される方は動きやすい格好で受講してください。昨年はみなさん和気あいあいとして体験されていましたが、必ずしも体験されなくても良いです。本講義では、急変時や疾病回避のための新しい知識や習慣を身につけていただくことを目標としています。 【到達目標】 学生が心肺蘇生や自分の脈・体重・血圧などの測定やレジスタンス運動の体験をし、急変時の対応について理解を深め、自分の身体計測を正しく行い、そのデータを有効に活用できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 胸痛について考えよう 第2回 目の前で家族・同僚が意識を失ったらどうする？～AEDを用いた心肺蘇生法の体験～ 第3回 脈を測ろう～自分で脈のリズムを確認して心房細動早期発見～ 第4回 タバコと歯周病と動脈硬化 第5回 健康診断について考えよう 第6回 体重測定と心不全～レジスタンス運動の体験～ 第7回 血圧を測ろう～正しい血圧測定の実践～ 第8回 腎機能を知ろう 【学生へのメッセージ】 自分の身体は自分でメンテナンスする「メディカルケア&自己管理」という考え方が広まりつつあります。病院で計測される測定値以上に家庭において繰り返し計測した測定値が重要とされるようになりました。各自持たれている測定機器を利用して健康増進を図りましょう。 【受講前の準備学習等】 心肺蘇生に関して、調べておいてください。健康診断を受診したことのある方は自分のデータを確認しておいてください。ない方は、可能であれば、脈・体重・血圧を測定しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	急変時対応と 身体計測データ活用	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ソエジマ ヒロフミ 副島 弘文 熊本大学保健センター教授	
日程 実施時間	11月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター	

科目コード	2698315	授業概要 【授業内容】 災害時の支援のひとつに心理的支援があります。近年の東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などを通し実際の心理的支援について概観します。心理的支援の基本となるサイコロジカル・ファーストエイドの紹介のほか、災害時の被災者の心理状態、時系列の心理的变化、災害の現場でどんな支援を行うのか、被災地の状況を理解し地域社会と協働することなど説明します。また、支援に入る準備や支援者の心理的ケアについても触れます。ここでは講義に加え、グループワークで話し合いを行いながら、それぞれの理解を深めていく予定です。 【到達目標】 災害時の心理的支援として用いられるサイコロジカル・ファーストエイドの目的と内容、使用方法を説明できるようになる。 災害時の被災者や支援者の心理について理解し、心理的支援の内容や支援体制を概説できるようになる。 災害支援を行うために準備することや心構え、セルフケアの重要性を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 災害とは何か 第2回 災害時の心理的支援①アセスメントと支援体制 第3回 災害時の心理的支援②こころと身体 第4回 災害時の心理的支援③支援の実際 第5回 被災時の心理的支援①発災からの支援体制構築まで 第6回 被災時の心理的支援②さまざまな対応 第7回 支援者の心理 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 さまざまな災害が世界各地で発生しています。2024年も能登半島地震で甚大な被害状況からの始まりでした。ここでは災害支援について、心理学の立場で説明をしていきます。尚、講義では災害時の写真等資料を使用予定です。人によっては不調を起こす可能性があることをお断りしておきます。 【受講前の準備学習等】 事前にサイコロジカル・ファーストエイドを確認しておいてください。（※ウェブサイトで見ることができます。）また、講義で取り扱う東日本大震災や熊本地震などの災害の情報は被災地県庁などのホームページで確認できますので、参考にしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理的支援の基本の一つは多様性を理解することです。グループワークや意見のシェアリングを通して人との関わりによって起きてくることを体感することも今回の学習のねらいの一つとしています。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	災害支援の心理学	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	コガ カヨコ 古賀 香代子 九州ルーテル学院大学人文学部教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター	

科目コード	2689189	【授業内容】 心理検査は、パーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。本授業では、心理検査の理論的背景も含めた基礎知識を学んだ上で、3つの心理検査を体験します。また、各種心理検査の特徴と限界を把握することと合わせて、実習から自己理解を深めることを目的とします。それらを通し検査自体が有効な支援技法ともなりうることを修得します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 東海大学九州キャンパス学生総合支援室	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター	【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

授業概要

【授業テーマ】
第1回 心理検査の基礎知識（歴史、種類と分類、目的など）
第2回 心理検査実習1 特性的自己効力感尺度
第3回 心理検査実習2 矢田部ギルフォード性格検査
第4回 所見の書き方、実習1・2のレポート執筆指導
第5回 心理検査実習3 バウム・テスト
第6回 実習3のレポート執筆指導
第7回 テスト・バッテリー、結果の報告の仕方
第8回 心理検査における倫理

【学生へのメッセージ】
心理検査に関して問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。本授業が、自分自身を見つめ直す機会となれば幸いです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、定規（15cm以上）、電卓、黒ボールペン、蛍光ペン、4B鉛筆、消しゴムを持参してください。また、パソコンでレポートを作成したい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・心理検査の実施の初歩（願興寺礼子、吉住隆弘 編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）

科目コード	2689146	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	テラモト ワタル 寺本 渉 熊本大学大学院人文社会科学研究所教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 実験1 大きさの錯視実験の実施 第3回 実験1 大きさの錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 自由再生による記憶の系列位置効果実験の実施 第6回 実験2 自由再生による記憶の系列位置効果実験の結果の整理 第7回 実験3 メンタルローテーション実験の実施 第8回 実験3 メンタルローテーション実験の結果の整理 【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2698323	授業内容 沿岸域の生物多様性と水産資源の現状を有明海・八代海を中心に解説します。沿岸域は、内陸に比べると気候が温暖で、農業・漁業ともに生産性の高い地域です。しかし、海岸から60km以内の地域に世界人口の4分の3が生活するなど、人間活動の影響が大きいため、資源の枯渇、有害物質の蓄積、生物多様性の低下など、多くの問題が起きています。このような環境の悪化は、特に閉鎖性海域で著しく、国内でも、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海・有明海・八代海などで大きな問題となっています。
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	沿岸域の生物多様性と水産資源	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヘンミ ヤスヒサ 逸見 泰久 熊本大学名誉教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 読書・レポート等 16:25～17:10	到達目標 ・環境や生物多様性に関する情報を断片的ではなく、総合的に把握することができる。 ・環境や生物多様性に関するデータ（特に図表）の意味を正確に理解することができる。 ・正確な情報を元に沿岸域の環境問題や生物多様性が議論できる。
実施会場	熊本学習センター	
		授業概要 第1回 生物多様性とは何か 第2回 生物多様性を守るために 第3回 沿岸域の環境－潮間帯を中心に－ 第4回 干潟・転石・岩礁 第5回 沿岸域の生物多様性 第6回 有明海・八代海の環境と生物 第7回 二枚貝の生物学と保全－アサリ・ハマグリを中心に－ 第8回 熊本県の特徴的な生きもの：研究紹介
		【学生へのメッセージ】 沿岸域は、距離的には身近な環境ですが、訪れることの少ない環境なのかも知れません。講義では、有明海・八代海を中心に、沿岸域で起きている問題を取り上げ、受講生の身近な環境問題と関連させて議論します。
		【受講前の準備学習等】 環境問題、生物多様性やSDGsに関する情報は、新聞やWebなどで豊富に得ることができます。シラバスの内容から判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2698331	授 業 概 要	【授業内容】 16・17世紀は、日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する時代であると同時に、日本が初めてヨーロッパ世界と出会う時代でもあります。本授業では、古文書や古記録などの文字史料だけでなく、絵画を史料として捉え、この時代に日本で制作された初期洋風画という絵画の諸作品を通して、日本とヨーロッパの交流の歴史について考えます。本授業を受講する上で、歴史や美術に関する専門的な知識は必要ありません。16・17世紀の日本とヨーロッパの交流の歴史、この時期の絵画に関心のある方の受講を歓迎します。 【到達目標】 16・17世紀は日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する時代であるとともに、日本が初めてヨーロッパ世界と出会う時代であることを理解し、その意義を説明することができる。さらにこの時代に日本で制作された初期洋風画に着目することにより、日本とヨーロッパの交流の歴史について理解し、その意義を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 16・17世紀の日本 第2回 16・17世紀のヨーロッパ 第3回 16・17世紀の日欧交流 第4回 初期洋風画の性格と歴史的意義 第5回 初期洋風画の作品紹介と分析① 第6回 初期洋風画の作品紹介と分析② 第7回 初期洋風画の作品紹介と分析③ 第8回 まとめー16・17世紀の日欧交流と初期洋風画ー 【学生へのメッセージ】 本授業では、絵画を歴史研究の素材、すなわち史料として用います。皆さんがこれまで学んできた日本史や世界史とはやや違った方法で、16・17世紀の日本とヨーロッパの交流の歴史について考えてみたいと思います。 【受講前の準備学習等】 事前学習として次の準備をした上で、授業に出席してください。 ①「初期洋風画」をネットで検索し、その意味と主要な作品名を調べておいてください。 ②主要な作品名をネットで検索し、画像を見ておいてください。 ③その作品を所蔵する博物館や美術館のホームページで、解説が掲載されていれば読んでおいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・描かれた近世都市（杉森哲也／山川出版社／¥880／ISBN=9784634544406） ・近世の日本と世界（杉森哲也／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595325533） 2026年度開設科目「近世の日本と世界」（専門科目：人間と文化）の印刷教材です。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	16・17世紀の 日本と欧州		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スギモリ テツヤ 杉森 哲也 放送大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		

科目コード	2698340	【授業内容】 西洋建築史研究における基本的な用語や各時代の建築についての概要を把握したうえで、古代から近代初期に至るまでの具体的な建築史に関するテーマを取り上げます。これらの諸テーマを通して、西洋建築の歩みを学ぶことの面白さをお伝えしたいと思います。 【到達目標】 学生が西洋建築史研究における基本的な用語や各時代の建築についての概要を把握したうえで、古代から近代初期に至るまでの具体的な建築史に関するテーマを説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 西洋建築史の基本 第2回 礎としての古代ギリシア・ローマ建築 第3回 キリスト教建築とイスラム建築の誕生 第4回 中世ゴシックの世界 第5回 ルネサンス建築の革新 第6回 古典主義建築の近代 第7回 近代建築をみる熊本大学五高記念館の見学 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 授業の性格から、予備知識は必要とはしません。できる限り、建築の初心者でもわかるように説明を心がけます。ただし、授業のレベルは決して低くはありません。 【受講前の準備学習等】 西洋の歴史的建築物の中から、皆さんが大事な建築、興味のある建築、好きな建築について考えておいてください。それが、いつ頃、どのようにしてできたのか、誰が作ったのか等の情報を整理しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『私の好きな西洋建築』です。受講前に調べた情報をもとにまとめてください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・西洋建築史図集 三訂版（日本建築学会編／彰国社／¥2,750／ISBN=9784395000210） 【その他（特記事項）】 第7回授業は、熊本大学五高記念館を見学します。 この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	熊本学習センター	
学習センターコード	43A	
クラスコード	K	
科目名	西洋建築史研究のエッセンス	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヨシタケ リュウイチ 吉武 隆一 熊本大学大学院先端科学研究部准教授	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 議論・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	この授業は、【熊本学習センター講義室1および★熊本大学五高記念館（2日目3時限）（熊本市中央区黒髪2-40-1 熊本大学内）】で行います。	

科目コード	2698358	授業概要	【授業内容】 日本の「江戸時代」において200年間以上にわたって継続した平和状態（「天下泰平」）は、世界史的にみても稀有な現象であり、この間、日本の社会は経済や文化・思想の面で大きな発展をみたことが知られています。しかし、その時代の直前の「戦国時代」までは、あたかも戦乱が日常ともいべき社会状況でした。ほぼ西暦1600年頃を境とした「戦国から平和へ」という日本歴史の大転換は如何にして可能となったか、従来の学説（教科書）を批判しながら、その理由を戦国時代の側から考察し、理解していこうと思います。 【到達目標】 「天下泰平」が実現された歴史的条件について、日本近世史研究の通説を批判的に検討する観点に立って、仮説を示すことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 戦国時代の社会とは 第2回 内戦の中世戦国時代の三つの戦争 第3回 内戦から泰平への転換をどう捉えるか 第4回 戦場の社会史 第5回 平和状態と領域秩序の創出 第6回 戦場の村々の営み 第7回 「豊臣平和令」と「天下泰平」 第8回 「天下泰平」を支えた力 【学生へのメッセージ】 この授業を通じて、日本社会の歴史の世界史における特殊性、それを踏まえた平和主義の未来への可能性について考えてほしいと思います。 【受講前の準備学習等】 参考図書にあげた書物に目を通してきてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	戦国時代論		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	54名		
担当講師	イナバ ツグハル 稲葉 継陽 熊本大学永青文庫研究センター教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等通常の受講準備をしてきてください。 授業はその都度配布するプリント等を用いて展開します。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・新版雑兵たちの戦場—中世の傭兵と奴隷狩り（藤木久志／朝日新聞出版／¥1,430／ISBN=9784022598776） ・刀狩り—武器を封印した民衆—（藤木久志／岩波書店／¥1,166／ISBN=9784004309659） ・村と民衆の戦国時代史—藤木久志の歴史学—（稲葉継陽・清水克行編／勉誠社／¥3,300／ISBN=9784585325222） ・細川家史料と史跡が伝える近世初期キリシタンの信仰と逡巡—禁教をめぐる群像（稲葉継陽編／勉誠社／¥3,850／ISBN=9784585320913）

科目コード	2698366	授業概要	【授業内容】 生命の誕生後、生物は放散と絶滅、回復を繰り返しながら進化を遂げてきました。この授業では主に化石記録に基づいて顕生累代以降の生物の出現や放散、絶滅および大量絶滅とその後の回復過程などに注目して授業を進めます。授業の前半は特にカンブリア紀の生物の出現やオルドビス紀の海洋生物の放散とオルドビス紀～石炭紀における動植物の陸上への進出について紹介し、後半は主に九州の最新のデータに基づいて中生代、特に白亜紀後期の恐竜などを中心とする陸生動物相と中生代の海洋革命（Mesozoic Marine Revolution）について紹介します。 【到達目標】 顕生累代における生物の出現や放散、絶滅および大量絶滅とその後の回復過程などについて具体的な例を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 イントロダクション：地質時代と国際標準模式層断面および地点（GSSP） 第2回 カンブリア紀の有殻微小化石動物群（SSF）とカンブリア紀爆発 第3回 古環境の復元方法 第4回 オルドビス紀における海生動物の放散と節足動物と苔類による陸へ進出 第5回 初期陸生植物と昆虫の放散 第6回 デボン紀後期～末期の大量絶滅および絶滅事変 第7回 中生代の海洋変革（MMR） 第8回 日本列島最後の恐竜：甕島列島の白亜紀後期～末期の脊椎動物化石 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	地史・古生物学		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コマツ トシフミ 小松 俊文 熊本大学大学院先端科学研究部教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		

科目コード	2698374	【授業内容】 大分県郷土料理の特徴を食材、調理法、栄養価、他県の郷土料理との比較により探っていきます。また、実際に大分県郷土料理を調理実習することにより、食材の扱い方や調理法、栄養価の理解を深めます。さらに、これらの活動によって次の世代に伝え継ぐ食育活動について検討します。 【到達目標】 大分県の郷土料理は、どのような特徴があり、作り継がれてきたのかの理解を深める。さらに、実際に協力して郷土料理を調理し共に試食することにより、共同や共食の重要性について理解を深める。このことを通して、今後どのように伝え継ぐことができるかを考えることができる。 【授業テーマ】 第1回 大分県の農林水産物（食品） 第2回 日本各地の郷土料理（だんご汁との比較） 第3回 調理実習：大分県郷土料理を作る（小麦粉を使ったおやつ） 第4回 調理加工実習：切干大根・漬け物 第5回 調理実習：大分県郷土料理 第6回 調理実習：大分県郷土料理を作る（昼食献立） 第7回 大分県郷土料理の栄養的特徴 第8回 伝え継ぐ日本の家庭料理 【学生へのメッセージ】 郷土料理は古くからその土地に伝えられているものです。食材、調理法等の観点から理解し、自らの手で料理をすることによってその魅力にふれてみましょう。 【受講前の準備学習等】 大分県の郷土料理について自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 ・第4回レポート「大分県郷土料理の特徴」 ・第8回レポート「あなたの伝え継ぐ家庭料理は何か、それをどのように伝えますか」 【受講者が当日用意するもの】 白衣またはエプロン、帽子または三角巾、マスク、調理実習のできる服装、調理実習材料費2,000円。（1日目のおやつ、2日目の昼食献立は、調理実習後に試食します。）2日分の調理実習材料費2,000円は、授業初日に徴収します。おつりのないようにご準備ください。※食材は事前仕入れのため、授業を欠席された場合も、材料費は徴収します。あらかじめご了承ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・伝え継ぐ日本の家庭料理（日本調理科学会企画・編集／農山漁村文化協会／¥3,080／ISBN=9784540191831） 「魚のおかず」（2019.9発行）「野菜のおかず」（2019.12発行）「年取りと正月の料理」（2020.12発行）「野菜のおかず春から夏」（2021.3発行）他全16巻1冊につき3,080円 ・ウェブサイトうちの郷土料理大分県（農林水産省／農林水産省） https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/area/oita.html 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・この授業は別府溝部学園短期大学で行います。放送大学大分学習センターとは別の施設になりますので、お間違いないようご注意ください。 ・アレルギーのある方は事前に大分学習センターまで申し出ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	大分県郷土料理を学ぶ	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	モチヅキ ミサコ 望月 美左子 元別府溝部学園短期大学教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	この授業は、【★別府溝部学園短期大学（大分県別府市亀川中央町29-10）】で行います。	

科目コード	2698382	授業概要 【授業内容】 絵本は、多くの人が生まれて初めて触れる“本”であり、視覚伝達表現です。近年では子ども向けだけでなく、幅広い世代に向けての絵本も出版されており、その表現方法も多様になっています。本授業では、思いを表現する手段としての絵本制作を中心に行っていき、考察、作画、製本などの体験を通して、言葉や文字だけではない表現で創作することや、思いを伝える楽しさを学びます。 【到達目標】 ・客観的な視点を持ち、本人だけでなく他者が楽しめる表現の工夫を考え実践することができる。 ・製本の方法を理解し、作り上げることができる。 ・表現する楽しさや難しさなどの体験を、具体的に説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 絵本とはなにか 第2回 折りたたみ絵本作り 第3回 コラージュ絵本作り 第4回 コラージュ絵本作り 第5回 コラージュ絵本作り 第6回 製本 第7回 製本 第8回 作品鑑賞・総評 【学生へのメッセージ】 幼少期から慣れ親しんでいる絵本を自分で作ることで、創作する喜びを感じ取る授業です。技量の程度は問いませんので安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。制作するための準備物を忘れずにご用意ください。 【成績評価の方法】 成績評価は授業中の学習状況及び、課題作品の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 絵の具12色以上（乾燥の早いアクリル絵の具を推奨します。なければ透明水彩、不透明水彩でも可。油絵の具不可）・筆・筆洗・筆拭き用の雑巾・折り紙1セット・はさみ・液体のり。学習センターでの用具の準備はできません。 ※絵の具を使用しますので、汚れてもよい服装で来られるか、着替え、エプロン等をお持ちください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開設科目一覧P.5参照）。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	はじめての手作り絵本	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	20名	
担当講師	ヒロセ タケシ 廣瀬 剛 大分大学教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月13日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	

科目コード	2698390	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	大分学習センター		
学習センターコード	44A		
クラスコード	K		
科目名	AIを活用した学習法入門		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ゴトウ ヨシトモ 後藤 善友 別府大学短期大学部教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター教室1		【到達目標】 生成AIを学習ツールとして活用し、自身の習熟度や目的に応じた自律的な学習プロセスを設計・実践することができる。 【授業テーマ】 第1回 生成AIの基本操作 第2回 学習ロードマップの構築 第3回 教材の検索と選定 第4回 テキスト教材の学習法 第5回 動画教材の学習法 第6回 学習理解度の評価 第7回 壁打ちとアウトプット 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 放送大学キャンパスメール（Gmail）を使うことができることを履修の前提条件とします。 【受講前の準備学習等】 ・授業では、放送大学キャンパスメール（Gmail）アカウントで利用できる生成AIサービス Google gemini、NotebookLM等の使用を予定しています。パソコン及びスマートフォンからの使用方法をインターネット等で調べておいてください。 ・授業で学修・演習した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続可能なノートパソコンと、スマートフォンの両方を持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。 4. その他 ノートパソコンで使用するためのイヤホンを持参してください。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698404	【授業内容】 大分県は、標高2000m近くの山岳地帯や、県北、県南地域の沿岸地帯、そして湯布院、別府などの有数な地熱・温泉地帯を有しており、自然環境豊かな条件にあります。本授業では、大分の自然の中でも、大分の水環境、大分の温泉について、講義や現地での巡検を通じて理解を深めます。 【到達目標】 地球における水の役割や、水資源量、水質等について理解する事ができる。また、温泉の定義や分類、それらの成因についての理解を深める。 【授業テーマ】 第1回 地球の水循環（1）地球上の水の循環 第2回 地球の水循環（2）地球の水資源量 第3回 大分の水（1）大分県の自然科学的条件 第4回 大分の水（2）大分県の主な水域について 第5回 大分の温泉（1）温泉の定義と分類 第6回 大分の温泉（2）温泉の成因と大分県の温泉について 第7回 温泉の巡検（1）血の池地獄、龍巻地獄、海地獄 第8回 温泉の巡検（2）鬼石坊主地獄、白池地獄、かまど地獄、鬼山地獄 【学生へのメッセージ】 大分の河川や湖沼、温泉について化学の目で見ていこうと思います。基礎的な化学の内容も一部含まれますが、できるだけ分かり易く授業を行いますので、気軽な気持ちで受講してください。 【受講前の準備学習等】 普段何気なく見ている、身近な河川や温泉等について、少し意識して見ておいてください。シラパスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 2日目の午後（第7回、第8回）は、別府温泉の巡検を予定しています。授業料とは別に、別府地獄めぐり共通観覧券・バスレンタル代として、合計2,500円が必要になります。授業初日の朝徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。2日目は、動きやすい服装でご参加ください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	大分の水と温泉	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	30名	
担当講師	オオウエ カズトシ 大上 和敏 大分大学教育学部教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～11:55 第3時限 12:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	この授業は、【大分学習センター教室2および★別府地獄めぐり（海地獄他）】で行います。	

授業概要

科目コード	2698412	授業概要	【授業内容】 本授業は、不正確な情報が溢れる「脳」について、正しく理解していただくことをめざします。まず、脳独特の情報処理について、特にコンピュータ（AI）との違いに焦点を当て解説します。また情報処理の例として、視覚と記憶を取り上げ、研究の現状を紹介し、様々な脳の迷信についても解説します。次に、自閉症、うつ病、統合失調症、認知症など、脳の病気や障害について、それらの原因と治療に関する最新の知見を紹介し、さらに脳の驚異的な回復力についても、多くの事例と共に解説します。なお、記憶および認知症については、第1学期の授業「記憶と脳」の重要部分も一部含みます。 【到達目標】 ・脳の構造と情報処理の特性を知ることで、コンピュータ（AI）との違いもよくわかり、「人間とは何か」について深く理解できるようになる。 ・ネットやマスコミに見られる脳に関する迷信に惑わされず、真偽を正確に判断できるようになる。 ・脳の病気と障害について、その原因や治療法も含め、最新の知識を身に付け正しく理解できるようになる。 ・脳が単なる精密機械ではなく、柔軟で回復力を持つ特殊な器官であることを理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 脳の構造と情報処理の特性－機械とどう違うのか 第2回 視覚の形成と適応力－脳はどのように視覚を作り出すのか 第3回 記憶の実態と個性－記憶はどこで作られなぜ変化するのか 第4回 脳の迷信とは何か（質疑応答を含む） 第5回 脳の故障1－自閉症、強迫性障害、うつ病 第6回 脳の故障2－統合失調症、認知症 第7回 脳の回復力－精神疾患や脳損傷からの復活 第8回 全体の質疑応答 【学生へのメッセージ】 脳に関する予備知識は必要ありません。文系・理系も関係ありません。基本用語についても説明しながら、さまざまな図と動画も多用し、できるだけわかりやすく解説します。積極的な質問を歓迎します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。自己学習の方法は全く自由ですが、例えば、図書館や書店で目に留まった脳の解説書を読み、疑問に思ったことをリストアップしておく、質問しやすいかもしれません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・まちがえる脳（櫻井芳雄／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004319726） 2023年4月に出版した岩波新書です。事前に読んでおくと、授業の内容がより理解しやすいと思います。（必須ではありません） ・記憶と脳の探求（櫻井芳雄／岩波書店／¥968／ISBN=9784005010080） 2026年1月に出版した岩波ジュニア新書です。記憶と脳に的を絞って解説しています。遺伝や感受性期に関する解説も加えています。主に高校生を対象とした書籍ですが、一般の方にも参考となる内容が含まれていると思います。（これも必須ではありません） 【その他（特記事項）】 授業は全てスライドを使いながら進めます。また、スライドを印刷したものを資料として配布します。一方向の授業にならないように、出来るだけ質疑応答の時間を設けます。日頃疑問に思っていることを質問してもかまいません。
学習センター	大分学習センター		
学習センターコード	44A		
クラスコード	K		
科目名	脳の働き方と故障		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サクライ ヨシオ 櫻井 芳雄 京都大学名誉教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター教室2		

科目コード	2698420	【授業内容】 心理面接では傾聴が基本です。この授業では、心理面接における傾聴の基礎となる体験について演習を通して学ぶことをめざします。ゆっくりとじっくりと自らの心身の状態を感じる体験を通して、面接者の実感や身体感覚を大切にする意味について体験的理解を行っていきます。この演習ではペアやグループでの実施も予定しています。授業は臨床心理学概論程度の知識があり、心理療法の基礎的学習を行っていることを前提とします。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	傾聴の基礎を学ぶ	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 放送大学教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	授業概要 【到達目標】 ①自己概念について理解し、それがコミュニケーションにどのように影響を与えるかを説明できるようになる。 ②演習での課題を踏まえながら、複眼的視点の意義について説明できる。 ③演習での課題を踏まえながら、傾聴が成り立つ関係について具体的に説明できる。 【授業テーマ】 第1回「傾聴」以前に考えたいこと 第2回 ウォーミングアップ 第3回 イメージに触れる体験粘土造形 第4回 身体感覚を味わう(1)身体を使ったワーク 第5回 身体感覚を味わう(2)身体を使ったワーク 第6回「聴き方」の違いを意識する 第7回 ことばの響きとイメージ喚起 第8回 シェアリングとまとめー傾聴・対話・内省 【学生へのメッセージ】 本演習では様々な課題に取り組みます。受講にあたっては、体調管理を十分に行ってください。授業では、簡単な動作を伴う課題のほか、発言を求める場面やグループワークを予定しています。主体的かつ積極的な姿勢でご参加ください。なお、演習の内容および進行方法については、受講者の状況を踏まえ、適宜調整する予定です。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 サインペン(黒)、鉛筆(硬さの指定はありません)、消しゴム 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 演習ではペアワークや4～5人のグループで取り組む課題があります。また、グループでの意見交換を行います。

科目コード	2689189	【授業内容】 心理学における主要な性格診断の背景となる理論とそれに基づいて作成された検査法を解説、実習します。受講生の皆さんは、それらの実習に検査者あるいは被検査者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して心理学の仮説の検証や信頼性、妥当性などについても適切な理解を深めていきます。それとともに、検査バッテリーの組み方、検査データの整理法や検査所見の書き方、その背景となるテストの倫理を修得することを目標にします。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの主要な検査についてのすべての検査について目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートにまとめ提出する必要があります。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカムラ ヒロミツ 中村 廣光 別府大学大学院非常勤講師	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2	授業概要 人間の内面を理解することは、対人援助の仕事をしていく上でとても重要なことですが、最も困難な技でもあります。この講義で学習する心理検査法は、様々な課題や苦悩を抱えて援助を必要としている人たちの内面の特徴や対人関係の在り方について「理解の手がかり」を提供してくれます。また、被検者体験は、自分自身を知る手がかりにもなります。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容に事前に目を通して、参考文献やインターネット等を利用して準備学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・筆記用具（含む描画用の鉛筆） ・ノート 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理測定尺度集Ⅰ（堀洋道監修、山本眞理子編／サイエンス社／¥2,970／ISBN=9784781909875） ・心理測定尺度集Ⅱ（堀洋道監修、吉田富二雄編／サイエンス社／¥3,960／ISBN=9784781909882） ・心理測定尺度集Ⅲ（堀洋道監修、松井豊編／サイエンス社／¥3,740／ISBN=9784781909899） ・心理測定尺度集Ⅳ（堀洋道監修、櫻井茂男、松井豊編／サイエンス社／¥3,520／ISBN=9784781911670） ・心理測定尺度集Ⅴ（堀洋道監修、吉田富二雄、宮本聡介編／サイエンス社／¥3,465／ISBN=9784781912721）

科目コード	2689146	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 「心的回転」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「印象形成」の心理学実験を体験的に学ぶことで、科学的報告書の形式に従ったレポートにまとめる方法について理解することを目的とします。受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出していただきます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概説 第2回 実験のレポートの書き方 第3回 実験①イメージの実験「心的回転（メンタルローテーション）」 第4回 「心的回転（メンタルローテーション）」のデータ処理 第5回 実験②記憶の実験「自由再生による記憶の系列位置効果」 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ処理 第7回 実験③印象の実験「印象形成（中心特性の働き）」 第8回 「印象形成（中心特性の働き）」のデータ処理 【学生へのメッセージ】 パソコンを使用しての実験とデータ処理を行うので、パソコン操作（Word、Excel）の経験を有することが望ましいです。また、授業中の活動は受講者同士で協力しながら進めていきますので、主体的な学習姿勢が必要です。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 Windows（Macやその他のOSの使用を禁止するものではありませんが、授業当日に行う実験のデータ処理については、時間の都合上、Windows版のExcelを前提とした解説のみとなります。そのため、Windows以外のOSのパソコンを持参される場合は、実験のデータ処理およびレポート作成をご自身の責任で対応していただくことになります。受講にあたっては、この点をあらかじめご了承くださいますようお願いいたします。） 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・文書作成及びデータの整理のために、Word、Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・USBメモリを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人・坂田省吾代表編著／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。紙媒体でレポートを提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	モリシタ サトル 森下 覚 大分大学准教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	

授業概要

科目コード	2698439	【授業内容】 児童虐待やいじめの増加にともない、こどもが学び、育つ環境の悪化が懸念されています。また、日本のこどもの低すぎる幸福度も課題となっています。支援を必要とするこどもは増え続けており、保護者だけでなく地域住民の子育て支援が求められています。こどもたちが安心安全に成長していけるために、こどもたちの心の育ちを大切にしたい私たち大人の援助、関わりについて一緒に考えていきたいと思います。 【到達目標】 ・心や発達の知識から、こどもの理解を深めることができる。 ・こどもの理解から、こどもが育つ日々の関わりを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 こころの仕組みとその機能 第2回 援助行動の心理 第3回 援助の人間関係 第4回 発達の仕組み（こどもの生活・生育環境とその影響） 第5回 行動する人間の理解（行動と感情、行動と状況） 第6回 悩みを持つ方への関わり 第7回 こどもの悩みとその関わり 第8回 こどもに心を届ける関わり 【学生へのメッセージ】 こどもの姿や発達の理解に基づく援助の意義を学び、こどもの心を育てる関わりについて一緒に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 ○受講前 新聞やニュースなどで報道されるこどもの話題に注目してみましょう。 シラバスの内容を参考にして自己学習に努めましょう。 ○受講後 各回の講義やワークを振り返り、学びの統合に努めましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは、『こどもの心の理解に基づき試行する援助実践について』です。受講後から1週間以内に提出して下さい。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、メモ用紙、ハサミ、輪ゴム2つを用意してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・発達と老いの心理学（藤田文／サイエンス社／¥2,585／ISBN=9784781913964）
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	こどもの心の理解と援助	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ニシムラ カオル 西村 薫 別府溝部学園短期大学幼児教育学科長	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月13日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2	

科目コード	2698447	授業概要 【授業内容】 本授業では、年齢や性別、身体の状態、言語などの違いにかかわらず、すべての人にやさしい社会を目指す「ユニバーサルデザイン（UD）」の考え方とその歩みを学びます。そのうえで、産業社会における背景とともに、製品の開発やサービスの提供、企業活動や組織のあり方、全社戦略や付加価値のつけ方などを、身近な事例を通してわかりやすく考えていきます。さらに、行政や自治体の取り組み、大分で見られるUDの実例にも触れながら、地域と社会の未来についても展望します。ご自身の暮らしや仕事とのつながりも意識しながら学んでください。 【到達目標】 ユニバーサルデザインの理念と発展過程を理解し、産業社会における背景、製品開発やサービス提供、企業の活動や組織、戦略との関係を具体的事例に基づいて説明できるようにする。また、行政や地域の実践例を踏まえ、多様な人々に配慮した社会や組織のあり方について自らの考えを整理し、論理的に表現できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ユニバーサルデザインの理念と歴史 第2回 ユニバーサルデザインとモノづくり（1） 第3回 ユニバーサルデザインとモノづくり（2） 第4回 ユニバーサルデザインとサービス提供 第5回 企業におけるユニバーサルデザインの取り組み 第6回 行政や自治体におけるユニバーサルデザインの取り組み 第7回 地域の中でのユニバーサルデザイン、大分の事例 第8回 これからの産業社会における人にやさしい社会の構築 【学生へのメッセージ】 ユニバーサルデザインを手がかりに、産業社会における「人にやさしい社会」とはどのようなものかを一緒に考えていきましょう。できる限り対話をしながら進めていきます。疑問や質問、コメントなど、ぜひその場で共有してください。楽しく、前向きにいきましょう。 【受講前の準備学習等】 ・シラバス（各テーマ）に関する情報収集など自己学習に努めてください。特に、暮らしや仕事の中での便利さや不便さ、製品やサービスの使い勝手の良さ悪さなど、ユニバーサルデザインについて常に考えてください。 ・ユニバーサルデザインの視点から、日本の産業や企業、組織や経営システムなどについて考えてみてください。 ・大分の中で、これはユニバーサルデザインだと思う事例をいくつか集めてみてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	ユニバーサルデザインと産業社会	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ワタナベ ヒロコ 渡邊 博子 大分大学理事（教育担当）／副学長	
日程 実施時間	12月19日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2	

科目コード	2698455	【授業内容】 宇佐の八幡神は、奈良時代仏教の守護神として国家神に登り詰め以来、伊勢と並ぶ神として朝廷から勅使が派遣されてきました。その勅使が通る道が勅使街道（豊前官道・宇佐大路）です。今回の講義では、初日に、まず宇佐神宮と勅使の関係について講義を行い、神宮境内の見学を行います。2日目は、この道の出現と勅使と宇佐神宮の関係を論じながら、宇佐神宮の歴史を説明します。講義では、中津から宇佐に至る勅使街道を歩き、その街道沿いにある薦神社、大根川社、泉社、瀬社、鷹居社、百体社などと宇佐神宮の関係を説明しながら、宇佐神宮の西呉橋に至ります。 【到達目標】 ①宇佐神宮の勅使の成立と勅使の概史を説明できる。 ②勅使街道沿いにある薦社、大根川社、鷹居社、百体社など宇佐神宮がどのような関係にあるかを説明できる。 【授業テーマ】 第1回 勅使と宇佐神宮の歴史①（於大分学習センター） 第2回 勅使と宇佐神宮の歴史②（於バス車中） 第3回 勅使祭と宇佐神宮の境内①（宝物館において宇佐神宮、勅使祭関係史料の見学） 第4回 勅使祭と宇佐神宮境内②（勅使祭関係の境内施設（呉橋、祓所、下宮、上宮など）の見学） 第5回 古代官道（宇佐大路）と勅使街道の歴史（於バス車中） 第6回 勅使街道（古代官道）と中津条里遺跡（相原廃寺、条里展望台、薦社と三角池の見学） 第7回 勅使街道と宇佐神宮摂社（大根川社、泉社、瀬社、鷹居社の見学） 第8回 神宮の入口社頭松隈と宮中（化粧井戸、凶首塚、百体社、西参道、宇佐町の見学） 【学生へのメッセージ】 フィールドワーク授業ですので、レポートの材料となる記録、写真をとっておいてください。 【受講前の準備学習等】 宇佐神宮の歴史と勅使に関する歴史を本やインターネットで調べておいてください。本は、参考文献を参考にしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・筆記用具 ・1日目の午後、2日目はフィールドワークを行いますので、歩きやすい服装、靴等で参加してください。また、バス移動を伴いますので、酔い止めが必要な方は持参してください。 ・バス代、入場料などのため、授業料とは別に2,000円を授業初日の朝、徴収します。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・八幡神となにか（飯沼賢司／角川学術出版／¥836／ISBN=9784044094607） ・八幡神からみる日本古代の政治と社会（飯沼賢司／思文閣出版／¥13,200／ISBN=9784784220724） ・勅使街道歴史の道報告書（末広利人／大分県教育委員会（大分県教育庁管理部文化課）） 【その他（特記事項）】 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・バスや徒歩で長時間の移動を伴いますので、体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。 ・行程等についての詳細は、受講者に別途ご案内します。 ・2日目の昼食は、“道の駅なかつ”で取りますが、各自で取ってください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	勅使街道からさぐる 宇佐神宮	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イイヌマ ケンジ 飯沼 賢司 別府大学名誉教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 読書・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	この授業は、【大分学習センター教室2および★宇佐方面（宇佐神宮他）】で行います。	

科目コード	2698463	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本講義では、大規模言語モデルを活用したコンピュータビジョンプログラミングの基礎と応用を学びます。画像の取得・前処理・特徴抽出・物体認識などの基本技術を理解した上で、LLMを用いたコード生成、アルゴリズム設計支援、実装の高度化手法を実践的に扱います。理論と演習を通して、画像処理と生成AIを融合した新しい開発手法を修得します。 【到達目標】 ・ LLMを活用して目的に応じた画像処理プログラムを設計・生成できる。 ・ 画像の取得・前処理・特徴抽出・物体認識の基本原理を説明できる。 ・ LLMが生成したコードを理解・修正・改善できる。 ・ コンピュータビジョンの基礎技術を組み合わせて小規模アプリケーションを構築できる。 【授業テーマ】 第1回 LLMとプログラミング 第2回 LLMを用いた画像処理プログラム 第3回 LLMを用いた画像処理GUI設計（1） 第4回 LLMを用いた画像処理GUI設計（2） 第5回 ミニプロジェクト：作ってみたい画像処理アプリ（1） 第6回 ミニプロジェクト：作ってみたい画像処理アプリ（2） 第7回 ミニプロジェクト発表（1） 第8回 ミニプロジェクト発表（2） 【学生へのメッセージ】 本講義では、大規模言語モデル（LLM）を活用しながら、画像処理プログラムを実際に作成していきます。重要なのは、LLMに任せることなく、「LLMと対話しながら考える力」を身につけることです。プログラミング経験が少ない方も心配はいりません。動かしてみることから始め、少しずつ理解を深めていきます。一方で、経験のある方は、生成されたコードを改良し、設計や効率化に挑戦してください。この授業では、正解を覚えるのではなく、試行錯誤する姿勢を大切にします。LLMを開発パートナーとして活用しながら、自分の発想を形にする力を養っていきましょう。最終的には、「自分が作りたい画像処理アプリ」を完成させることが目標です。ぜひ主体的に取り組み、新しい開発スタイルを体験してください。 【受講前の準備学習等】 ・ インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・ OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・ シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 種類は問いません。（Windows、macOS、ChromeOSのいずれか） 3. ソフトのインストール Google Chrome ブラウザが必要です。 4. その他 ・ ソフトのバージョン指定はありません。 ・ Googleアカウントが必要です。 ・ 画像、動画データ（講義で使用する写真や映像を準備するとより円滑に学べます） ・ 基礎的なPythonの知識（事前に簡単なチュートリアルを学ぶと理解しやすいです） ・ ChatGPTやGemini等、対話型AIを利用するため、登録アカウントがあることが望ましいです。（アカウントがなくても受講可能です） 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	LLM活用画像処理実践	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	オオキ ヒデヒロ 大城 英裕 放送大学大分学習センター客員教員	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	

授業概要

科目コード	2698471	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めます。初等中等教育では、これまでICTの機器やデジタル教材が使われてきました。それは時代とともに変わってきています。これまでどのような機器が使われてきたのか、現在はどのようなICT環境なのか、今後AI時代にどうなるのか、考えていきます。 【到達目標】 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（学校教育の概説）、これまでの教育とICT①（1960-1980） 第2回 これまでの教育とICT②（1980-2000） 第3回 これまでの教育とICT③（2000-2020） 第4回 イマドキの教育とICT（1人1台端末の活用） 第5回 イマドキの教育とICT（オンライン授業、遠隔授業） 第6回 イマドキの教育とICT（プログラミング教育） 第7回 イマドキの教育とICT（デジタル教科書） 第8回 これからの教育とICT 【学生へのメッセージ】 初等中等教育におけるICT活用、学校におけるICTの歴史、ソーシャルメディア時代の子供もたちに興味のある方に受講してほしいと思います。 【受講前の準備学習等】 ・初等中等教育におけるICT活用について、Webなどで情報を得ておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。なお、接続は各自で行ってください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 指定なし。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ヘッドホンまたはイヤホンを持参してください。 ・筆記用具を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	初等中等教育でのAI時代の学び	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ナカガワ ヒトシ 中川 一史 放送大学教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 読書・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	

授業概要

科目コード	2698480	【授業内容】 小学校、中学校では好きな科目に挙げられる理科ですが、大人では理科嫌いという回答が多くなります。ある研究ではその一つの要因に実験・観察がなくなることが挙げられています。実験が楽しいだけでなく、実験で「わかる」が実感できるからです。「百聞は一見に如かず」、この授業では見て知ることを目指すことで、科学的な考え方、論理的思考を身に着けることを目指します。 【到達目標】 様々な身近な科学的現象を演示実験や映像を見ながら理解できる。科学的な現象からなぜそうなるのかを考えることを通して論理的な思考プロセスを体験し身に着けることができる。 【授業テーマ】 第1回 空気の圧力を体感しよう 第2回 身近な水の不思議について考えてみよう 第3回 冬のやっかいもの静電気を知ろう 第4回 N極だけの磁石やS極だけの磁石ってあるのかな 第5回 光の反射や屈折はどう利用されているのか 第6回 光のもたらす色と色を感じるしくみ 第7回 波である音の伝わり方はどうなっているのか 第8回 マイナス197℃の世界 【学生へのメッセージ】 科学の醍醐味はなぜを解き明かし、「なるほど」と納得し次を知ろうとする意欲が生まれることです。実験・観察はそのための科学の強い武器です。この授業をきっかけに科学を学びたいと思っていただきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 科学のなぜなに本は多く出版されています。興味があればぜひ読んでください。身近な現象を当たり前と思わずに「なぜだろう」という目で見直してみてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・世界でいちばん素敵な理科の教室（阿部昌浩／三オブックス／¥1,760／ISBN=9784866733579） ・科学のなぜ？新事典：理系脳が育つ！（川村康文／受験研究社／¥2,970／ISBN=9784424268017）
学習センター	大分学習センター	
学習センターコード	44A	
クラスコード	K	
科目名	見て知る科学	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	フジイ ヒロナリ 藤井 弘也 放送大学大分学習センター所長	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室1	

授業概要

科目コード	2689014	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、システムWAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配付する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 【受講者が当日用意するもの】 USBメモリやSSDメモリなど（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証・システムWAKABAパスワード（ログイン操作を伴う実習があります。）を必ずお持ちください。 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） ※授業当日に配付します。 ※必要に応じてプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）面接授業「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位修得済みの方は登録できません。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	16名	
担当講師	サカモト マコト 坂本 真人 宮崎産業経営大学 経営学部教授／ 宮崎学習センター客員教員	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター	

科目コード	2698498	授業概要	【授業内容】 本講座はビギナー向けの実践的な英語学習を目指します。エリック・カールの「はらぺこあおむし」その他を教材としてリスニング、文法理解、そして実践的なスピーキングを統合的に学びます。第1日目はリスニングを中心にテキスト内容を推測し(dictogloss)、語彙と文構造を自分たちで発見し習得します。第2日目は「子どもや孫に英語で読み聞かせをする」という設定で、インタラクティブな英語表現を身につけます。グループワークやペアワークを通して、年齢層を超えた学習者同士のコミュニケーションを進め、実際のインバウンド対応場面で活用できる英語力を養成します。 【到達目標】 1. リスニング能力：単純で明確な英語テキストの内容を聞き取り、理解することができる。 2. 文法的理解：基本的な過去形や現在形、疑問文などの構造を発見的に学び、簡単な英文を作成できる。 3. 実践的スピーキング：日常的な経験や感情を簡単な英語で表現でき、他者と基本的なやり取りができる。 4. 読み聞かせコミュニケーション：英語で子どもに本の内容を語りかけインタラクティブに伝える表現を習得できるようになる。 5. 異文化コミュニケーション意識：英語を通じた、世代を超えたコミュニケーションの価値を理解し、インバウンド対応への動機づけを得ることができる。 【授業テーマ】 第1回 まず、聞き取り：リスニングで物語の世界へ「はらぺこあおむし」の世界へようこそ。 第2回 聞き取った内容を再構築～dictoglossとcloze testで理解を深めます 第3回 文法構造～過去形のパターンを見つけましょう 第4回 思わず引き込まれる読み聞かせ～声・間・イントネーションを工夫して 第5回 前日の工夫を共有～読み人の良さを互いに発見しましょう 第6回 海の中の子育て事情～おとうさんのお話：家族の価値感 第7回 グループワークで創造しましょう～読み聞かせのコツを活かしたスキット作成 第8回 自分の思いを伝える英語～スキット発表と相互評価で学びの共有 【学生へのメッセージ】 このコースへようこそ。開放的でインタラクティブな環境を一緒に作りましょう。お願いしたいのは以下のことです。 1. 積極的な参加：「正しく話す」ことよりも「伝える」ことにフォーカスしたいと思います。どんどん声を出してください。 2. グループ・ペアワークへの協力：多くの活動がグループ・ペアワークで行われます。クラスの全員が安心して学べる環境を、作って下さい。年代を超えた仲間との学習を楽しみましょう。 3. 互いの学びを尊重：皆さん一人一人の経験や視点がとても貴重です。仲間の考え、工夫に耳を傾け互いを成長させましょう。 このコースを通して、「英語って楽しい、自分たちで使える言葉だ」という確信を持ち帰って頂けたらと願っています。 【受講前の準備学習等】 テキストを読むといった事前学習はありませんが、英文法をおさらいして確認していただくとスムーズかもしれません（文法用語を時々使うことがあります）。 【成績評価の方法】 成績評価は授業内で実施する課題への主体的な取り組みと試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 リスニングでは書き取ることが多いので、そのためのノート、筆記用具が必要です。また、辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）を用意して下さい。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	宮崎学習センター		
学習センターコード	45A		
クラスコード	K		
科目名	読み聞かせて学ぶ 基本の英語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	マツオ ユミコ 松尾 祐美子 宮崎公立大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 読後・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター		

科目コード	2698501	授業概要 【授業内容】 「リテラシー (literacy)」とは、広辞苑によると「読み書きの能力」だけではなく、「ある分野に関する知識・能力」と説明されています。したがって、本講座のさす、「租税リテラシー」とは、「広く国民が税制に対し自然な状態で基本的な理解ができる能力」と定義したうえで講義を行います。また、講義の前半では、租税を理解するには欠かすことのできない「会計」について触れ、後半において租税の内容に入り理解を深めます。 【到達目標】 租税の基本理論である「租税法主義」を理解できるようになる。また、その理解に欠かせない会計にも触れ、個人所得税の確定申告書について理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 はじめに・租税と会計（仕訳）とは 第2回 決算整理と財務諸表（貸借対照表と損益計算書） 第3回 経営ゲーム 第4回 会計の重要性 第5回 所得税法1：サラリーマンの確定申告 第6回 所得税法2：確定申告（全般） 第7回 贈与税・相続税 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 初挑戦の方は難しく感じると思います。でも、専門用語に慣れ意味を覚えれば、思うほど難しくはありません。例えば、自転車の初挑戦と似ています。その頃のように、少し頑張ってもらえたらと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、簿記や会計について初めて触れる方は、事前学習として指定教科書に必ず目を通して講義に臨まれることを勧めます。授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 指定教科書、電卓（携帯の電卓機能では対応できません。）、筆記用具 【教科書】 ・簿記を学ぶ～経済常識としての簿記入門（田中弘／税務経理協会／¥1,980／ISBN=9784419054380） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 当日、必要がある場合は、プリントを用意します。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	会計と租税リテラシー2	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	サカモト ケイコ 坂本 敬子 宮崎大学 地域資源創成学部講師／ 宮崎学習センター客員教員	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 読解・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎サザンビューティ専門学校（宮崎市老松2-1-17）】で行います。	

科目コード	2698510	【授業内容】 この授業では、東アジアにおける水田稲作の歴史について、研究者サイドの視点から、研究の対象としての魅力、実際の研究の紹介、明らかになったこと、解明されていないことを国内外の調査研究やその成果を紹介しながら、概説します。また、メディアで報道される古代の農耕や環境に関する成果が、実際にどのような材料からどのような方法でもたらされているか、それらの分析手法を解説します。さらに、その方法の一つであるプラント・オパール分析法を実際に行うことができ、「歴史を科学する」現場も体験してもらいます。 【到達目標】 東アジアの稲作技術の成立のメカニズムと主な研究方法について理解し、社会システムの発達過程（自給自足型社会から今日の都市型社会）における「食料生産システムとしての水田稲作技術の位置づけと役割を説明することができる」。 【授業テーマ】 第1回 農耕と稲作はどのように始まったのか？ 第2回 稲作の始まりと水田稲作が暮らしと社会にもたらしたもの 第3回 稲作と水田稲作の始まりに関する研究の取組と舞台裏（先人達の取組とその成果と問題点） 第4回 伝播する力をもった水田稲作が日本に到達するまで 第5回 日本における稲作の始まりとその後の発達に関する研究の取組と舞台裏 第6回 稲作の歴史を科学する様々な方法（花粉分析、プラント・オパール分析、年代測定法など） 第7回 プラント・オパール分析法の実習（遺跡土壌の分析） 第8回 稲作史研究の課題とこれから 【学生へのメッセージ】 稲作の歴史は、日々の研究によって次々と新しいものに更新されています。「歴史を科学する」最前線の研究の現状と研究成果を学び、体験するとともに、稲作の発達と私たちの社会や環境との関係についても考えてみてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・フィールド科学の入口イネの歴史を探る（佐藤洋一郎、赤坂憲雄／玉川大学出版部／¥2,640／ISBN=9784472182013） ・稲の考古学（中村慎一／同成社／¥2,970／ISBN=9784886212566） ・農耕の起源を探る-イネの来た道-（宮本一夫／吉川弘文館／¥1,980／ISBN=9784642056762） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	稲作の歴史を科学する	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	ウダツ テツロウ 宇田津 徹朗 宮崎大学 農学部教授／ 宮崎学習センター客員教員	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎大学木花キャンパス（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）】で行います。	

科目コード	2698528	授業概要 【授業内容】 この授業では、日々の食卓に欠かせない「食肉」をキーワードに、その魅力を科学・歴史・文化の視点から多角的に読み解きます。全8回を通じ、人類の進化を支えた肉食の歴史から、おいしさを生み出す「熟成」のメカニズム、健康維持に不可欠な栄養学的価値、そして部位ごとの特徴を活かした選び方や調理のコツまで体系的に紐解きます。日本独自の和牛文化や世界の食習慣、未来の食のあり方にも触れ、食卓の背景にある奥深い世界を探索します。命の恵みへの理解を深め、日々の食生活をより豊かに、美味しく楽しむための知恵を身に付けます。 【到達目標】 ・食肉の部位ごとの特徴や「格付け」の仕組みを理解し、用途に合う食肉を選ぶことができる。 ・食肉の熟成や栄養学的役割を学び、科学的な根拠に基づいて献立に活かせるようになる。 ・肉食の歴史・文化を学び、多様な価値観を理解できる。 ・家畜の生産から消費、さらには持続可能な未来の食肉のあり方を考え、責任ある消費を意識できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 人類と食肉の歴史 第2回 おいしさの科学 第3回 食肉と健康 第4回 肉の目利きになる 第5回 調理のサイエンス 第6回 和牛の歩みと日本の食文化 第7回 世界の肉料理と肉加工の知恵 第8回 これからの食肉とわたしたち 【学生へのメッセージ】 この講義を通して、食肉や食肉製品への理解を深め、日頃の食生活をより豊かなものにしていただけると嬉しいです。 【受講前の準備学習等】 受講前に日頃の食事でどのようなものを食べたか、感じた味や匂い、食感など、自身の食行動と経験を言語化できるよう、よく観察しておいてください。また、授業で学修した内容を復習し、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・乳肉卵の機能と利用（玖村朗人、若松純一、八田 一編著／アイ・ケイ コーポレーション／¥4,070／ISBN=9784874923542）
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	食肉をめぐる知の探究	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	カワハラ サトシ 河原 聡 宮崎大学 農学部教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター	

科目コード	2689189	【授業内容】 心理検査はパーソナリティの測定に用いられるものです。この授業では、まず心理検査の基本的な内容について学びます。その後、各心理検査を体験し、その内容や結果、考察についてレポートにまとめます。 また、心理検査を体験すると共に、倫理的配慮や人間理解の奥深さ、難しさについても学んでいきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの検査すべてにレポートを提出する必要があります。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎県婦人会館（宮崎市旭1-3-10）】で行います。	授業概要 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理検査についての概説 第2回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」実施と結果の整理 第3回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第4回 「YG性格検査」実施と結果の整理 第5回 「YG性格検査」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第6回 「バウムテスト」実施と結果の整理 第7回 「バウムテスト」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第8回 心理検査における倫理的配慮、まとめ 【学生へのメッセージ】 授業内では様々な専門用語がでてきますが、ただそれを覚えるだけではなく、「心」や「行動」の考え方を学ぶという姿勢を心がけてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 HBの鉛筆と消しゴムを用意してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では、3つの基礎的な心理学実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することを学びます。予定している実験は、「イメージ測定（SD法）」、「鏡映描写」、「ストループ効果」の3種類です。実験終了後は、得られた結果をレポートとしてまとめていきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の実験とは（実験計画の立案、レポート執筆指導） 第2回 統計に関する基礎的な知識 第3回 実験1「イメージ測定（SD法）」の実施 第4回 実験1「イメージ測定（SD法）」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第5回 実験2「鏡映描写」の実施 第6回 実験2「鏡映描写」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第7回 実験3「ストループ効果」の実施 第8回 実験3「ストループ効果」の解説、データ整理、レポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験を実施するにあたってパソコンを使用しますので、基本的な操作は習得されていることを望みます。実験手続きや内容について、疑問があればその場で解決していくよう、授業への積極的な参加を求めます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的な知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・表計算ソフトのExcel（エクセル）が必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・電卓、定規、色鉛筆（グラフ作成のため）を必要に応じて持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認定心理士資格準拠実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） 参考書のため、購入の必要はありません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業では、色識別を要する実験課題があります。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イノウエ ヒロヨシ 井上 浩義 宮崎学園短期大学 保育科教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター	

科目コード	2698544	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	日常会話の不思議としくみ	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フクシマ ミホコ 福島 三穂子 宮崎大学 地域資源創成学部准教授／ 宮崎学習センター客員教員	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター	授業概要 本講義では、日常会話に見られるさまざまな「不思議」を手がかりに、その背後にあるしくみを探ります。なぜ私たちはほとんど同時に話さないのか。なぜ断るときにはすぐに言わず、言い訳が添えられることが多いのか。順番交代や隣接対、優先性に注目し、会話データの分析を通してそのしくみを理解する力を養います。 【到達目標】 日常会話に見られる不思議から出発し、順番交代・隣接対・優先性といったしくみを学ぶとともに、会話データを分析し、そのしくみを自分のことばで説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 イントロダクション：日常会話って、実はすごい！ 第2回 しぐみ①「順番交代」：話す順番のしくみ 第3回 日常会話から「順番交替」を見つけよう！ 第4回 しぐみ②「隣接対」：セットで出てくる発話 第5回 日常会話から「隣接対」を見つけよう！ 第6回 しぐみ③「優先性」：言いやすい／言いにくい応答の違い 第7回 日常会話から「優先性」を見つけよう！（前半）と発表準備（後半） 第8回 発表準備と発表 【学生へのメッセージ】 基本的に、ペアワークを行いながら講義を進めます。受け身で講義を聞くだけでなく、クラスメートと話し合いながら内容理解をする講義スタイルですので、受講生には積極的な参加が求められます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する課題への取り組み姿勢、主体的な学習状況、試験（発表）の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・会話分析の基礎（高木智世・細田由利・森田笑／ひつじ書房／¥3,850／ISBN=9784894768260） ・会話分析入門（串田 秀也・平本 毅・林 誠／勁草書房／¥3,520／ISBN=9784326602964） ・エスノメソドロジー：人びとの実践から学ぶ（前田泰樹・水川喜文・岡田光弘／新曜社／¥2,640／ISBN=9784788510623） ・エスノメソドロジー・会話分析ハンドブック（山崎敬一ほか／新曜社／¥4,620／ISBN=9784788517943） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698552	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、歌唱の基本である発声の仕組みについて、視聴覚教材を用いた講義により学びます。また、様々な歌声の存在を知ると共に、歌唱実践を通して、表現の可能性と美しい歌唱のあり様について考えて参ります。 【到達目標】 ・発声の仕組みを理解して歌うことができる。 ・歌曲および合唱曲の歌唱実践を通して、作品の魅力を感じ得ると共に、演奏技能の向上に取り組むことができる。 【授業テーマ】 第1回 発声の仕組み（講義と実践） 第2回 歌曲の譜読み（音程・リズム・発音練習） 第3回 合唱曲の譜読み（音程・リズム・発音練習） 第4回 合唱曲の歌唱実践（ハーモニー確認） 第5回 様々な歌声（講義） 第6回 歌曲の歌唱実践（演奏表現） 第7回 合唱曲の歌唱実践（演奏表現） 第8回 まとめ（演奏発表会） 【学生へのメッセージ】 歌声に悩みがある、一人で歌うのは苦手という方、歓迎します。教材はイタリア歌曲と日本語による合唱曲の予定です。独唱は課しませんので、臆せずに、歌う楽しさを味わってください。 【受講前の準備学習等】 体調を万全にして授業に臨んでください。自己学習に取り組み、第6回からの演奏表現には、読譜を確実なものにしてから臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び歌唱試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・自己学習のための録音機器（ICレコーダーやスマートフォン録音アプリなど）をご準備ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	宮崎学習センター		
学習センターコード	45A		
クラスコード	K		
科目名	歌声の秘密 ～美しい歌を求めて		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フジモト イクヨ 藤本 いく代 宮崎大学教育学部教授	授 業 概 要	【授業内容】 私たちのまわりにはたくさんの「描かれたもの」があります。美術館に展示されている難解なテーマの絵画作品も、教科書の角の落書きも、作者の「描く」という行為への欲がはじまりです。そして、目の前の「描かれたもの」をより良くしたいという欲から、様々な絵画技法やメディアが生まれてきました。そんな考えのもと、斜方眼の世界に重点を置いて作品制作を行い、3次元の世界を2次元で「描く」魅力について学んでいきます。 【到達目標】 絵画表現につながる視覚効果を理解し、それらを効果的に自身の作品制作に活用できるようにする。斜方眼の仕組みを理解し、適切に空間と立体を描くことができる。 【授業テーマ】 第1回 「描く」とは？、伝えるための「描く」：「お絵描きしりとり」を楽しむ 第2回 3次元を「描く」：斜方眼の世界を知る 第3回 定型的フォルムと不定形的フォルム：ブロックの積み上げと補助線の活用 第4回 陰影を使って「描く」：鉛筆の濃淡による陰影表現 第5回 作品制作の準備：写真からの展開 第6回 作品制作の準備：色鉛筆による色彩表現 第7回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成1 第8回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成2 【学生へのメッセージ】 「描く」ことを楽しめる講義にしたいと思っています。特に最初の「お絵かきしりとり」は10歳児の気分で取組んでもらえると良いと思います。「描く」ことに対しポジティブな気持ちで受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業時間中に制作する作品とその取り組みに加え、授業時間中のレポートを加味して行います。 【受講者が当日用意するもの】 50センチ定規（大手100円ショップで販売しています）、色鉛筆（12色以上のセット）、筆記用具、練り消し 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 美術系の方で、鉛筆デッサン用具やコピック等の使い慣れた持参用具の使用は基本的に認めますが、クレヨン等の油性系の素材や筆洗が必要な道具の使用は、他の受講者や会場の関係上、使用不可とします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
日程 実施時間	11月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40		
実施会場	この授業は、【★宮崎大学木花キャンパス（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）】で行います。		

科目コード	2698560	授 業 概 要	【授業内容】 私たちのまわりにはたくさんの「描かれたもの」があります。美術館に展示されている難解なテーマの絵画作品も、教科書の角の落書きも、作者の「描く」という行為への欲がはじまりです。そして、目の前の「描かれたもの」をより良くしたいという欲から、様々な絵画技法やメディアが生まれてきました。そんな考えのもと、斜方眼の世界に重点を置いて作品制作を行い、3次元の世界を2次元で「描く」魅力について学んでいきます。 【到達目標】 絵画表現につながる視覚効果を理解し、それらを効果的に自身の作品制作に活用できるようにする。斜方眼の仕組みを理解し、適切に空間と立体を描くことができる。 【授業テーマ】 第1回 「描く」とは？、伝えるための「描く」：「お絵描きしりとり」を楽しむ 第2回 3次元を「描く」：斜方眼の世界を知る 第3回 定型的フォルムと不定形的フォルム：ブロックの積み上げと補助線の活用 第4回 陰影を使って「描く」：鉛筆の濃淡による陰影表現 第5回 作品制作の準備：写真からの展開 第6回 作品制作の準備：色鉛筆による色彩表現 第7回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成1 第8回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成2 【学生へのメッセージ】 「描く」ことを楽しめる講義にしたいと思っています。特に最初の「お絵かきしりとり」は10歳児の気分で取組んでもらえると良いと思います。「描く」ことに対しポジティブな気持ちで受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業時間中に制作する作品とその取り組みに加え、授業時間中のレポートを加味して行います。 【受講者が当日用意するもの】 50センチ定規（大手100円ショップで販売しています）、色鉛筆（12色以上のセット）、筆記用具、練り消し 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 美術系の方で、鉛筆デッサン用具やコピック等の使い慣れた持参用具の使用は基本的に認めますが、クレヨン等の油性系の素材や筆洗が必要な道具の使用は、他の受講者や会場の関係上、使用不可とします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	宮崎学習センター		
学習センターコード	45A		
クラスコード	K		
科目名	「描く」を学ぶ2		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	オオイズミ ヨシヒロ 大泉 佳広 宮崎大学 教育学部准教授／ 宮崎学習センター客員教員	授 業 概 要	【授業内容】 私たちのまわりにはたくさんの「描かれたもの」があります。美術館に展示されている難解なテーマの絵画作品も、教科書の角の落書きも、作者の「描く」という行為への欲がはじまりです。そして、目の前の「描かれたもの」をより良くしたいという欲から、様々な絵画技法やメディアが生まれてきました。そんな考えのもと、斜方眼の世界に重点を置いて作品制作を行い、3次元の世界を2次元で「描く」魅力について学んでいきます。 【到達目標】 絵画表現につながる視覚効果を理解し、それらを効果的に自身の作品制作に活用できるようにする。斜方眼の仕組みを理解し、適切に空間と立体を描くことができる。 【授業テーマ】 第1回 「描く」とは？、伝えるための「描く」：「お絵描きしりとり」を楽しむ 第2回 3次元を「描く」：斜方眼の世界を知る 第3回 定型的フォルムと不定形的フォルム：ブロックの積み上げと補助線の活用 第4回 陰影を使って「描く」：鉛筆の濃淡による陰影表現 第5回 作品制作の準備：写真からの展開 第6回 作品制作の準備：色鉛筆による色彩表現 第7回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成1 第8回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成2 【学生へのメッセージ】 「描く」ことを楽しめる講義にしたいと思っています。特に最初の「お絵かきしりとり」は10歳児の気分で取組んでもらえると良いと思います。「描く」ことに対しポジティブな気持ちで受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業時間中に制作する作品とその取り組みに加え、授業時間中のレポートを加味して行います。 【受講者が当日用意するもの】 50センチ定規（大手100円ショップで販売しています）、色鉛筆（12色以上のセット）、筆記用具、練り消し 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 美術系の方で、鉛筆デッサン用具やコピック等の使い慣れた持参用具の使用は基本的に認めますが、クレヨン等の油性系の素材や筆洗が必要な道具の使用は、他の受講者や会場の関係上、使用不可とします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター		

科目コード	2698579	【授業内容】 本講義では、日本全域を対象として、伝統文化の中でもなじみの深い飲食文化、具体的には、地域で長年育まれてきた地酒と副食（おかず）であり、肴の中心であった魚介料理について、総論的な把握の後、各論として各地の飲食文化を紹介・解説していくことで、わが国の伝統的飲食文化の特徴を明らかにし、ユネスコの無形文化遺産に登録された和食のルーツをめぐる地理学の旅に受講生の皆さんをご案内します。 【到達目標】 日本各地の特徴的な飲食文化について把握することで、共通する文化基層の存在と異なる文化事象の存在に気づき、そういった文化の共通性と相違性の背景に、どのような理由・要因があるのかについて理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 導入日本における伝統的飲食文化、特にアルコールと伝統的魚介類食の動向とその地域的展開 第2回 日本各地の酒と魚 1 鹿児島県沖永良部島における飲食文化の展開 第3回 日本各地の酒と魚 2 宮崎県域における飲食文化の展開 第4回 日本各地の酒と魚 3 宮崎県北山間一海辺地域における飲食文化の展開 第5回 日本各地の酒と魚 4 新潟県佐渡島における飲食文化の展開 第6回 日本各地の酒と魚 5 熊本・大分・佐賀各県における飲食文化の展開 第7回 日本各地の酒と魚 6 広島・栃木のワニ（サメ）食、明石の魚、京都の酒と魚他 第8回 講義の総括 【学生へのメッセージ】 皆さん方にとって、とても身近な食文化に関する講義です。今回の講義は、講師の研究最前線（今取り組んでいること）ですので、テキストはまだありません。後述したように「地図帳」、筆記具を持参してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 中学校や高校時代に使った（もちろん、新たに購入してきても結構です）地図帳を持参してください。地理のお話は、それがどこに関するものか、その場所はどこなところで、なぜそのような飲食文化がみられるのかといったことを考えるのに、地図帳は不可欠です。あたりまえですが、メモを取れるようノート、ペン等筆記具も忘れないようお願いします。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・宮崎だれやみ論 酒と肴の文化地理（中村周作／鈺脈社／¥1,980／ISBN=9784860613082）
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	日本の飲食文化の 地域的展開	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカムラ シュウサク 中村 周作 宮崎大学名誉教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎サザンビューティ専門学校（宮崎市老松2-1-17）】で行います。	

授業概要

科目コード	2698587	【授業内容】 ナチス政権崩壊後のドイツは、東西分断・冷戦の時期を経て、ベルリンの壁が解放された翌年の1990年に再統一を果たします。今世紀に入って16年間続いたメルケル政権は2021年に幕を閉じますが、現在のドイツはアメリカ、ロシア、中国、イスラエルなどとの不安定な関係の中で過渡期の様相を呈しています。本科目では、前年度に開講した科目「ドイツの社会と文化」と同様に、政治や文化、自然、歴史、宗教、芸術、産業などの観点からドイツの具体的な状況をお伝えします。ヒトラー、ナチスの歴史が現代の多文化共生社会とどのように結びついているのかを、「想起の文化」を鍵概念にして考察します。前年度には扱えなかった旧東ドイツをめぐる状況やアンゲラ・メルケル元首相についてもお話ししたいと思います。授業の内容を通じて、受講者の皆さんを、複雑化した現代世界についてのより深い考察へと促すことを目指します。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	現代ドイツへの招待	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	コヤ タケシ 胡屋 武志 宮崎大学 多言語多文化教育研究センター教授／ 宮崎学習センター客員教員	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎サザンビューティ専門学校（宮崎市老松2-1-17）】で行います。	授業概要 【到達目標】 ・現代ドイツ社会の全体的なイメージを形成し、このイメージとともに異文化としてのドイツを理解できるようになる。 ・一つの社会を多角的に見ることを通じて、通常とは違った角度から自分自身と自分が属する社会を考察することができるようになる。 ・善悪や美醜、価値の有無などに基づく二項対立的な思考を緩和し、知らぬ間に身に付けている先入観を自覚し、そこから抜け出すことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 現代ドイツの概要、自然と宗教から見たドイツ人の世界観 第2回 ヒトラーとナチスの時代（1） 第3回 ヒトラーとナチスの時代（2） 第4回 「過去の克服」と「想起の文化」 第5回 ドイツのクリスマス 第6回 ベルリンの壁と東ドイツ 第7回 第8代連邦首相アンゲラ・メルケル 第8回 総論としてーふたたび「想起の文化」へー 【学生へのメッセージ】 本科目では、前年の「ドイツの社会と文化」で扱った内容をブラッシュアップした形でお伝えします。現在形のドイツに触れることで、皆さんが日本の新しい側面を知るきっかけになることも目指します。質問やディスカッションの時間を取ることも考えています。皆さんの積極的な参加を期待しています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ドイツ文化 55のキーワード（宮田眞治、畠山寛、濱中春（編著）／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=9784623072538） ・想起の文化: 忘却から対話へ（アライダ・アスマン（著）、安川晴基（訳）／岩波書店／¥5,720／ISBN=9784000237369） ・教養のドイツ現代史（田野大輔、柳原伸洋編著／ミネルヴァ書房／¥3,300／ISBN=9784623072705） ・ドイツ人のこころ（岩波新書新赤版262）（高橋義人／岩波書店／ISBN=9784004302629）

科目コード	2698536	授業概要 【授業内容】 人間が言語を獲得してきた歴史的背景から、文字・印刷技術の発展、そして現代のデジタル通信へ至るまで、人と人が情報を伝え合う仕組みの変化を辿ります。社会の中で他者と関わりながら生きる私たちにとって、コミュニケーションは幸福や心豊かな生活を支える重要な基盤です。本講義では、その基本的な概念や理論を学ぶとともに、社会人としてより良い人間関係を築くための実践的な視点も身につけます。 【到達目標】 人間の言語獲得やコミュニケーションの歴史の変遷を説明できる。 文字・印刷・デジタル通信など各技術が社会に与えた影響を具体的に述べるができる。 社会人としての経験を踏まえ、自身のコミュニケーション上の強みと課題を明確にできる。 コミュニケーションに関する基礎的な概念や主要な理論を用いて、対人関係の特徴を分析できる。 講義内容をふまえて、より良い人間関係を築くための具体的なコミュニケーション方法を実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 SNS全盛期に至るまでの通信史 第2回 人間に備わる素晴らしいコミュニケーション能力① 第3回 人間に備わる素晴らしいコミュニケーション能力② 第4回 コミュニケーションの構造 第5回 脳の仕組みからみるコミュニケーション① 第6回 脳の仕組みからみるコミュニケーション② 第7回 人間の進化の視座から考察するコミュニケーションの意味 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 本講義での学びを、これからの人生を豊かに過ごしていくために活かしていただきたいと考えています。知識の獲得が目的ではなく、実践できることを目指します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。
学習センター	宮崎学習センター	
学習センターコード	45A	
クラスコード	K	
科目名	入門 コミュニケーション論	
科目区分	総合科目	
ナンバリング	420	
定員	25名	
担当講師	カワムラ ミチコ 川村 道子 宮崎県立看護大学 看護学部教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 議論・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【★宮崎県立看護大学（宮崎市まなび野3丁目5番地1）】で行います。	

科目コード	2698595	【授業内容】 本講義は、楽しみながら日常英会話の基礎を学ぶことを目的とします。レベルとしては、英語基本5文型の復習から始め、その後英検準2級面接試験程度の教材を使用して、CDやDVD教材を併用しながら、一緒に楽しく学んでいきます。また外国語学習の教養的側面として、異文化理解や国際理解についての紹介も行います。皆様どうかお気軽なお気持ちでご出席ください。 【到達目標】 学生は英語の基礎力（基本5文型等）を再確認し、さらに実用英語検定試験準2級程度の実用英語の運用能力を身に付けることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、自己紹介、動機付け等 第2回 英語基本5文型復習および反復練習 第3回 英語基本5文型の定着 第4回 リスニング：やや、やさしい英検準2級程度の教材チャレンジ 第5回 スピーキング：やや、やさしい英検準2級程度の教材チャレンジ 第6回 リスニング：やや、高度な英検準2級程度の教材チャレンジ 第7回 スピーキング：やや、高度な英検準2級程度の教材チャレンジ 第8回 講義のまとめ 【学生へのメッセージ】 英語が苦手な方も大丈夫です。この講義の前身「実用英語検定チャレンジ基礎講座」では、英検準1級に2名合格されました。具体的な教材としては、英検準2級の実際リスニング・スピーキングテスト教材等を使用し、全力で皆さんの実用英語力アップに努めます。因みに講師は英語検定1級と英語通訳資格所有者で、英語資格についての相談も受けます。 【受講前の準備学習等】 英語のテレビやラジオ番組や映画、歌、コミックブック等で、易しい英語に慣れ親しんで理解しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、基本的な辞書（紙媒体、電子辞書どちらでも）をご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・2026年度版英検準2級過去6回全問題集（旺文社編／旺文社／¥1,870／ISBN=9784010951088） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	やさしい日常基礎英会話	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	40名	
担当講師	サカモト イクオ 坂本 育生 鹿児島大学名誉教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

授業概要

科目コード	2698609	【授業内容】 私たちは日常生活のなかで、周りの人とうどう関わっていけばよいのか分からなくなる時があります。本講義では、目の前の出来事や自分自身について新たな発見や気づきに出会い、元気になれるよう、コミュニケーションやセルフマネジメントについて学びます。また、自己のコミュニケーションの特徴について理解を深め、他者と良好なコミュニケーションをとることができ、自分自身の精神的健康が高まるよう演習などを取り入れながら実践的に学びます。 【到達目標】 ・精神的健康について理解することで、自己のウェルビーイングの向上に必要な方法を説明することができる。 ・他者と良好なコミュニケーションをとるために必要な方法を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 精神的健康とは 第2回 コミュニケーション（対象理解と自己理解、傾聴） 第3回 リフレーミング（出来事の枠組みを変える） 第4回 感情と認知 第5回 元気回復行動プラン① 第6回 元気回復行動プラン② 第7回 元気回復行動プラン③ 第8回 元気回復行動プラン④ 【学生へのメッセージ】 日常からテレビや新聞などからメンタルヘルスに関する情報に関心を持つようにしてください。授業では、自分自身のセルフケアとなる元気回復行動プランを実際に作ります。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	精神的健康のセルフマネジメント	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	ヤマシタ アヤコ 山下 亜矢子 鹿児島大学学術研究院医学系教授	
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

授業概要

科目コード	2698617	授業概要 【授業内容】 発酵食品といえば、味噌、醤油、清酒、お酢、ヨーグルトそして焼酎等、食卓には欠かすことのできない食品です。これらの発酵食品に関わる微生物がなぜアルコールや乳酸、酢酸、芳香成分などを作るのか、なぜ美味しさや栄養価、保存性が向上するのか、それに関わる微生物の役割やその製造法、健康機能性等から発酵食品のひみつを解き明かします。 【到達目標】 発酵食品とはどのようなものなのか、関与する微生物の役割や食品の健康機能性などについて理解し、発酵食品について1時間程度の話ができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 発酵食品に関わる微生物（麹菌、酵母、乳酸菌など） 第2回 発酵食品いろいろ（乳酸菌飲料、味噌、醤油、酢） 第3回 発酵食品に関わる酵素 第4回 酒の功罪 第5回 芋焼酎と黒糖焼酎 第6回 香りの科学 第7回 発酵食品の健康機能性 第8回 鹿児島県特産の発酵食品いろいろ 【学生へのメッセージ】 発酵食品とそれに関わる微生物、健康機能性などについて、基礎的なことから実際の応用まで幅広く講義したいと思います。 【受講前の準備学習等】 発酵食品に欠かすことのできない微生物について参考書等で自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの点数により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・発酵食品学（小泉武夫／講談社／¥4,180／ISBN=9784061537347） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。 ・焼酎の科学 発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技（鮫島吉廣、高峯和則／講談社／¥1,100／ISBN=9784065268070） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	発酵食品のひみつ	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	タカミネ カズノリ 高峯 和則 鹿児島大学学術研究院農学系教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	この授業は、【カクイックス交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）】で行います。	

科目コード	2698625	【授業内容】 第二次世界大戦後の日本の政治の歩みについての講義です。敗戦と占領から高度経済成長を経て、現在の長期停滞の時代に至るまで、日本の政治は大きな変化を遂げてきました。政治家や政党の行動、制度の変化などを中心に説明し、歴史を通して日本政治の現状と課題を考えていくことにします。また、適宜、鹿児島県の戦後史との関連にも触れていくことにします。 【到達目標】 ・戦後の日本政治の歩みの基本的な流れについて、政党政治と政治家の役割の変化に関する政治学的分析を踏まえて、説明することができる。 ・日本政治の変化と関連づけて、鹿児島県の政治の変化を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 占領期－戦後日本政治の出発 第2回 55年体制 第3回 高度成長と自民党政治の安定化 第4回 保革伯仲と田中支配 第5回 新自由主義の台頭と冷戦の終焉 第6回 政界再編の時代 第7回 21世紀の日本政治 第8回 戦後日本政治と鹿児島の政治 【学生へのメッセージ】 政治の世界は絶えず変化をしています。日本の政治がどのように変化してきたのか、変化はなぜ生じてきたのか、また、そのなかで鹿児島の政治はどのように変化してきたのか、皆さんと一緒に考えることにします。歴史と政治に関心をもって受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	日本の政治・ かごしまの政治	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	ヒライ カズオミ 平井 一臣 鹿児島大学名誉教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・歴代首相物語 増補新版（御厨貴 編／新書館／¥2,200／ISBN=9784403251085） ネットショッピングなどでも入手できます。 ・昭和史 戦後篇1945－1989（半藤一利／平凡社／¥990／ISBN=9784582766721） ・歴代自民党総裁のリーダーシップⅡ－第五代総裁～第一一代総裁－（浅野一弘 編著／学文社／¥2,860／ISBN=9784762032639） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2698633	授業概要 【授業内容】 鹿児島は幕末・維新期のイメージで語られることの多い都市です。西郷隆盛や大久保利通、島津斉彬に篤姫と、広く知られた歴史上の人物が大勢いますが、彼らの暮らした鹿児島城下町がどのような都市であったのかはほとんど知られていません。この授業では、近世の鹿児島城下町を描いた古地図などを資料に用い、「歴史地理学」という耳慣れない学問の視点からかつての鹿児島市街地の成り立ちや景観などについて、講義とフィールドワーク（まち歩き）を組み合わせで解説していきます。 【到達目標】 近世の鹿児島城下町について、古地図などの歴史資料の読解とフィールドワークを通じて、その成り立ちや景観、特徴などについて説明できる。 【授業テーマ】 第1回 歴史地理学の見方・考え方 第2回 歴史地理学の研究資料（1） 第3回 歴史地理学の研究資料（2） 第4回 フールドワーク（1）－現在に残る過去の痕跡：歴史的景観 第5回 近世鹿児島城下町の成り立ち 第6回 近世鹿児島城下町の空間構造 第7回 城下町から近代都市へ（後半：フールドワーク（2）－現在に残る過去の痕跡：地名・石碑） 第8回 フールドワーク（2）－現在に残る過去の痕跡：地名・石碑 【学生へのメッセージ】 長年住み慣れた地域でも、意外と知らないことは多いものです。身近な地域の見え方を変えてみませんか。「百聞は一見に如かず」です。現地で路傍の石碑や案内板に足を止めて観察し、一緒に考えましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、フィールドワークなど授業内で実施する活動への主体的な取り組みの状況とレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 まち歩きに適した服装（帽子・スニーカー等の履物・リュック）、発汗対策（タオル・飲み水）、雨対策（折り畳み傘等の雨具） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・両日とも午後はフィールドワーク（まち歩き）を行い、市街地で解散予定です。1日約2キロ程度歩きます。体力や歩行能力を判断して受講してください。詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 ・天候や諸事情により、授業内容、スケジュールが変更になる場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	古地図から学ぶ 近世の鹿児島	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	コバヤシ ヨシト 小林 善仁 鹿児島大学学術研究院法文学系准教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	この授業は、【鹿児島学習センター講義室および1日目第4時限、2日目第3時限後半、第4時限は★学習センター周辺のまち歩きを実施】で行います。	

科目コード	2698641	【授業内容】 鹿児島市立美術館は、日本近代洋画の父と呼ばれる黒田清輝を顕彰するために、九州でも逸早く昭和29年に開館しました。鹿児島ゆかりの作家や、鹿児島の風土をモチーフとした作品、また、19世紀末以降の西洋美術をコレクションしている美術館です。それぞれ担当の学芸員が、所蔵作品を中心に西洋と鹿児島の美術について専門的な講義を行うことで、文化史や地域論について学びます。 【到達目標】 鹿児島市立美術館の所蔵品を中心に、印象派以降の西洋美術の流れと、鹿児島が育んだ美術の特徴を理解し、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 印象派についてーモネ、ルノワール、セザンヌ（小牟禮） 第2回 近代彫刻とは何かーロダン、ブールデル、マイヨールを中心に（楠元） 第3回 戦後の美術についてーフォンターナ、ウォーホル、ステラ（村山） 第4回 薩摩の絵師についてー秋月、探元とその弟子（佐々木） 第5回 黒田清輝と近代洋画ー黒田、藤島、和田（稲葉） 第6回 奄美と田中一村（上原） 第7回 桜島を描いた画家たち（田村） 第8回 まとめ：美術と歴史、美術と地域（谷口） 【学生へのメッセージ】 西郷隆盛や大久保利通による明治維新のイメージの強い鹿児島ですが、一方で多くの巨匠を輩出した洋画王国と呼ばれる土地柄でもあります。その歴史的、地理的背景と育まれた芸術文化をともに考えましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・鹿児島市立美術館所蔵作品選集（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥2,000） ・Pocket Museum vol.1 桜島コレクション（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） ・Pocket Museum vol.2 黒田清輝・藤島武二・和田英作（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） ・Pocket Museum vol.3 西洋の近代絵画（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） 直接ご購入される場合は、鹿児島市立美術館 1階の総合案内窓口で販売いたしております。郵送でのご購入を希望される場合は、鹿児島市立美術館にお問い合わせください。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・鹿児島市立美術館観覧料（各日市内450円、市外600円）、または年間パスポート（市内900円、市外1,200円。1年間有効）が必要です。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（別冊子「面接授業開設科目一覧」P.5参照）
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	西洋の美術／ 鹿児島の美術	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	クスモト カヨコ 楠元 香代子 鹿児島市立美術館長 ヤグチ ユウソウ 谷口 雄三 鹿児島市立美術館副館長 ウエハラ ナオヤ 上原 直哉 鹿児島市立美術館主幹・学芸係長 コムレ ユウイチ 小牟禮 雄一 鹿児島市立美術館学芸主査 タムラ ケイコ 田村 桂子 鹿児島市立美術館学芸主査 イナバ マリコ 稲葉 麻里子 鹿児島市立美術館学芸主査 ムラヤマ アキコ 村山 亜紀子 鹿児島市立美術館学芸嘱託員 ササキ ケイコ 佐々木 恵子 鹿児島市立美術館学芸嘱託員	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	この授業は、【★鹿児島市立美術館（鹿児島市城山町4番36号）】で行います。	

科目コード	2698650	【授業内容】 現実世界とネット世界の融合が進む現代社会において、データを読み解き有益な情報を導き出すデータサイエンスの重要性が高まっています。また、行政や企業の業務データ、SNSやオンラインサービスの利用履歴、各種センサーによる計測データなどが日常的に生成および蓄積されるようになったため、データサイエンスの知識は、文系・理系を問わず多くの分野で必要とされています。 この授業では、統計学などの知識は前提とせず、現代社会におけるデータの読み解き方と活用分野を理解し、データサイエンスの基礎知識と考え方を身につけます。 【到達目標】 現代社会において利活用されているデータの種類や活用領域について、社会的背景を踏まえて理解し、説明できるようになる。また、データの基本的な解析方法を理解し、データの分布や関係性を読み取った上で、そこから得られる基礎的な情報について説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 社会の変化とデータ 第2回 社会で活用されるデータ 第3回 データサイエンスとAIの活用の広がり 第4回 人間社会の日常とデータ解析 第5回 データ解析1：予測・グルーピング 第6回 データ解析2：発見 第7回 データを読む1：データの分布・代表値の性質 第8回 データを読む2：相関と因果 【学生へのメッセージ】 入門・導入レベルの内容なので、基礎知識や用語の理解が中心となります。統計学やデータ分析の知識は必要ではありません。授業では講師や他の受講生との対話によって理解を深めることを目指します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・教養としてのデータサイエンス 改訂第2版（北川源四郎（編集）、竹村彰通（編集）、内田誠一（著）、川崎能典（著）、孝忠大輔（著）、佐久間淳（著）、椎名洋（著）、中川裕志（著）、樋口知之（著）、丸山宏（著）／講談社／¥1,980／ISBN=9784065379394） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	教養の データサイエンス入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	ババ タケン 馬場 武 鹿児島大学学術研究院法文学系講師	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月22日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2698668	【授業内容】 本シラバスの受講場所は、「鹿児島学習センター（鹿児島市）」です。 ※この科目は、鹿児島学習センター（鹿児島市）で実施する授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ、インターネット配信して実施します。 受講場所ごとに、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、間違えないようご注意ください。 クラスコードK→鹿児島学習センター（鹿児島市） クラスコードL→県立奄美図書館（奄美市） 「化学物質」というと、我々の生活とは縁遠いもののように感じますが、実際には、食品や化粧品、医薬品など、私たちの身の回りのものすべてが「化学物質」です。この授業では、化学物質とどのように付き合うのか、化学の基礎を学んで、身の回りの化学物質を上手に利用する方法を理解します。化学物質の有害性（ハザード）と危険性（リスク）の違いを理解し、有害な物質を「正しく恐れる」ことの重要性を解説します。 【到達目標】 学生は、化学の基礎的な知識に基づいて、食品等の成分表示を読み取り、その成分についての情報を調べることができるようになる。化学物質に関するハザードとリスクについて、的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 食品添加物・週刊誌の記事を読む 第2回 化学の基礎・元素、分子、化合物、化学種（かがくしゅ） 第3回 毒性、有害性と危険性・ハザードとリスク 第4回 情報の調べ方・情報の信頼性 第5回 遺伝子組み換え作物・有用性と安全性 第6回 健康食品と医薬品・役割りと効き目 第7回 天然と合成・天然成分配合？オーガニック？ 第8回 総括・質疑応答 【学生へのメッセージ】 授業中に自分の意見を発表する機会があります。積極的な発言をお願いします。また必須ではありませんが、ネット接続できる端末を持ち込むことをお勧めします。（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン等）授業中オンライン上のデータ検索ができると便利です。 【受講前の準備学習等】 中学～高校レベルの化学の教科書や参考書に目を通して、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。必須ではありませんが、ネット接続できる端末を持ち込むことをお勧めします。（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン等） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ほんとうの「食の安全」を考えるーゼロリスクという幻想（畝山智香子／DOJIN 文庫（化学同人）／¥990／ISBN=9784759825077） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 端末を持ち込む場合は、あらかじめ充電を完了しておいてください。また充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	毎日の暮らしを豊かにする化学	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	40名	
担当講師	オカムラ ヒロアキ 岡村 浩昭 鹿児島大学学術研究院理学系教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2698668	【授業内容】 本シラバスの受講場所は、「県立奄美図書館（奄美市）」です。 ※この科目は、鹿児島学習センター（鹿児島市）で実施する授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ、インターネット配信して実施します。 受講場所ごとに、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、間違えないようご注意ください。 クラスコードK→鹿児島学習センター（鹿児島市） クラスコードL→県立奄美図書館（奄美市） 「化学物質」というと、我々の生活とは縁遠いもののように感じますが、実際には、食品や化粧品、医薬品など、私たちの身の回りのものすべてが「化学物質」です。この授業では、化学物質とどのように付き合うのか、化学の基礎を学んで、身の回りの化学物質を上手に利用する方法を理解します。化学物質の有害性（ハザード）と危険性（リスク）の違いを理解し、有害な物質を「正しく恐れる」ことの重要性を解説します。 【到達目標】 学生は、化学の基礎的な知識に基づいて、食品等の成分表示を読み取り、その成分についての情報を調べることができるようになる。化学物質に関するハザードとリスクについて、的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 食品添加物・週刊誌の記事を読む 第2回 化学の基礎・元素、分子、化合物、化学種（かがくしゅ） 第3回 毒性、有害性と危険性・ハザードとリスク 第4回 情報の調べ方・情報の信頼性 第5回 遺伝子組み換え作物・有用性と安全性 第6回 健康食品と医薬品・役割りと効き目 第7回 天然と合成・天然成分配合？オーガニック？ 第8回 総括・質疑応答 【学生へのメッセージ】 授業中に自分の意見を発表する機会があります。積極的な発言をお願いします。また必須ではありませんが、ネット接続できる端末を持ち込むことをお勧めします。（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン等）授業中オンライン上のデータ検索ができると便利です。 【受講前の準備学習等】 中学～高校レベルの化学の教科書や参考書に目を通して、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。必須ではありませんが、ネット接続できる端末を持ち込むことをお勧めします。（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン等） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ほんとうの「食の安全」を考えるーゼロリスクという幻想（畝山智香子／DOJIN文庫（化学同人）／¥990／ISBN=9784759825077） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 端末を持ち込む場合は、あらかじめ充電を完了しておいてください。また充電切れが生じたためのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	L	
科目名	毎日の暮らしを豊かにする化学	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	15名	
担当講師	オカムラ ヒロアキ 岡村 浩昭 鹿児島大学学術研究院理学系教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 読書・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	この授業は、【★鹿児島県立奄美図書館第1研修室（4階）（奄美市名瀬古田町1-1）】で行います。	

授業概要

科目コード	2698676	【授業内容】 日本は亜寒帯から亜熱帯・熱帯に位置する島嶼国です。日本の南部に位置する亜熱帯・熱帯島嶼は南西諸島と呼ばれ、近年は文化的、自然科学的、地政学的などの多様な視点で注目を集めています。その中でも奄美と琉球の島々の一部は自然の豊かさが認められ2021年に世界自然遺産に認定されました。本講義では奄美に注目しながら、熱帯・亜熱帯の人と自然の関係について考えます。 【到達目標】 高い生物多様性が評価され世界自然遺産登録された奄美において、生物多様性が高いとはどのようなことか人間はどのように利用してきたかを理解する。そして、限らない自然環境を保全し人間と共存するためにはどのようにすればいいかなどを判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 島嶼学概論（河合） 第2回 海から見た島（河合） 第3回 島と海の関係（河合） 第4回 島の食文化－作物－（山本） 第5回 島の食文化－魚介類・陸上動物－（山本） 第6回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学－奄美の自然を体感する－（河合） 第7回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学－奄美の自然を体感する－（河合） 第8回 奄美群島の自然と人（河合） 【学生へのメッセージ】 熱帯・亜熱帯島嶼は生物や文化などが多様な地域です。自然と共存した豊かな生活について考える機会になっていただければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 歩きやすい服装（帽子・スニーカー等の履物・リュック）、発汗対策（タオル・飲み水）、雨対策（折り畳み傘等の雨具）、交通費1,500円程度 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・奄美の自然入門（常田守、外尾誠／南方新社／¥1,980／ISBN=9784861244537） ・生物多様性と保全－奄美群島を例に－（下）水圏・人と自然編（鹿児島大学島嶼研ブックレット）（鈴木英治 他／北斗書房／¥880／ISBN=9784892900389） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・授業2日目の第1、2時限は、バスで移動し、奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパークの見学を行います。なお、途中下車はお断りいたします。 ・交通費1,500円程度が、授業料とは別に必要です。1日目に徴収しますのでご準備ください。 ・宿泊の斡旋は行いませんので、必要な方は各自で手配してください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	奄美から見た島嶼の人と自然	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	カワイ ケイ 河合 溪 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター教授 ヤマモト ソウタ 山本 宗立 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター准教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～14:45 第4時限 14:55～16:25 第5時限 16:35～18:05 試験・レポート等 18:05～18:20 12月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:10 第3時限 13:00～14:30 試験・レポート等 14:30～15:00	
実施会場	この授業は、【★鹿児島県立奄美図書館4階第1研修室（奄美市名瀬古田町1-1）および2日目第1、2時限は★奄美大島世界遺産センター（奄美市住用町石原467番地1）、★黒潮の森マングローブパーク（奄美市住用町石原478番地）】で行います。	

科目コード	2698684	授業概要 【授業内容】 2024年認知症基本法が成立され、認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続ける地域共生社会を目指すことが法律的に位置づけられました。特に生活上「できない」部分だけに目を向けるのではなく、個性と能力を発揮できるようにする支援が望まれています。認知症は日常生活の障害がありますが、残存する認知機能や生活行為がたくさんあります。これらの残存部分や得意な（本人が大切にしている）部分を活かした具体的支援方法を紹介し、議論する講義です。偏見をなくし、よりよい地域共生社会を目指します。 【到達目標】 認知症の生活障害について理解し、地域や家庭でできる支援方法について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 超高齢化社会と認知症高齢者の推移 第2回 認知症の疾患別特徴の理解 第3回 認知症の重症度別特徴の理解 第4回 認知症の心理と行動背景 第5回 手段的日常生活障害の具体化と支援1 第6回 手段的日常生活障害と具体化と支援2 第7回 基本的日常生活生活障害と具体化と支援 第8回 総括 【学生へのメッセージ】 本科目は、認知症の方や、その前駆段階における生活の困りごとやその支援を科学的に考える講義となります。グループワークなどによるアクティブ・ラーニングも積極的に取り入れます。 【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して自己学習や情報収集に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・もの忘れでお困りの方と支援者のためのくらしのあれこれヒント集（生活協同組合コープかごしま、（一社）鹿児島県作業療法士協会かごしま認知症OTネットワーク／生活協同組合コープかごしま） ダウンロードできます。 https://drive.google.com/file/d/1RE8pWhqn-vUy9nHT5lHsU--s8GMFroEn/view
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	認知症高齢者への生活支援	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タビラ タカユキ 田平 隆行 鹿児島大学学術研究院医学系教授	日程実施時間 12月26日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月27日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2698692	授業概要 【授業内容】 心理療法には様々なアプローチの仕方があります。この授業では、子どもや学校の先生、保護者に対応しているスクールカウンセラーの立場からそれらについて解説します。心理学を応用して人を支援することに関して、幅広く解説していきます。 【到達目標】 心理療法には様々なかわり方があることを理解し、それぞれのアプローチの違いについて解説することができる。 【授業テーマ】 第1回 行動の成り立ちを理解し支援する 第2回 考え方の癖を理解し支援する 第3回 傾聴を通して支援する 第4回 新しい発想を取り入れる 第5回 あたまを使って考えこころを使って支援する 第6回 こころを使って支援する 第7回 ケースから多様なアプローチを考えてみる 第8回 質疑・まとめ 【学生へのメッセージ】 心理療法は体験したことのない人にとっては分かりづらいこともあると思います。モヤモヤが残ることもあると思いますが、そのモヤモヤに耐えられる人の受講を求めます。 【受講前の準備学習等】 カウンセリングの本や論文を複数読んで、カウンセリングとはどういうものなのかということについて、自分なりに学修しておいて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・＜心理療法＞コレクションⅣ 心理療法序説（河合隼雄、河合俊雄編／岩波書店／¥1,672／ISBN=9784006002237） ・行動分析学入門 第2版（杉山尚子、島宗理、佐藤方哉ほか／産業図書／¥3,960／ISBN=9784782890356） ・認知行動療法入門1（伊藤絵美／医学書院／¥2,200／ISBN=9784260012454） ・家族の練習問題（団士郎／講談社＋α文庫／¥713／ISBN=9784062814638） ・先生のためのやさしいブリーフセラピー（森俊夫／ほんの森出版／¥1,760／ISBN=9784938874162）
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	セラピストとして考えること	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	マルヤマ ヒロト 丸山 広人 放送大学教授	日程実施時間 10月17日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2689146	【授業内容】 心理学の3つの実験（パーソナルスペース、顔面フィードバック、自由再生による記憶の系列位置効果）を取り上げます。それらを通して、心理学実験の方法論、データ分析、レポートの書き方を学ぶことを目的とします。受講者は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 心理学研究の一連の流れを体験し、またレポートの基本的な構造について理解したうえで、実験の全体像を報告できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究法（研究法の種類と特徴）、レポートの書き方 第2回 実験①パーソナルスペース：事前説明、実験実施 第3回 実験①パーソナルスペース：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第4回 実験②顔面フィードバック：事前説明、実験実施 第5回 実験②顔面フィードバック：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第6回 実験③自由再生による記憶の系列位置効果：事前説明、実験実施 第7回 実験③自由再生による記憶の系列位置効果：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第8回 心理学研究法（実験に関する用語解説、研究倫理について） 【学生へのメッセージ】 実際に実験を体験することで、研究関連の専門用語が理解しやすくなるはずです。実習中は各段階の作業をひとつずつこなし、帰宅後に全体について時間をかけて繰り返し復習することを推奨します。 【受講前の準備学習等】 事前に公益社団法人日本心理学会倫理規程（学会HPでPDFをダウンロード可。特に、研究一般、実験研究の節）に目を通してください。また統計学の復習をしておく受講しやすいです。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 当日、筆記用具（各自でメモを取ったり、実験結果を記録します。）と電卓（あるいは電卓機能付き携帯電話）を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（公益社団法人日本心理学会認定心理士資格認定委員会（編）／株式会社金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヤマサキ マリコ 山崎 真理子 鹿児島大学学術研究院法文学系准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2689162	【授業内容】 心理学における実験的研究を3つ（鏡映描写、触二点閾、囚人のジレンマ）取り上げます。 心理学実験3では、心理学の初学者が最低限知っておきたい実験をいくつか紹介したいと考えています。この授業をととして、心理学の基礎知識、方法を身につけ、様々な視点からの人間理解を進めてもらいたいと思います。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 心理学における研究法の基礎を理解した上で、実験を実施できる。 収集したデータについて分析された結果を適切に整理し、解釈することができる。 データや収集した知見を踏まえて考察し、心理学論文に沿ってレポートにまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎（心理学実験についての基本的な考え方やレポートの書き方など） 第2回 心理学実験の基礎（以下の実験で用いる分散分析などの統計処理について） 第3回 鏡映描写（知覚－運動学習）（1）（key word：知覚運動学習、両側性転移） 第4回 鏡映描写（知覚－運動学習）（2） 第5回 触二点閾の測定（1）（key word：触二点閾、精神物理学的測定法、弁別閾、極限法） 第6回 触二点閾の測定（2） 第7回 囚人のジレンマ（1）（key word：囚人のジレンマ、応報戦略、信頼） 第8回 囚人のジレンマ（2） 【学生へのメッセージ】 心理学の基礎的な実験の方法を経験することで、科学的な視点で人間行動を理解できるようになってもらいたいと思います。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。 【受講前の準備学習等】 統計処理の考え方と手法（平均、標準偏差、推測統計（分散分析）、因子分析）については時間をとって説明しますが、事前学習をお勧めします。また、三つの実験についてもネットで実験名を検索し、関係する書籍や文献を読んでおいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートは返却します。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人、坂田省吾／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。 【その他（特記事項）】 内容の一部は、2010年度に開講した「心理学基礎実験A」、2011・2012年度に開講した「社会心理学基礎実験」と重複しています。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ユウクラ ミユキ 有倉 巳幸 鹿児島大学理事・副学長	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

授業概要

科目コード	2698706	授業概要 【授業内容】 心理アセスメント（心理査定）は、心理的な援助を必要としている人を多角的・多層的に理解するだけでなく、生活環境等との関係性も含めて全体的に把握して、支援に役立てていく営みです。また、そのための方法として、観察法や面接法、心理テスト（質問紙法・投映法等）があります。本講義では、心理アセスメントの中核となる病院や相談機関におけるあり方を主軸にして、そこでの基本的な考え方や仕組みについて理論的に学んでいきます。 【到達目標】 ・心理アセスメントに臨む姿勢と倫理を理解し、収集すべき情報とその整理の仕方の基本について説明できる。 ・パーソナリティの考え方と質問紙法・投映法の仕組みの基礎について説明できる。 ・知能の考え方と知能検査の仕組みの基礎について説明できる。 ・観察法と面接法の考え方と仕組みの基礎について説明できる。 ・総合的なアセスメントの基礎について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 心理アセスメントに臨む姿勢（科学性・共感性）と倫理 第2回 収集すべき情報とその整理の仕方 第3回 心理テスト（1）：パーソナリティの考え方と質問紙法の仕組み 第4回 心理テスト（2）：知能の考え方と知能検査の仕組み 第5回 心理テスト（3）：投映法の考え方とその仕組み 第6回 心理テスト（4）：投映法を用いたパーソナリティ等の理解 第7回 観察法・面接法の考え方と仕組み 第8回 総合的なアセスメント：初回面接（インテーク面接）をめぐって 【学生へのメッセージ】 本講義では、個別の心理テスト等の実施法を伝えるのではなく、心理的に苦しんでいる人の支援に役立つアセスメントはいかにあるべきかを第一に考えながら、科学性と共感性の両方を大切にしながら進めていきます。 【受講前の準備学習等】 臨床心理学や統計学を初めて学ぶ人は、以下の参考書を事前に読んで、専門用語に馴染んでおいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理アセスメントの理論と実践：テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで（高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太（編著）／岩崎学術出版社／¥3,960／ISBN=9784753311668） ※本講義の内容全般の理解に役立つ基本書籍 ・心理的アセスメント（津川律子・遠藤裕乃（編）／遠見書房／¥2,860／ISBN=9784866160641） ※「心理アセスメントの理論と実践」よりも簡略な内容の図書 ・心理統計学の基礎：統合的理解のために（南風原朝和／有斐閣アルマ／¥2,420／ISBN=9784641121607） ※心理アセスメントの科学性や質問紙法・知能検査の仕組みを理解するために役立つ書籍 ・はじめて学ぶパーソナリティ心理学：個性をめぐる冒険（小塩真司／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=9784623056842） ※パーソナリティについて理解するために役立つ書籍
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理アセスメントの基礎	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	セキヤマ トオル 関山 徹 鹿児島大学学術研究院教育学系教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	この授業は、【カクイックス交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）】で行います。	

科目コード	2698714	【授業内容】 アジアの成長に加えてグローバル化が進む中で、2020年代以降、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が起り、さらにウクライナ侵攻、中東の衝突など、我々は多くの不確実性が重なった世界で、激動の変化の渦中にあるといえます。日本やアジアはその中において、「国連のSDGs（持続的な開発目標）2030」やICT化を踏まえた変化にも迫られています。本授業は放送授業「SDGs下のアジア産業論（23）」を補完する面接授業で、食料・農業を中心に、過去から現在、そしてコロナ禍を越えて、グローバル化とは異なる動向やアジアと世界のこれからを展望する視点を学びます。 【到達目標】 アジアおよび世界は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行（パンデミック）やウクライナ侵攻の長期化など、多くの不確実性を重ねた激動の渦中にある。受講生は、本授業を通じて、国連のSDGs（持続的な開発目標）の大きな流れを理解し、世界の食料需給や農業、開発を中心に、過去から現在、そしてコロナ禍を越えて、グローバル化とは異なる動向やアジアと世界のこれからを展望する視点を理解して、さらに探求できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 SDGs下のアジア産業－SDGsについて－ 第2回 日本の農・食品産業と海外展開 第3回 アジアと日本の食料消費市場－アジアの所得階層と食料消費の変化－ 第4回 アジアにおける農業政策とその展望 第5回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（1）－食料需給の視点から－ 第6回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（2）－穀物等の国際市場と台頭する新興国－ 第7回 アフターコロナに向けたSDGs下のアジアと日本が直面する課題 第8回 SDGs下のアジアの産業と世界のこれから 【学生へのメッセージ】 COVID-19のパンデミック、ウクライナ侵攻の長期化、中東の衝突などが起り、世界およびアジアは多くの不確実性を重ねた激動の渦中にあります。私の専門である世界の食料需給や農業を中心に、将来を見据えた視点を理解するとともに、さらに探求していきましょう。 【受講前の準備学習等】 「SDGs下のアジア産業論（23）」科目の内容から自己学習に努めてください。可能な範囲で、引用文献などを調べてみることもよいでしょう。授業で学修した内容などを活用して、SDGsやアジアの農業・食料、世界の食料需給についての情報を収集して復習を行い、理解を深めることをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・SDGs下のアジア産業論（古橋元／放送大学教育振興会／¥3,960／ISBN=9784595324130） 本学の印刷教材 ・改訂フードシステム入門（薬師寺哲郎・中川隆 編著／建帛社／¥2,530／ISBN=9784767908052） 改訂版は2026年4月ごろ出版予定で、価格は変更になる可能性があります。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	SDGs下のアジア産業論	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	25名	
担当講師	フルハシ ゲン 古橋 元 放送大学教授	
日程 実施時間	10月24日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	この授業は、【カクイックス交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）】で行います。	

授業概要

科目コード	2698722	授業概要 【授業内容】 明治の名作、森鷗外の『舞姫』と樋口一葉の『たけくらべ』を読みます。 『舞姫』は高校国語教科書の定番教材として、「まことの我」の目覚めと挫折を描いた青春小説として読まれてきた作品ですが、登場人物の個人的な感情や行動は国家や社会の強い制約を受けています。『たけくらべ』は大河ドラマ『べらぼう』に描かれて話題となった東洋一の歓楽街吉原遊郭の隣町を舞台とする作品ですが、子供たちの世界を描きながら、その向こう側には日清戦争の時代の社会が透けて見えてきます。 この授業では、作品が書かれた時代社会の文脈の中で、改めてこの近代文学の古典を読み直してみたいと思います。 【到達目標】 ・「文学研究」と「文学鑑賞」の違いを理解する。 ・文学作品の読解を通じて、それを生み出した社会のあり方を理解する。 ・講義で受講した内容を自分の言葉で説明できる。 【授業テーマ】 第1回『舞姫』（1）―「まことの我」とは何か 第2回『舞姫』（2）―日本とドイツ、ウンテル・デン・リンデンとクロステル街 第3回『舞姫』（3）―ナショナリズムと植民地主義 第4回『舞姫』（4）―エリスの事情、エリスの選択 第5回『たけくらべ』（1）―吉原と大音寺前、表町組と横町組 第6回『たけくらべ』（2）―学校という解放区 第7回『たけくらべ』（3）―遊女と僧侶、格子門の内と外 第8回『たけくらべ』（4）―大人になるということ、子供の世界の終わり 【学生へのメッセージ】 授業はテキストを読みながら話を進めていきますので、すでに取り扱う作品を他の本でお持ちの場合も、必ず指定されたテキストを購入して持ってきてください。 【受講前の準備学習等】 必ず事前に作品を読んで、授業に臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 指定された『舞姫』と『たけくらべ』の教科書 【教科書】 ・現代語訳 舞姫（森鷗外／ちくま文庫／¥638／ISBN=9784480421883） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。 ・たけくらべ（樋口一葉／集英社文庫／¥462／ISBN=9784087520446） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
学習センター	鹿児島学習センター	
学習センターコード	46A	
クラスコード	K	
科目名	『舞姫』と『たけくらべ』を読む	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ムラセ シロウ 村瀬 士朗 鹿児島国際大学国際文化学部教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 読後レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター講義室	

科目コード	2698730	【授業内容】 この講義に副題をつけるならば、『大人の常識が子どもたちの未来を破壊する』とでもなるでしょう。 私たち大人の99%の人がお金に対して誤解をしているため、未来の子どもたちに大変なつけを残すことになるのです。それを防ぐには、私たち大人一人ひとりがお金に関しての正しい認識を持ち、それをひろげることが急務です。 この講義では、お金に関しての正しい認識を持つための基礎をゆっくり学んでいきます。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	お金についての本当の話	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	22名	
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 沖縄学習センター客員准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	【到達目標】 信用創造について理解し、お金がいつ生まれ、いつ消滅するのかを説明できるようになる。 そして、国の財政や税金についての正しい判断ができるようになる。

授業概要

【授業テーマ】
第1回 衰退国家日本！？
第2回 国民ひとり当たり1000万円の借金ってどういうこと？
第3回 消費税は何パーセントにするべきなんだろう
第4回 お金の正体、お金はいつ生まれていつ消えるのか
第5回 国債発行の仕組みを知ろう
第6回 税金の役割と消費税
第7回 君たちはまだ長いトンネルの中
第8回 子どもたちの未来のためにどうすべきか

【学生へのメッセージ】
この講義では、知ってるようで本当は知らない身近なお金というものの本当の姿を知ってもらうのが目的です。国民一人一人がお金についての正しい知識を持つことで、財政や税金などを正しく見る眼鏡を手に入れましょう。

【受講前の準備学習等】
国の借金はどうすべきか？消費税は何%にするべきか？を自分なりに調べ、考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・目からウロコが落ちる奇跡の経済教室【基礎知識編】（中野剛士／ベストセラーズ／¥1,760／ISBN=9784584138953）
・MMT講義ノート（島倉原／白水社／¥2,200／ISBN=9784560094334）
・学者が見落としたお金の仕組み国家財政破綻論の破綻を数学的に証明（児保祐介／微風出版／¥1,760／ISBN=9784434309731）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2698749	授業概要 【授業内容】 本授業の目的は、基本的で重要な文法及び英語表現を学び、英会話や英文読解などの実践的な英語運用能力を高めることです。授業では、文法事項の説明及び質疑に加えて、受講生間のインタラクションも取り入れながら理論と実践の融合を図っていきます。間違いを気にすることなく、積極的に参加して楽しみながら、総合的な英語力向上を目指すことにしています。 【到達目標】 基本的英文法と英語表現に関するスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、インタラクションのスキルを学ぶことで、英語のコミュニケーション運用能力を高めることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 基本文型と文の種類 第2回 準動詞（不定詞、動名詞、分詞）と慣用的表現 第3回 関係詞（関係代名詞と関係副詞）と慣用的表現 第4回 比較級、仮定法と慣用的表現 第5回 時制（過去形、現在形、未来形）とJournalの書き方 第6回 現在完了形と受動態 第7回 WH疑問文と基本的英語表現 第8回 英文読解と要約文の作り方 【学生へのメッセージ】 Let's enjoy your progress! 英語は実技ですから、継続して学び続けることが必要です。可能な限り話し、聞き、読み、書いてみましょう。また、英検2級、準2級など英語検定試験に挑戦してくれることを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、文法事項等の自己学習に取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英語辞書（電子辞書可）、ノートを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	基本英文法と英語表現	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	25名	
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 沖縄学習センター客員教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698757	授 業 概 要	【授業内容】 私たちは日々食物を摂取し、その中に含まれている栄養成分を代謝してエネルギーや体に必要な成分を作り出して生きています。従って、代謝（栄養成分の分解・合成）は生きていることの証しともいえます。代謝には栄養成分の糖質、脂質、アミノ酸とタンパク質、ヌクレオチドと核酸などの生体分子の化学反応すなわち生化学反応が関わっています。健康であるということはこれらの生体成分の生化学反応が順調に行われていることを意味します。ところが、近年では食生活や生活習慣のみだれにより、この代謝がうまく機能しなくなる疾病（糖尿病等）が国民的に広がっています。 一見複雑に見える代謝も実は栄養成分の生化学反応として説明することができます。本講義では、栄養成分の種類と体の中での代謝的運命、そして代謝の乱れと疾病の関係について分かりやすく解説します。 【到達目標】 日頃の生活の中で代謝と病気の関連がわかるようになる。 【授業テーマ】 第1回 代謝総論 第2回 糖質とは 第3回 糖質代謝と疾病 第4回 脂質とは 第5回 脂質代謝と疾病 第6回 タンパク質とは 第7回 タンパク質代謝と疾病 第8回 核酸の代謝と疾病 【学生へのメッセージ】 健康が保たれていることは生体内の生化学反応が順調に進行していることを意味しています。しかしながら、体の中の生化学反応やその調節に不調が生じると病気（疾病）の状態になってしまいます。生化学反応は自分自身の中で常に起きている化学反応であり、健康と密接につながった身近な学習領域として理解することを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容と関連する日々の話題に興味をもって接するよう努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業前にプリントは配布しますので、特に準備するものではありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ナーシンググラフィカ人体の構造と機能② 臨床生化学（宮澤恵二／株式会社メディカ出版／¥2,970／ISBN=9784840481557） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	K		
科目名	代謝と疾病が解る 栄養生化学		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	25名		
担当講師	オク ヒロスケ 屋 宏典 琉球大学名誉教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	沖縄学習センター		

科目コード	2698765	授業概要	【授業内容】 ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、政治・経済を含むさまざまな人間の社会活動とその結果を分析する上で有用な思考ツールとして定着しつつあります。この講義ではゲーム理論の考え方を現実社会で生じうる状況を通じて学びます。 講義方法は下記のとおりです。 ① 受講生を被験者とした簡単なゲームの実験をいくつか行います。またゲーム実験の後、自分の行動の選択理由について意見を交わします。 ② 適宜、グループディスカッションなど取り入れる場合があります。
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	K		
科目名	ゲーム理論		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	210		
定員	22名		
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学国際地域創造学部准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター		【到達目標】 1. ゲーム理論の基本的考え方を理解できる。 2. 日常生活のなかでゲーム理論の考え方を応用することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 戦略的に行動しよう ― ゲーム理論の世界 第2回 思い通りにならない ― 囚人のジレンマ 第3回 相手の視点で考える ― 失敗しないための心得 第4回 みんなわかっているのに抜け出せない ― 変えたくても変わらない理由 第5回 ゴールから考える ― 逆算の哲学 第6回 優柔不断がチャンス逃す ― あえて退路を断つ 第7回 有利な交渉の進め方 ― 交渉は最後が勝負 第8回 理論と現実のズレ ― ゲーム実験が示す意外な結果 【学生へのメッセージ】 講義は、受講生の皆さんと意見交流を行いながら進める予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ゼミナールゲーム理論入門（渡辺隆裕／日本経済新聞出版／¥3,850／ISBN=9784532133467） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2698773	【授業内容】 「異文化」という言葉はよく耳にしますが、具体的にはどのようなことを指すのでしょうか。異文化に触れることで何が得られるのでしょうか。本講義では、言葉と文化の関係を探り、日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて文化の違いを体験します。日本語学習者の視点から異文化コミュニケーションの違いを考え、日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を避ける方法を探究します。さらに、日本語教師の視点から異文化を理解し、多様な価値観を尊重する姿勢を養います。学びを通じて、異文化理解を深めましょう。 【到達目標】 ・異文化コミュニケーションを円滑にするために、言葉と文化の関係を理解し、価値観の違いを的確に判断できるようになる。 ・日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて異文化を体験し、多様な文化の特徴や考え方が理解できるようになる。 ・日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を防ぐ適切なコミュニケーション方法が身につく。 【授業テーマ】 第1回 日本のポップカルチャーと異文化理解 第2回 日本語とジェスチャー 第3回 日本語を学ぶ外国人との異文化交流 第4回 異文化コミュニケーションと言葉の誤解 第5回 日本語とジェンダー 第6回 日本の言葉と習慣 第7回 日本語教師から見る異文化 第8回 まとめ（振り返り） 【学生へのメッセージ】 一方的に伝えるのではなく、意見交換を重視した双方向型の授業です。グループワークやディスカッションを通じて協力しながら学び、実践的な理解を深めます。主体的に参加し、楽しく学びましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスに記載されている各回の講義テーマを事前に確認し、関連する内容について自己学習を行ってください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・まんが クラスメイトは外国人 入門編—はじめて学ぶ多文化共生—（「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会／明石書店／¥1,320／ISBN=9784750338255） ・まんが クラスメイトは外国人 課題編（第2版）—私たちが向き合う多文化共生の現実—（「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会／明石書店／¥1,430／ISBN=9784750353951） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語で広がる異文化	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	22名	
担当講師	ショウ マキコ 尚 真貴子 沖縄国際大学特任教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698781	授業概要 【授業内容】 数学で使う言葉には日常の言葉とは違い、独特の言い回しがあります。従って数学を「言語」という観点から捉え直します。外国語を初めて学ぶように、a、b、c、から始め文法を学びます。これらは他の言語と違い単純な構造をもっています。また論理的に考える、正しく推論するとはどういうことかについて例をあげ、議論しながら考えます。予備知識は仮定しませんし、自然と環境以外の学生向けの授業でもあります。 【到達目標】 日常使われる言語には、論理的思考を行う際に、よく使われる言葉、言い回しがあり、これらは、数学の言葉としても使われていることを認識することができる。そして、この数学で使われる言葉は、論理学という命題論理と述語論理の枠組みの中で説明されることを概観し、その言葉の意味や役割を理解し、身近なものと捉えてもらうことができる。 【授業テーマ】 第1回 数学で使う言葉とは 第2回 数学独特の言葉使いについて その1 第3回 幾つか練習をおこなう その1 第4回 数学独特の言葉使いについて その2 第5回 幾つか練習をおこなう その2 第6回 論理的思考について考える その1 第7回 論理的思考について考える その2 第8回 数学の推論について振り返り、授業のまとめを行う 【学生へのメッセージ】 予備知識は仮定しません。数学に親しみのない学生さんも受講してください。 【受講前の準備学習等】 事前配布資料をお送りしますので、分かる範囲で構いませんので、資料を読んでおいてください。シラバス、学生の皆さんへのメッセージの内容から判断して、自己学習に努めてください。また授業後に、配布資料の中から授業内容にあたる部分を再度読んで、復習をしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 学生証 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	数学の言葉	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	クマベ マサヒロ 隈部 正博 放送大学教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698790	授業概要 【授業内容】 なぜアンガーマネジメントが必要とされるのか？アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを深く理解することにより職場や日常生活の場で楽しい日々を暮らすことができるヒントに気づかされます。本授業ではアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを含めた演習を行います。 【到達目標】 アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションについて理解し、説明ができる。 【授業テーマ】 第1回 アンガーマネジメントとは？アサーティブコミュニケーションとは？何か！理解を深める 第2回 自分の怒り感情と上手に向き合う 第3回 事例でわかるアンガーマネジメント 第4回 職場での怒りとはどんなもの？ 第5回 アサーティブコミュニケーションを活用した怒りのコントロール 第6回 急な怒りを静める対処術 第7回 怒りの体質改善に効くエクササイズ 第8回 やってはいけない怒り方、上手な怒り方まとめ 【学生へのメッセージ】 職場や家庭、人々との日常生活にも、どこにでも活用できるアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションと一緒に学びましょう。 【受講前の準備学習等】 受講前に箇条書きにまとめておいてください。 ①日常生活で自分自身が怒りたくなる場面や嬉しいと思える言葉。 ②アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを学び、職場や家庭、人々との日常生活にどのように活かしたいのか。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・介護職スキルアップブック手早く学べてしっかり身につく！介護現場のアンガーマネジメント（梅沢佳裕／秀和システム／¥1,760／ISBN=9784798070704） ・アンガーマネジメント11の方 法怒りを上手に解消しよう（著者：ロナルドT.ポッターエフロン、パトリシアS.ポッターエフロン、監訳：藤野京子／金剛出版／¥3,740／ISBN=9784772415132） ・アンガーマネジメント トレーニングブック（日本アンガーマネジメント協会／ミネルヴァ書房／¥2,200／ISBN=9784623096466） ・マンガこころbooksこころのクセを考える まじめA子ちゃん、おいにさとる（監修：越野好文、作・画：志野靖史、おおはなヒマワリ／講談社／¥1,320／ISBN=4061558048）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	介護現場の アンガーマネジメント	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	22名	
担当講師	オオワン トモコ 大湾 知子 沖縄学習センター客員准教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698803	【授業内容】 園芸福祉の活動や実践を通して、どのような効用・効果が得られるのか、また、園芸福祉でいうところの園芸の範囲にはどのようなものが含まれ、身近なところで活用できる材料や方法には何があるのかなど、受講者の考えを聞きながら授業を進めます。さらに、福祉（well-being）が意味する内容について、講義、写真、動画などを通して理解をしていく授業とし、簡単な実施プログラムの計画ができるようにします。 【到達目標】 ①園芸福祉の概念を理解し説明できるようになる。 ②園芸福祉の効用について学び、精神的・心理的効果が説明できるようになる。 ③誰もが楽しめる園芸福祉ガーデンの技法を理解し、説明できるようになる。 ④園芸福祉の考え方に則った実施プログラムを計画することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 園芸福祉の概念 第2回 園芸福祉の効用 第3回 園芸福祉の健康効果 第4回 園芸福祉によるコミュニティ 第5回 園芸福祉の材料 第6回 いろいろな植物の活用例 第7回 誰もが楽しめるようなガーデンのために 第8回 園芸福祉の実践プログラムづくり 【学生へのメッセージ】 植物が身近にある生活には、うるおいや安らぎを感じることができます。植物との関わりを生活の中に取り入れ、生活の質を向上させていく活動・実践が園芸福祉です。園芸活動が持つもう一つの意味・役割と一緒に学びましょう。 【受講前の準備学習等】 自身の生活と植物がどこで関わっているのか、どのような意味があるのかについて、周囲を見回して考えをまとめておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・園芸福祉入門（日本園芸福祉普及協会編／創森社／¥1,676／ISBN=9784883402083）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	園芸福祉入門	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	アカミネ ヒカル 赤嶺 光 琉球大学農学部教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4) その他 ・マウス、USBメモリ（実験データ保存用）を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター	

授業概要

科目コード	2689189	授業概要 【授業内容】 心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能についての概説 第3回 心理検査が測定する対象～性格についての概説 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査レポート執筆指導 第5回 投影法心理検査の基礎理論 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査4 心理尺度（タイプA性格） 【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学人文社会学部教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2689146	授業概要	【授業内容】
学習センター	沖縄学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
学習センターコード	47A		【受講前の準備学習等】
クラスコード	K		【受講者が当日用意するもの】
科目名	心理学実験2		【その他（特記事項）】
科目区分	専門科目：心理と教育		を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
ナンバリング	320		心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、指定したすべての実験レポートを提出する必要があります。
定員	20名		【到達目標】
担当講師	イノウエ サナ 井上 紗奈 琉球大学人文社会学部准教授		心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要 第2回 実験1「パーソナルスペース」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「心的回転」の実施 第5回 実験2「心的回転」の解説 第6回 実験3「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第7回 実験3「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第8回 全体のまとめ、レポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験には、参加者同士が接近する内容が含まれます。マスクの着用が必要です。実験を通して、各自持参したノートパソコンを使用します。データ分析、レポート作成に必要なエクセル、ワード、パワーポイントの操作にあらかじめ慣れておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	沖縄学習センター		【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 ・Wordが必要です。 4) その他 ・マスク（実験1で使います）。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・教科書指定はありません。当日、資料を配布します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアル（瀬谷安弘・天野成昭／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779514548） ・心理学ベーシック第2巻◆なるほど！心理学実験法（三浦麻子 監修 佐藤暢哉・小川洋和 著／北大路書房／¥2,420／ISBN=9784762829963） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、短期記憶検索、SD法）取り上げます。 受講生の皆さんは、それらの実験に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法 第2回 ストループ効果の実験1 第3回 ストループ効果の実験2 第4回 心理学的なレポートの作成について 第5回 短期記憶検索の実験1 第6回 短期記憶検索の実験2 第7回 SD法1 第8回 SD法2 【学生へのメッセージ】 心理学的な研究法を習得するということの中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続は不要です。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウィルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4) その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、色識別を要する実験課題があります。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヒロセ ヒトシ 廣瀬 等 琉球大学教育学部教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター	

授業概要

科目コード	2698811	授業概要 【授業内容】 この授業では、都市社会学の古典的な業績について学ぶと同時に、近年の都市研究において注目を集めている空間論についても、その最新の成果を学ぶことをその内容としています。都市という空間で人々が暮らしている日常生活とそれを大きく枠づけている惑星規模で進行する都市化との関係について考察します。 【到達目標】 都市と空間に関する社会的な知識についての基本的な理解を深めると同時に、自らのローカルな場での日常生活を、グローバルな広がりをもって進行する都市化などの変化との関係で、考えることができるようになることを目標とする。 【授業テーマ】 第1回 都市研究の歴史の変遷 第2回 都市と都市的なもの 第3回 都市化の空間的展開 第4回 アンリ・ルフェーヴルとアーバン・スタディーズ 第5回 空間の社会的生産—その2つの側面 第6回 日常生活と生きられた空間 第7回 空間の三元弁証法—表象、実践、生 第8回 都市、空間、社会学 【学生へのメッセージ】 都市社会学についての基本的な知識と最新の空間論についての議論について学ぶ内容で、若干抽象的で理解の困難なところがあるかもしれませんが、人間が都市という具体的な場で、生きて活動することについての社会的な研究の意義と面白さに気づいてもらいたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 都市社会学の基礎的な知識については、参考書としてあげた『都市社会学を学ぶ人のために』に目を通しておいください。空間論については、同じく参考書にあげた『都市への権利』を、わからなくてもよいので、読んでおいください。わからないさの雰囲気理解しておく、いくぶん授業がわかりやすくなるかもしれません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・都市社会学を学ぶ人のために（玉野和志 編／世界思想社／¥2,420／ISBN=9784790717386） ・都市への権利（アンリ・ルフェーヴル／ちくま学芸文庫／¥1,430／ISBN=9784480093769） ・空間の生産（アンリ・ルフェーヴル／青木書店／／ISBN=9784250200243） 現在、手に入りにくくなっているので、図書館等で借りられれば、読んでみるとよいでしょう。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	都市と空間の社会学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タマノ カズシ 玉野 和志 放送大学教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698820	【授業内容】 微生物は目に見えませんが、私たちの周りには多種多様な微生物が生活しています。この講義では、まず身の周りの微生物について知り、次に微生物が私たちの生活にどのように影響しているのかを理解します。市販されている発酵乳（ヨーグルト）を顕微鏡で観察し、微生物の形態を観察するとともに、発酵乳やチーズなどの乳製品が微生物の力を借りてどのように製造されているのかを学習します。 【到達目標】 身の周りの微生物について、その特長や性質を説明することができ、人類社会と微生物のかかわりを考えることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 身近な微生物：種類と特長 第2回 乳酸菌の観察：顕微鏡の取り扱い 第3回 乳酸菌の観察：乳酸球菌・乳酸桿菌・ビフィズス菌 第4回 乳製品の製造原理：原料乳を理解する 第5回 乳製品の製造原理①：発酵乳の製造原理と乳酸菌の役割 第6回 乳製品の製造原理②：チーズの製造原理と乳酸菌の役割 第7回 乳製品の製造原理③：チーズの製造原理と乳酸菌の役割 第8回 身近な微生物：授業のまとめとレポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 この授業では、微生物がもつ「発酵の力」を取り扱います。「発酵の力」は目に見えないので、「可視化」するためには化学の力とともに好奇心や想像力が必要です。一緒に考え、話し、微生物と友達になりましょう。 【受講前の準備学習等】 微生物と人類社会（環境）との関りについて具体例をリストアップし、関りの内容を具体的に整理しておきましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノートまたはメモ用紙 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 1日目に微生物の顕微鏡観察実験を実施します。「観察してみたい微生物」を含む食品等（市販品で未開封の製品に限る）があれば、授業当日、持参してください。顕微鏡観察の際は、「学生教育研究災害傷害保険」（100円）に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	身近な乳酸菌の世界	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	25名	
担当講師	タナカ ヒロシ 田中 博 沖縄工業高等専門学校教授	
日程実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698838	【授業内容】 平安時代中期に世に送り出されてから現代に至るまで、国内外を問わず人々を魅了してきた『源氏物語』。血の通った人間たちが織りなす原作世界の奥行きを味わうことを中心に、個性的な現代語訳やライトもの、漫画、舞台、映像作品など、現代におけるさまざまな再生作品も紹介します。第6回までは原作である『源氏物語』の概説と主な読みどころの解説、第7回・第8回は再生作品の紹介を予定しています。 【到達目標】 現代人の知性や感性をも揺さぶる『源氏物語』のメッセージ性を、物語のさまざまな仕掛けや展開に即して理解し、その豊かな作品世界を味わうことができる。 【授業テーマ】 第1回『源氏物語』の概説－作者・時代背景・概要などー 第2回『源氏物語』正編の世界①光源氏の誕生～少年期 第3回『源氏物語』正編の世界②光源氏の青年期～壮年期 第4回『源氏物語』正編の世界③光源氏の熟年期～老年期 第5回『源氏物語』正編を彩る多様な女性たちの魅力 第6回『源氏物語』続編の世界－宇治十帖を中心にー 第7回 再生される『源氏物語』①読む－現代語訳・ライト・漫画などー 第8回 再生される『源氏物語』②観る－絵巻・絵画・舞台・映画などー 【学生へのメッセージ】 初めて『源氏物語』に触れる受講者、古文を読み慣れない受講者でも理解できる内容にします。原文も味わいますが、原文だけで読み込むレベルは目指さないので、訓読注釈のような高度な内容を期待する方は受講をお勧めしません。第8回後半に、受講してわかったことや感想等をレポートにまとめていただきます。 【受講前の準備学習等】 第1回の授業でウォーミングアップを兼ね、『源氏物語』についてコメント（好きな登場人物、触れた機会、興味を抱いた理由等なんでも）していただきますので、ご準備ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	『源氏物語』 －原作と再生作品	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ハギノ アツコ 萩野 敦子 琉球大学教育学部教授	
日程実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698846	【授業内容】 この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK→学習センター HL→自宅等（Zoom） ※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。 本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションに加え、日本ディープラーニング協会が主催する資格試験である「G検定」の問題演習を通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。 【到達目標】 画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 AI・深層学習の概要 第2回 画像分類 第3回 セグメンテーション 第4回 画像生成 第5回 テキスト分類 第6回 アテンション 第7回 テキスト生成 第8回 AI・深層学習の社会実装に向けて 【学生へのメッセージ】 G検定の出題範囲は多岐に渡るため、本授業で扱う内容はその一部に限られます。今回の受講をきっかけに、各自での継続的な学習を進めていただければ幸いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	HK	
科目名	事例から学ぶ AI・深層学習	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	10名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター	【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4) その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアカウントにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定（ジェネラリスト）公式テキスト 第3版（猪狩宇司、今井翔太、巢籠悠輔、瀬谷啓介、徳田有美子、中澤敏明、藤本敬介、古川直裕、松尾豊、松嶋達也／翔泳社／¥3,080／ISBN=9784798184814） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698846	【授業内容】 ----- この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK→学習センター HL→自宅等（Zoom） 本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を必ずご確認ください。 ※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。 ----- 脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。 本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションに加え、日本ディープラーニング協会が主催する資格試験である「G検定」の問題演習を通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。 【到達目標】 画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 AI・深層学習の概要 第2回 画像分類 第3回 セグメンテーション 第4回 画像生成 第5回 テキスト分類 第6回 アテンション 第7回 テキスト生成 第8回 AI・深層学習の社会実装に向けて 【学生へのメッセージ】 G検定の出題範囲は多岐に渡るため、本授業で扱う内容はその一部に限られます。今回の受講をきっかけに、各自での継続的な学習を進めていただければ幸いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1) マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4) その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアドレスにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定（ジェネラリスト）公式テキスト 第3版（猪狩宇司、今井翔太、巢籠悠輔、瀬谷啓介、徳田有美子、中澤敏明、藤本敬介、古川直裕、松尾豊、松嶋達也／翔泳社／¥3,080／ISBN=9784798184814） 【その他（特記事項）】 Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等で利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。 なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	HL	
科目名	事例から学ぶ AI・深層学習	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 議論・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	この授業は、【自宅等 (Zoom)】で行います。	

授業概要

科目コード	2698854	【授業内容】 先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されたのか、また登録によって見えてきた様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。 【到達目標】 ・沖縄の自然環境の特性を、生物の進化を踏まえながら説明することができる。 ・ツーリズムによる様々なデメリットについて理解し、その解決策について自らの考えを示すことができる。 【授業テーマ】 第1回 沖縄の自然環境の特性 第2回 やんばるの自然と環境問題 第3回 沖縄の外来生物 第4回 沖縄のホタル 第5回 沖縄の植物と人の暮らし 第6回 沖縄の世界自然遺産とこれからの課題 第7回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1 第8回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説2 【学生へのメッセージ】 本土とは異なる沖縄の自然環境や生物の特性、また、そこに暮らしてきた人たちの自然との関わり方などから、私たちはこれからどのように自然と接していけば良いのかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。 【受講前の準備学習等】 ・沖縄の自然や環境問題について、自分が興味を持った問題を書籍やインターネットなどからいくつかピックアップしておいてください。 ・配布資料等を使って復習し、沖縄の自然が抱える様々な課題について自分なりの解決策を考え、実際にそれが課題の解決に繋がるかどうかをシュミレーションしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点により行います。 なお、レポートは、後日提出です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 第7、8回到琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」（100円）及び「通学中等傷害危険担保特約」（40円）の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5 参照）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の自然環境と世界自然遺産	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ササキ タケシ 佐々木 健志 元琉球大学博物館助教／学芸員	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	この授業は、【1日目（11月7日）沖縄学習センター中講義室 2日目（11月8日）第3・4時限 ★琉球大学博物館・風樹館（沖縄県西原町字千原1番地 琉球大学構内）】で行います。	

[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

福岡学習センター

☎ 092-585-3033
FAX 092-585-3039

〒816-0811 春日市春日公園6-1 (九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

- JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)
- 西鉄白木原駅から徒歩20分
- 大野城門からは徒歩のみ通行可

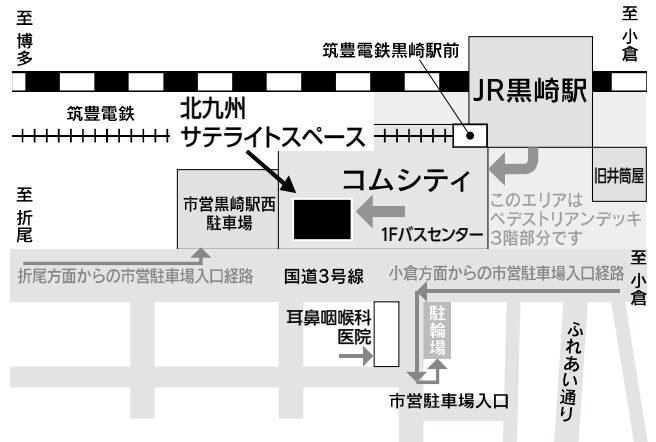


北九州サテライトスペース

☎ 093-645-3201
FAX 093-645-3208

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ3階)

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄バス：黒崎バスセンターから徒歩3分

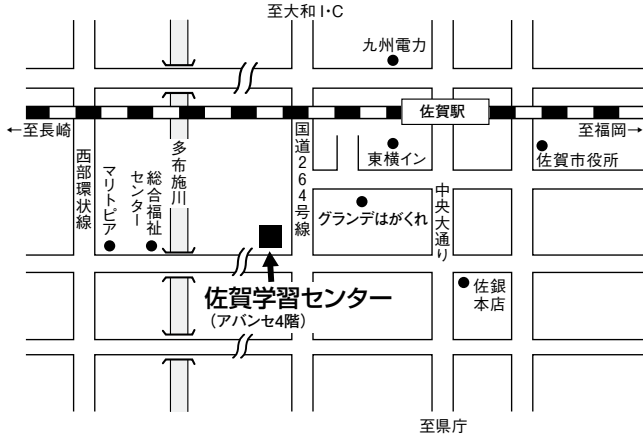


佐賀学習センター

☎ 0952-22-3308
FAX 0952-22-3398

〒840-0815 佐賀市天神3-2-11 (アバンセ4階)

- JR佐賀駅・佐賀バスセンターから徒歩10分
- 佐賀市営バス：「どんだんどの森前」バス停下車 徒歩2分
- 「どんだんどの森東」バス停下車 徒歩2分

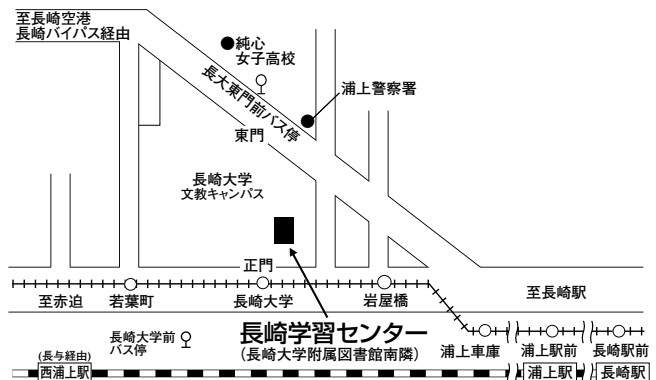


長崎学習センター

☎ 095-813-1317
FAX 095-813-1325

〒852-8521 長崎市文教町1-14 (長崎大学文教キャンパス内)

- JR長崎駅から約20分・浦上駅から約10分 (路面電車またはバス)
- 路面電車：①③番系統「赤迫」行、「長崎大学」下車、徒歩約3分
- 長崎バス：「滑石」「時津」「長与」方面行き「長崎大学前」下車、徒歩約3分

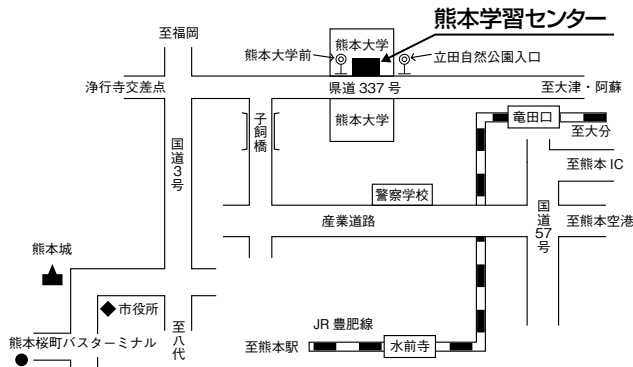


熊本学習センター

☎ 096-341-0860
FAX 096-341-0870

〒860-0862 熊本市中央区黒髪2-40-1 (熊本大学附属図書館南棟2・3階)

- JR熊本駅：産交バス、熊本電鉄バス 約30分
- 2番乗り場、E系統路線バス乗車
- 熊本桜町バスターミナル：産交バス、熊本電鉄バス 約20分
- 16番乗り場、E系統路線バス乗車
- 「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分

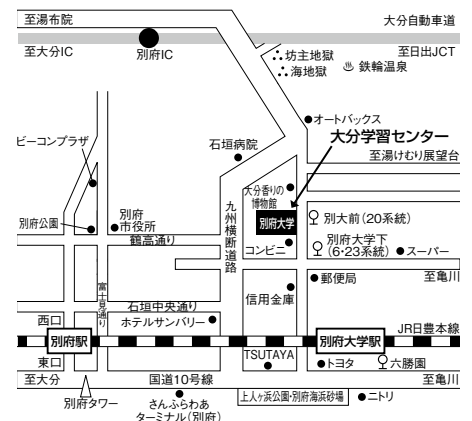


大分学習センター

☎ 0977-67-1191
FAX 0977-67-1193

〒874-8501 別府市北石垣82 (別府大学39号館2階)

- JR別府大学駅 (最寄り駅) より徒歩10分
- バス利用の場合 (JR別府駅から約20分)
- 【別府駅東口⑤番乗り場】
- 亀の井バス 20系統 「別大前」下車
- 亀の井バス 23系統 「別府大学下」下車 徒歩3分
- 【別府駅西口②番乗り場】
- 亀の井バス 6系統 「別府大学下」下車 徒歩3分



[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

宮崎学習センター

〒883-8510 日向市本町11-11

☎ 0982-53-1893
FAX 0982-53-1898

- JR日向市駅下車 徒歩7分
- 宮崎交通バス延岡線、宇納間線で商工会館通り下車徒歩3分

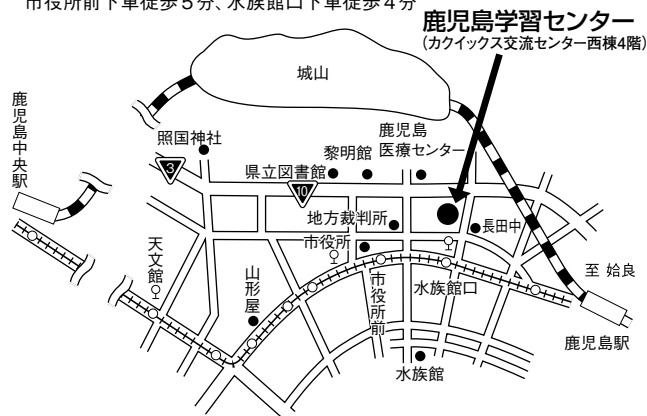


鹿児島学習センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 (カクイックス交流センター内)

☎ 099-239-3811
FAX 099-239-3841

- JR鹿児島駅から徒歩10分
- 鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- 電車・バス
- 市役所前下車徒歩5分、水族館口下車徒歩4分



沖縄学習センター

〒903-0129 中頭郡西原町字千原1 (琉球大学内)

☎ 098-895-5952
FAX 098-895-5953

- 路線バス
- 97番琉大線(那覇バス)
- 那覇バスターミナル→「牧志」→「儀保」→「旧琉球大学病院前」→「琉大東口」(下車徒歩約10分)
- 98番琉大線(琉球バス)
- 那覇バスターミナル→「牧志」～安里バイパス～「沖縄国際大学前」→「琉大北口駐車場」(下車徒歩約15分)



年 月 日

年度 第 学期

(学習センター
 サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

[illegible]

フ 氏	リ 氏	ガ 氏	ナ 氏	所属学習センター
連 絡 先	〒	ー		電 話： () メール：

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科 目 コ ー ド	クラス	科 目 名	第1回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

○複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」についてから申請書をダウンロードしてください。

○提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考

